

# IPD Viewer Software

---

レファレンスマニュアル



© Agfa-Gevaert N.V. 2000.

Agfa-Gevaert N.V. 社からの書面による許可がない限り、この文書のどの部分も、いかなる形式でも再製、複写、編集あるいは送信することはできません。

Agfa-Gevaert N.V. は本書に含まれる情報の精度、完全性または利便性に関して明示的または黙示的に保証または表明するものではなく、任意の特別な目的に対する適用性を特定のに表明するものではありません。Agfa-Gevaert N.V. は本書に記載される情報、機器、手段またはプロセスに起因する損害に対していかなる状況のもとでもその責任を負いません。

Agfa-Gevaert N.V. は本書の内容を事前に通告することなく変更する権利を保有します。

Agfa-Gevaert N.V., Septestraat 27, B-2640 Mortsel, Belgium.

Windows® および Windows® NT は Microsoft Corporation の登録商標です。

Jaz® は、iomega のトレードマークです。

IPD Viewer Software は、Agfa-Gevaert N.V., Belgium の登録商標です。

Agfa および Agfa-Rhombus は、Agfa-Gevaert AG, Germany の登録商標です。

# 目次

<b>第 1 章 : IPD Viewer Software とは</b>	7
IPD Viewer Software の機能	8
IPD Viewer Software のモード	10
セレクトモード	10
ビューモード	10
ユーザーインターフェイス	11
セレクトモード	11
ビューモード	14
IPD Viewer Software を起動する	18
オンラインヘルプを使用する	19
ID Software に切り換える	20
QC Viewer Software に切り換える	21
セレクトモードとビューモードを切り換える	22
IPD Viewer Software を終了する	24
<b>第 2 章 : 診断ファイルを選択する (セレクトモード)</b>	25
オンスクリーン プレゼンテーションを選択する	27
検索フレームを表示する / 隠す	28
お気に入りフレームを表示する / 隠す	29
リストビュー フレームを表示する / 隠す	30
サムネイル フレームを表示する / 隠す	31
過去の関連診断ファイルを表示する / 隠す	34
ローカルデータベースを検索する	35
検索を定義する	36
お気に入りを定義する	38
お気に入りのグループを定義する	42
リモートデータベースを検索する	46
診断ファイルまたは画像を選択する	47
診断ファイルを選択する	48
画像を選択する	50
診断ファイルを保護する	51
診断ファイルを結合する	53
診断ファイルを分割する	54
診断ファイルの画像の順序を変更する	55
診断ファイルまたは画像を削除する	56
診断ファイル情報を参照および修正する	57

診断ファイルを口述済みにする .....	58
診断ファイルまたは画像を印刷する .....	59
デフォルトレイアウト ( クイック印刷 ) を使用して印刷する .....	59
非デフォルトまたはカスタム レイアウト ( Print Composer ) を使用して印刷する .....	60
診断ファイルまたは画像を送信する .....	62
印刷または送信ジョブをリルートする .....	63
診断ファイルをアーカイブおよび検索する .....	64
診断ファイルをインポートする .....	65
診断ファイルをエクスポートする .....	71
Rislink ファイルに診断ファイルまたは画像データをエクスポートする .....	78
<b>第 3 章 : 診断ファイルを表示する ( ビューワモード )</b> .....	81
オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する .....	83
オンスクリーン プレゼンテーションを選択する .....	85
診断ファイル オーバービュー フレームを表示する / 隠す .....	86
画像表示項目データを表示する / 隠す .....	87
線量監視バーを表示する / 隠す .....	88
画像フレームのフォーマットを選択する .....	89
フルスクリーンモードで診断ファイルを表示する .....	91
ビューワモードでファイル間を移動する .....	92
ナビゲーション バーを表示する / 隠す .....	93
過去の関連診断ファイルをワークリスト上で表示する / 隠す .....	94
選択された診断ファイル間を移動する .....	95
検索された診断ファイル間を移動する .....	101
お気に入りの診断ファイル間を移動する .....	103
診断ファイルを保護する .....	105
画像を処理する .....	106
ヒストグラムおよび特性曲線を表示する .....	108
画像全体のコントラストおよび輝度を変更する ( ウィンドウ / レベル ) ...	110
診断ファイルタイプ関連処理を変更する ( 基本 MUSICA 処理 ) .....	114
画像処理パラメーターをインタラクティブに調整する ( アドバンスド MUSICA 処理 )	116
画像を白黒反転する .....	120
過度露光による画像サチュレーションを表示する .....	121
画像を視準する .....	122
関心領域 ( ROI ) の周囲にシャッターを適用する .....	128
関心領域 ( ROI ) を抽出する .....	130
画像を変形する .....	131

画像を回転する .....	132
画像を裏返す .....	133
画像のズームイン / アウト .....	134
画像の一部を拡大する .....	138
画像に注釈を追加する .....	139
注釈を表示する / 隠す .....	141
グリッド線を表示する / 隠す .....	142
距離を測定する .....	144
距離測定を校正する .....	146
角度を測定する .....	150
関心領域 ( ROI ) 内のスキャン平均レベルを計算する .....	152
密度プロフィールを計算する .....	154
線を引く .....	156
矢印を描く .....	158
図形フォームを描く .....	160
テキストを追加する .....	162
注釈を編集する .....	164
注釈を削除する .....	166
画像を削除する .....	168
診断ファイル情報を参照および修正する .....	169
診断ファイルレポートを作成する .....	170
電子診断ファイルレポートを作成する .....	170
診断ファイルを口述済みにする .....	171
画像を診断ファイルサマリーにする .....	172
画像を保存する .....	173
診断ファイルを印刷する .....	174
デフォルトレイアウト ( クイック印刷 ) を使用して印刷する .....	174
非デフォルトまたはカスタム レイアウト ( Print Composer ) を使用して印刷する .....	175
診断ファイルを送信する .....	177
印刷または送信ジョブをリルートする .....	178
診断ファイルをアーカイブおよび検索する .....	179
診断ファイルをインポートする .....	180
診断ファイルまたは画像をエクスポートする .....	187
Rislink ファイルに画像データをエクスポートする .....	190
<b>第 4 章 : IPD Viewer Software を カスタマイズする .....</b>	<b>193</b>
サムネイル表示項目データを設定する .....	194
画像表示項目データを設定する .....	196

- ツールバーをカスタマイズする ..... 198
  - デフォルトツールバーをカスタマイズする ..... 198
  - カスタム ツールバーを作成する ..... 203
- 診断ファイル情報を設定する ..... 206
- フレームをカスタマイズする ..... 207
  - 検索フレームをカスタマイズする ..... 207
  - お気に入りフレームをカスタマイズする ..... 210
  - リストビュー フレームをカスタマイズする ..... 211
- 定義済テキストを設定する ..... 214
- 付属 A: 用語集 ..... 217
- 付属 B: 索引 ..... 221

## IPD Viewer Software とは

この章では次のトピックについて説明しています：

- IPD Viewer Software の機能
- IPD Viewer Software のモード
- ユーザーインターフェイス
- IPD Viewer Software を起動する
- オンラインヘルプを使用する
- ID Software に切り換える
- QC Viewer Software に切り換える
- セレクタモードとビューワモードを切り換える
- IPD Viewer Software を終了する

用語については、217 ページの付属 A、[‘用語集’](#)を参照してください。

## IPD Viewer Software の機能

- ❖ 多くの機能は、特定のライセンスでのみ使用可能です。詳しくはライセンス文書をご覧ください。

IPD Viewer Software は、ADC Quality System の主要モジュールのうちの一つです。以下の機能を提供します：

- ローカルデータベースおよびリモートデータベースにおける診断ファイルの検索。

IPD Viewer Software によって、ローカルデータベースまたはリモートデータベースを検索するための多くの検索条件を指定することができます。これらの検索をあなたのニーズに合わせてカスタマイズし、今後の使用のために保存することができます。

- オンスクリーン診断の診断ファイルを表示する。

データベースから多くの診断ファイルを検索した後、特定の診断ファイルを選択し、オンスクリーン診断のために表示することができます。自由に表示環境をカスタマイズすることができます。

- インタラクティブに画像を処理し、注釈を追加する。

IPD Viewer Software は、以下のような広範囲の画像処理および診断補助機能を提供します：

- 画像全体のコントラストおよび輝度を変更する（ウィンドウ/レベル）。
- 画像処理パラメーターをインタラクティブに調整する（アドバンスト MUSICA 処理）。
- 画像を視準する。
- 関心領域（ROI）内のスキャン平均レベル（SAL）を計算する。
- 関心領域（ROI）を抽出する
- 画像を変形する（画像の回転、画像のズームイン/アウト、その他）。
- 画像に注釈を追加する（直線、矢印、図形フォーム、テキスト、その他）。
- 画像の距離および角度測定を行う。
- 画像の密度プロフィールを計算する。

- 診断ファイルレポートを作成する。

診断ファイルを見て診断ファイルレポートを口述する場合、その診断ファイルが口述済みであることをマークすることができます。また、診断結果を電子レポートに記録し、診断ファイルの一部として保存することもできます。



■ 診断ファイルおよび画像を印刷する。

複数の印刷オプションが使用できます。デフォルトレイアウト、非デフォルトレイアウト、またはカスタムレイアウトのいずれかを選択して印刷することができます。

■ 診断ファイルをアーカイブおよび検索する。

今後の使用のために、診断ファイルを nearline 記憶装置に保存することができます。いつでも簡単にアーカイブされた診断ファイルを検索することができます。

---

## IPD Viewer Software のモード

---

IPD Viewer Software には、2 つの操作モードがあります：

- セレクタモード。
- ビューワモード。

セレクタモードからビューワモード、またその反対にシームレスに切り換えることができます。

### セレクタモード

セレクタモードでは、検索条件を使用して、ローカルデータベースまたはリモートデータベースから、診断ファイルを検索することができます。結果のリストから、一つ以上の診断ファイルを選択することができます。

### ビューワモード

ビューワモードは、セレクタモードで選択した診断ファイルを見ることができます。ビューワモードでは、幅広い、インタラクティブな画像処理および診断補助機能が使用できます。

# ユーザーインターフェイス

IPD Viewer Software は、Windows® ベースのユーザーインターフェイスを備えています。ここでは、セレクトモードおよびビューワモードにおけるユーザーインターフェイスの特別なエレメントについて詳述します。標準 Windows エレメントについては、タスクバー上のスタートボタンから起動できる Windows®NT ヘルプを参照してください。

## セレクトモード

セレクトモードでのユーザーインターフェイスは、以下の特別なユーザーインターフェイス エレメントが特徴です：

- ツールバー
- フレーム

### ツールバー

セレクトモードでは、IPD Viewer Software に 2 つのツールバーがあります：

- **[標準] ツールバー** には最もよく使用される機能のショートカットが表示されます。

このツールバーを自由にカスタマイズすることができます。[198 ページの 'ツールバーをカスタマイズする'](#) を参照してください。



- **[切換え] ツールバー** により、セレクトモードから、ビューワモードへ、またはその逆に切り換えたり、ID Software または QC Viewer Software へ切り換えることができます。



ツールバーのサイズを変更したり、画面にドラッグして移動したり、ツールバー領域にドラッグすることで固定することができます。

## フレーム

**セレクトモード**の時、IPD Viewer Software のメインウィンドウには次のフレームがあります：

- **検索フレーム**

検索フレームは、ローカルデータベースから診断ファイルを検索するための数多くの検索条件を備えています。

- **お気に入りフレーム**

お気に入りフレームでは、あらかじめ定義された検索条件の組み合わせ（お気に入り）を使って、ローカルデータベースで診断ファイルを簡単かつ素早く検索することができます。

- **リストビュー フレーム**

リストビュー フレームでは、検索フレームを使用して検索した診断ファイルを表示します。

- **サムネイル フレーム**

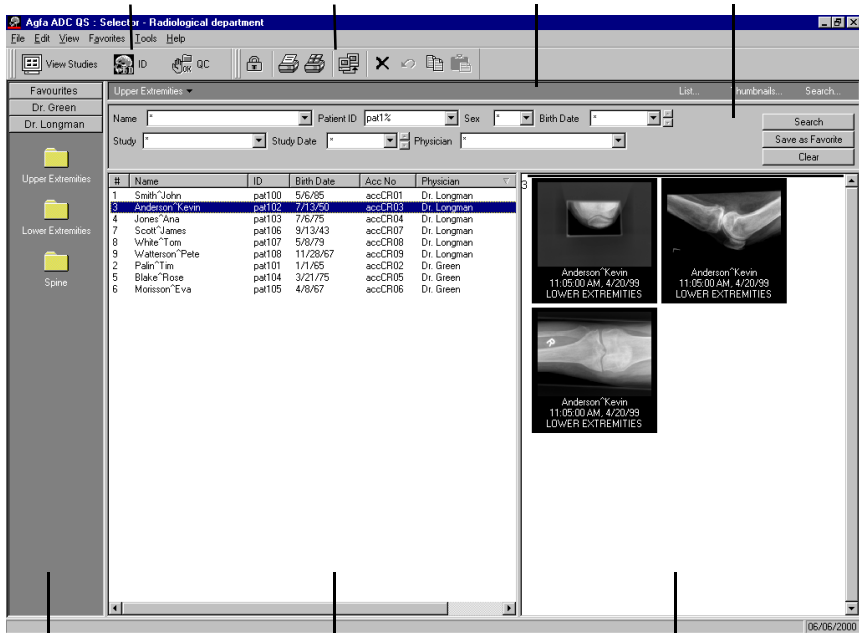
サムネイル フレームは診断ファイルのサムネイル画像を表示します。

- **ショートカット フレーム**

ショートカット フレームを使用して、リスト ビュー フレーム、サムネイル フレームおよびサーチ フレームをオンまたはオフにできます。お気に入りフレームがオフの時、このフレームを用いてお気に入りに素早くアクセスできます

様々なフレーム ショートカット フレームを除く をオンまたはオフにすることで、自由にセレクトモードをカスタマイズすることができます。[27 ページの 'オンスクリーン プレゼンテーションを選択する'](#) を参照してください。境界をドラッグすることによってフレームの大きさを変更することができます。

切換えツールバー      標準ツールバー      ショートカットフレーム      検索フレーム



お気に入りフレーム      リストビュー フレーム      サムネイル フレーム

## ビューワモード

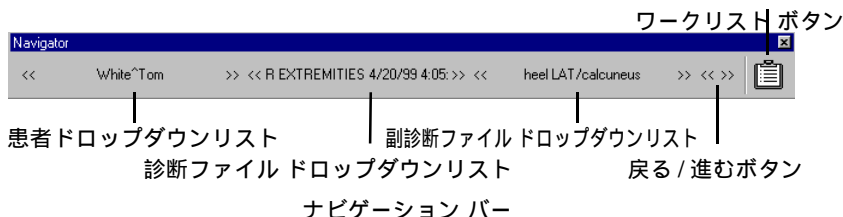
ビューワモードにおけるユーザーインターフェイスには、下記の特別なユーザーインターフェイス エLEMENTがあります：

- ナビゲーション バー
- ツールバー
- フレーム

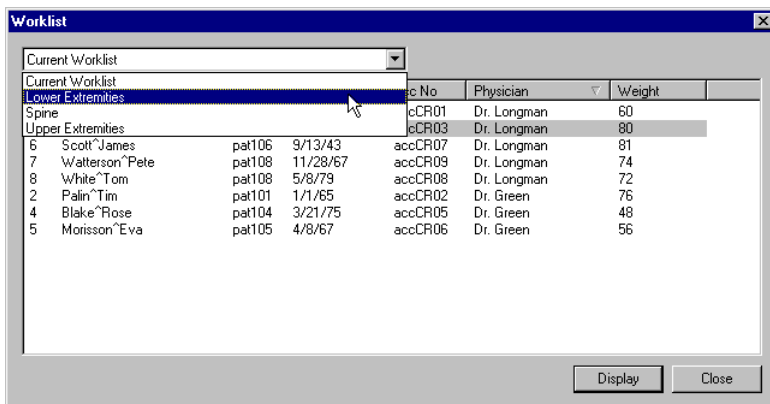
### ナビゲーション バー

ナビゲーション バーを使用すると、セレクトアモードに切り替えずに、ビューワモードを簡単に操作することができます。

ドロップダウンリスト、[ 戻る ] および [ 進む ] ボタン、または [ ワークリスト ] ボタンを使用して、**セレクトアモードにおいて選択した診断ファイルの間を移動**することができます。ドロップダウンリストを使用して、特定の患者、診断ファイル、または画像を選択できます。[ 戻る ] および [ 進む ] ボタンを使って、画像をブラウズすることができます。



ナビゲーション バーの ワークリスト ボタンを使用して、**お気に入り検索**（お気に入り）結果だけでなく、**データベースから検索した診断ファイル**にアクセスすることができます。



ワークリスト ダイアログボックス

## ツールバー

ビューワモードの時、IPD Viewer Software には下記のツールバーがあります：

- **【フォーマット】ツールバー**

【フォーマット】ツールバーを使用して、画像フレームをカスタマイズすることができます。1，2，4，または9個の画像を一度に表示することができます。

- **【画像処理】ツールバー**

【画像処理】ツールバーは、IPD Viewer Software の画像処理機能にアクセスするボタンを備えています：MUSICA 処理、全体のコントラストおよび輝度調整、視準、その他。

- **【変形】ツールバー**

【変形】ツールバーによって、回転、裏返し、ズームイン/アウト、その他などの画像変形の機能にアクセスできます。

- **【注釈】ツールバー**

【注釈】ツールバーを使用して、画像に注釈（直線、矢印、図形フォーム、テキスト、その他）を追加し、角度および距離測定を行い、スキャン平均レベル（SAL）および密度プロフィール計算を行うことができます。

- **【標準】ツールバー**

【標準】ツールバーには、最も頻繁に使われる機能へのショートカットがあります。

- **【切換え】ツールバー**

【切換え】ツールバーによって、セレクトモードからビューワモードに、ビューワモードからセレクトモードに切り換えたり、ID Software や QC Viewer Software に素早く切り換えることができます。

ツールバーのサイズを変更したり、画面にドラッグして移動したり、ツールバー領域にドラッグすることで固定することができます。

【切換え】ツールバー以外の、上記ツールバーは自由にカスタマイズすることができます。詳細は、[198 ページの 'ツールバーをカスタマイズする'](#) を参照してください。



## 変形ツールバー



## フレーム

ビューワモードの時、IPD Viewer Software のメインウィンドウには次のフレームがあります：

- **画像フレーム**

画像フレームには、診査中の画像が含まれます。診断ファイルの一つの大きい画像の表示するか、または、複数画像の比較するかどちらかにこのフレームをカスタマイズすることができます。89 ページの '[画像フレームのフォーマットを選択する](#)' を参照してください。

- **診断ファイル オーバービュー フレーム**

診断ファイル オーバービュー フレームは、診査中の診断ファイルのサムネイル画像を表示します。

両方のフレーム間の境界をドラッグすることによって、画像フレームおよび診断ファイル オーバービュー フレームの大きさを変更することができます。

---

## IPD Viewer Software を起動する

---

IPD Viewer Software を起動するには、ユーザー名およびパスワードが必要です。システム管理者に問い合わせてください。ユーザーを作成する方法については、コンフィギュレーション ビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

### IPD Viewer Software を起動するには：

**1** 以下のうちの一つを行います：

- [ADC QS] アイコンをダブルクリックします。
- [ スタート ] ボタンをクリックして、Agfa を選択します。ADC QS フォルダを選択してから、[ ビューワ ] をクリックしてください。

ログインダイアログボックスが表示されます。

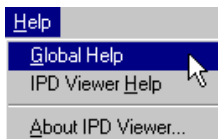
**2** 有効なユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。

ADC Quality System が起動します。

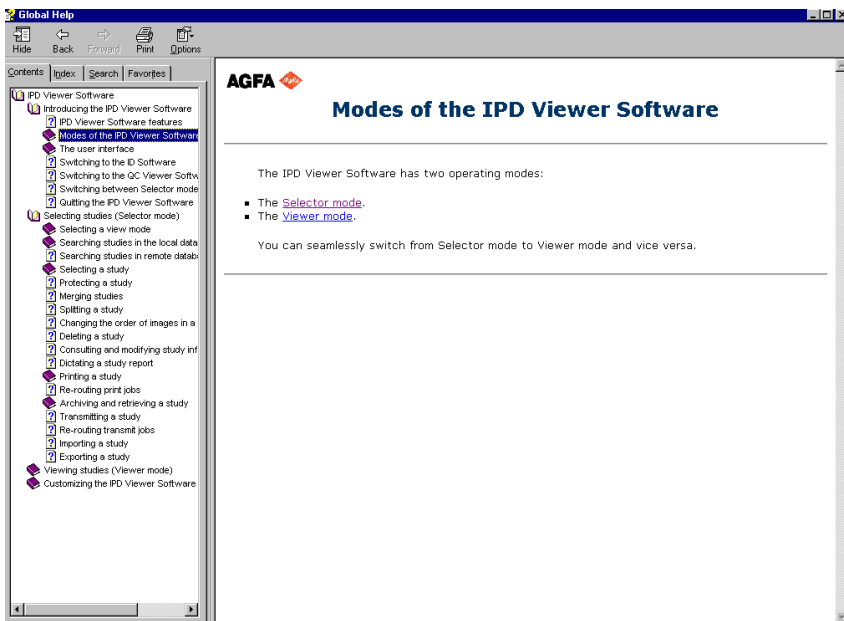
- ADC Quality System の起動が初めての場合、QC Viewer Software のメインウィンドウが表示されます。
- ADC Quality System を以前に使用したことがあれば、前回使用したモジュール - ID Software、QC Viewer Software、または、IPD Viewer Software のいずれか - のメインウィンドウが表示されます。

## オンラインヘルプを使用する

ヘルプメニューを使って IPD Viewer Software の機能に関するヘルプを呼び出すことができます。IPD Viewer Software のヘルプとグローバル ADC Quality System のヘルプ ( グローバル ヘルプ ) のどちらかを選択できます。



オンラインヘルプによって、情報を素早く簡単に見つけることができます；目次、インデックス、フルテキスト検索機能、および、お気に入りのトピックを定義することができるお気に入り機能があります。



オンラインヘルプ

## ID Software に切り換える

セレクトモードまたはビューモードのどちらで作業していても、IPD Viewer Software から ID Software を簡単に呼び出すことができます。この機能によって、診断ファイルの指定から表示へ、またその逆へと、シームレスに切り換えることが可能です。

- ❖ IPD Viewer Software 内から詳細な診断ファイル情報を調べることができます。[57 ページの '診断ファイル情報を参照および修正する' を参照してください。](#)

### IPD Viewer Software から ID Software に切り換えるには：

[ ビュー ] メニューの [ID] をクリックします。

その代わりに、[ 切換え ] ツールバー上の [ID] ボタンをクリックすることができます。



ID Software のメインウィンドウが表示されます。

### ID Software から IPD Viewer Software に切り換えるには：

[ 表示 ] メニューの [IPD] をクリックします。

その代わりに、[ 切換え ] ツールバー上の [ID] ボタンをクリックすることができます。

IPD Viewer Software のメインウィンドウが表示されます。

---

## QC Viewer Software に切り換える

---

セレクトモードまたはビューワモードのどちらで作業していても、IPD Viewer Software から QC Viewer Software を簡単に呼び出すことができます。これによって、画像品質のチェックから診断ファイルの表示へ、またその逆へと、シームレスに切り換えることができます。

### IPD Viewer Software から QC Viewer Software に切り換えるには：

[ 表示 ] メニューの [QC] をクリックします。

その代わりに、[ 切換え ] ツールバー上の [QC] ボタンをクリックすることができます。



QC Viewer Software のメインウィンドウが表示されます。

### QC Viewer Software から IPD Viewer Software に切り換えるには：

[ 表示 ] メニューの [IPD] をクリックします。

その代わりに、[ 切換え ] ツールバー上の [IPD] ボタンをクリックすることができます。

IPD Viewer Software のメインウィンドウが表示されます。

## セレクトモードとビューワモードを切り換える

**セレクトモード**では、検索条件に基づいてローカルデータベースまたはリモートデータベースから診断ファイルを検索することができます。結果リストが表示されたら、多くの診断ファイルを選択することができます。

診断ファイルを選択した後、**ビューワモード**でそれらを見ることができます。このモードは、様々なインタラクティブ画像処理および診断補助機能を提供します。

**セレクトモードからビューワモードに切り換えるには：**

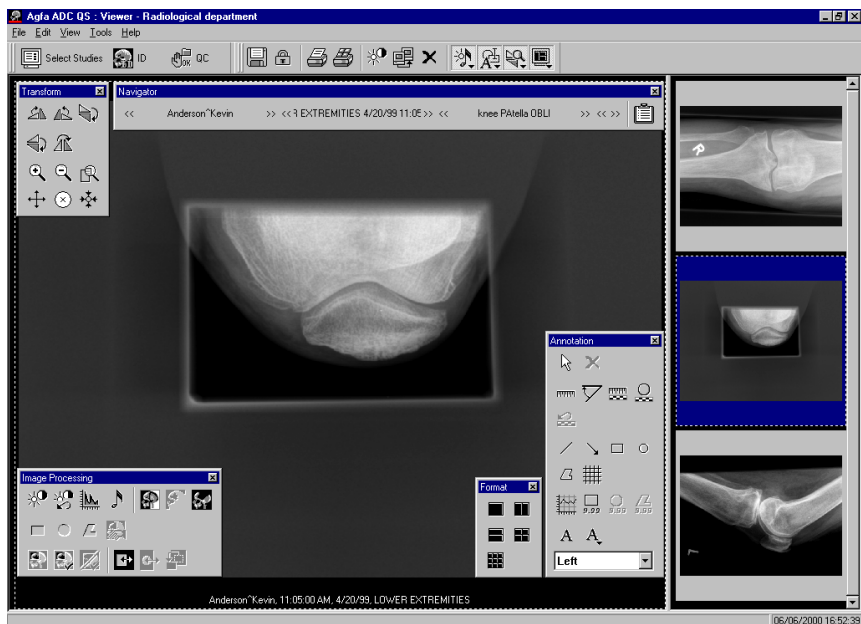
- 1 セレクトモードで、一つ以上の診断ファイルを選択します。  
[48 ページの '診断ファイルを選択する'](#) を参照してください。
- 2 ビューワモードに切り換えるには、以下のうちの一つを行います：
  - [ファイル] メニューの [診断ファイルの表示] をクリックします。
  - [切換え] ツールバー上で [診断ファイルの表示] ボタンをクリックします。



一つの診断ファイルだけを選択した場合、以下のうちの一つを行うことができます：

- リストビュー フレームの診断ファイルをダブルクリックします。  
[30 ページの 'リストビュー フレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- サムネイル フレームの診断ファイルのサムネイルをダブルクリックします。  
[31 ページの 'サムネイル フレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。

IPD Viewer Software はビューワモードに切り替わります。



- ❖ ビューワモードで作業しているとき、ナビゲーションバーを使用してセレクトモードで選択した複数の診断ファイル間で切り換えることができます。セレクトモードに戻る必要はありません。'ビューワモードでファイル間を移動する'を参照してください。

ビューワモードからセレクトモードへ切り換えるには：

[ファイル] メニューの [選択] をクリックします。


その代わりに、[切換え] ツールバー上で [診断ファイルを選択] ボタンをクリックすることができます。



IPD Viewer Software はセレクトモードに切り換わります。


# IPD Viewer Software を終了する

セレクトモードおよびビューワモードの両方で、IPD Viewer Software を閉じることができます。

 **画像への変更を保存していない場合、終了する前に保存してください。IPD Viewer Software を終了するとき、警告メッセージは表示されません。**

## IPD Viewer Software を終了するには：

- 1 画像を修正して、その変更を保存したい場合、既存の画像を置き換えるか、変更された画像を新規の画像として保存します。

目的	方法
変更された画像で既存の画像を置換する	<p>[ファイル]メニューの、[保存]をクリックします。</p> <p>代わりに、[標準]ツールバー上で[保存]ボタンをクリックすることができます。</p> 
変更された画像を診断ファイルに追加する新規の画像として保存する	<p>[ファイル]メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。</p>

画像は、ローカルデータベースに保存されます。

- 2 [ファイル]メニューの[終了]をクリックします。IPD Viewer Software は終了します。



## 診断ファイルを選択する (セレクトモード)

セレクトモードでは、ローカルデータベースまたはリモートデータベースから診断ファイルを検索することができます。この章では、以下のトピックについて説明します：

- ❑ [オンスクリーン プレゼンテーションを選択する](#)
- ❑ [ローカルデータベースを検索する](#)
- ❑ [リモートデータベースを検索する](#)
- ❑ [診断ファイルまたは画像を選択する](#)
- ❑ [診断ファイルを保護する](#)
- ❑ [診断ファイルを結合する](#)
- ❑ [診断ファイルを分割する](#)
- ❑ [診断ファイルの画像の順序を変更する](#)
- ❑ [診断ファイルまたは画像を削除する](#)

- ❑ 診断ファイル情報を参照および修正する
- ❑ 診断ファイルを口述済みにする
- ❑ 診断ファイルまたは画像を印刷する
- ❑ 診断ファイルまたは画像を送信する
- ❑ 印刷または送信ジョブをリルートする
- ❑ 診断ファイルをアーカイブおよび検索する
- ❑ 診断ファイルをインポートする
- ❑ 診断ファイルをエクスポートする
- ❑ Rislink ファイルに診断ファイルまたは画像データをエクスポートする

## オンスクリーン プレゼンテーションを選択する

IPD Viewer Software では、あなたのニーズに合わせてセレクトモードをカスタマイズできます。

以下のうち一つ以上を行うことができます：

- 検索フレームを表示する / 隠す
- お気に入りフレームを表示する / 隠す
- リストビュー フレームを表示する / 隠す
- サムネイル フレームを表示する / 隠す
- 過去の関連診断ファイルを表示する / 隠す

ショートカットフレーム

検索フレーム



お気に入りフレーム

リストビュー フレーム

サムネイル フレーム

サムネイル  
表示項目  
データ

## 検索フレームを表示する / 隠す

検索フレームでは、ローカルデータベースを検索するための検索条件を選択することができます。

検索フレーム

検索フレームをオンまたはオフにするには：

[ 表示 ] メニューの [ 検索 ] をクリックします。

チェックマークは、検索フレームがオンになっていることを意味します。

その代わりに、ショートカット フレームで [ 検索 ] ボタンをクリックすることができます。

ショートカット フレーム

- ▶ データベースを検索するために使用する検索フィールドの設定方法については、[207 ページの '検索フレームをカスタマイズする'](#) を参照してください。

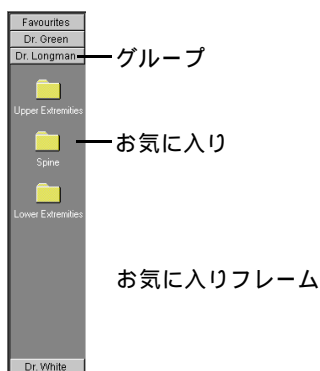
## お気に入りフレームを表示する / 隠す

お気に入りフレームは、ローカルデータベースを検索するための自由な検索条件の組合せ（お気に入り）を含んでいます。また、お気に入りのグループも含んでいます。お気に入りフレームでは、診断ファイルを簡単かつ素早く検索することができます。

お気に入りフレームをオンまたはオフにするには：

[表示]メニューの[お気に入りフレーム]をクリックします。

チェックマークは、お気に入りフレームがオンになっていることを意味します。



- ❖ お気に入りフレームがオフの場合、ショートカットフレームにあるお気に入りドロップダウンリストを使ってお気に入りグループを切り換えることができます。



お気に入りドロップダウンリスト      ショートカット フレーム

- お気に入りフレームをカスタマイズするには、[210](#) ページの '[お気に入りフレームをカスタマイズする](#)' を参照してください。
- お気に入り、およびお気に入りのグループの定義方法については、[38](#) ページの '[お気に入りを定義する](#)' および [42](#) ページの '[お気に入りのグループを定義する](#)' をそれぞれ参照してください。

## リストビュー フレームを表示する / 隠す

リストビュー フレームは、検索フレームを使用して検索した診断ファイルの  
オーバービューを表示します。リストビュー フレームは、患者名、患者 ID、受  
付番号などの診断ファイルデータを一覧表示します。

リストビュー フレームをオンまたはオフにするには：

- [ 表示 ] メニューの [ リストビュー ] をクリックします。
- チェックマークは、リストビュー フレームがオンであることを意味します。

#	Name	ID	Birth Date	Acc No	Physician
1	Smith John	pat100	5/6/85	accCR01	Dr. Longman
3	Anderson Kevin	pat102	7/13/50	accCR03	Dr. Longman
6	Scott James	pat106	9/13/43	accCR07	Dr. Longman
7	Walterson Pete	pat108	11/29/67	accCR09	Dr. Longman
8	White Tom	pat109	5/9/79	accCR08	Dr. Longman
2	Pain Tim	pat101	1/1/65	accCR02	Dr. Green
4	Blake Rose	pat104	3/21/75	accCR05	Dr. Green
5	Morrison Eva	pat105	4/9/67	accCR06	Dr. Green

リストビュー フレーム

- ▶ リストビュー フレーム内に表示される診断ファイルデータ ( カラムヘッ  
ダ ) カラムの順番、およびリストビュー フレームのソート順をカスタ  
マイズするには、[211 ページの ' リストビュー フレームをカスタマイズ  
する '](#)を参照してください。
- ▶ リストビュー フレーム内に過去の関連診断ファイルを表示するようシ  
ステムを設定する方法については、[コンフィギュレーション ビューワ  
のレファレンスマニュアル](#)を参照してください。

## サムネイル フレームを表示する / 隠す

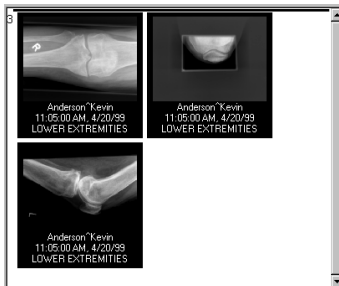
サムネイル フレームは、診断ファイルのサムネイル画像を表示します。

- リストビュー フレームがオフの場合、サムネイル フレームは検索フレームで検索した診断ファイルの画像のサムネイルを表示します。診断ファイルは、自動的に選択されます。
- リストビュー フレームがオンの場合、サムネイル フレームは、検索フレームで検索後リストビュー フレームを使用して選択した、診断ファイルのサムネイル画像を表示します。

**サムネイル フレームをオンまたはオフにするには：**

[ 表示 ] メニューの [ サムネイル ] をクリックします。

チェックマークは、サムネイル フレームがオンであることを意味します。



サムネイル フレーム

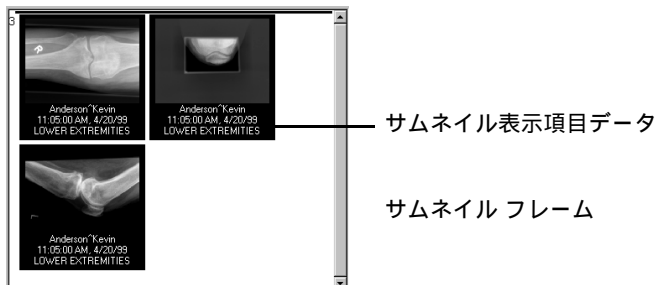
## サムネイル表示項目データを表示する / 隠す

サムネイル フレームがオンの場合、その下に表示項目データを表示または表示しないかどちらかの状態で、サムネイルが表示されます。

サムネイル表示項目データをオンまたはオフにするには：

[ 表示 ] メニューの [ サムネイル表示項目 ] をクリックします。

チェックマークは、サムネイル表示項目データがオンであることを意味します。



- どの診断ファイルデータをサムネイル表示項目データとして表示するか設定する方法については、[194](#) ページの '[サムネイル表示項目データを設定する](#)' を参照してください。

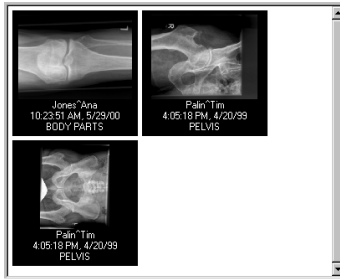


## サムネイルをグループ化する

サムネイルがオンの場合、次のいずれかを行います：

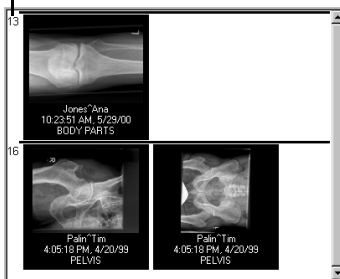
- 全てのサムネイルを横に並べて表示する。  
すべてのサムネイルが横に並んで表示されます。
- 診断ファイル毎にサムネイルをグループ化して表示。

サムネイルは診断ファイル毎にグループ化されます；一つの診断ファイルのサムネイルは、シーケンス番号が前についた水平線によって別の診断ファイルのサムネイルと分離されます。



サムネイルのグループ化がオフ

### シーケンス番号



サムネイルのグループ化がオン

サムネイルのグループ化をオンまたはオフにするには：

[表示] メニューの [サムネイルのグループ化] をクリックします。

チェックマークは、サムネイルのグループ化がオンであることを意味します。

## 過去の関連診断ファイルを表示する / 隠す

過去の関連診断ファイルは、あなたが現在作業している診断ファイルと関連がある、過去に行われた診断のファイルです。データベースを検索するとき、過去の関連診断ファイルを検索するように IPD Viewer Software を設定することができます。

過去の関連診断ファイルを検索するように IPD Viewer Software を設定した場合、過去の診断ファイルを検索結果上で表示または隠すことができます。

- ▶ 過去の関連診断ファイルを検索する際の IPD Viewer Software の設定に関する情報は、コンフィギュレーション ビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

## ローカルデータベースを検索する

ローカルデータベースで診断ファイルを検索するには、検索フレームで検索条件の組合せを指定しなければなりません。診断ファイルの検索結果一覧は、リストビュー フレームおよびサムネイル フレームに表示されます。検索の定義方法については、36 ページの '[検索を定義する](#)' を参照してください。

一度検索を定義すると、お気に入りとして、今後の使用のために保存できます。38 ページの '[お気に入り定義する](#)' を参照してください。

お気に入りの組合せは、共通する特性によってグループ化することができます。42 ページの '[お気に入りのグループを定義する](#)' を参照してください。



## 検索を定義する

検索フレーム内で希望の検索条件を選択することによって、検索を定義することができます。その検索は、ローカルデータベース内の全ての診断ファイルに適用されます。新規の診断ファイルが ADC QS Station に到着すると結果は継続的に更新されます。

- ❖ 検索結果を自動的に選択したい場合、自動選択モードで作業してください。37 ページの '[検索結果の自動選択をオン/オフにする](#)' を参照してください。

**検索を定義するには：**

- 1 以下のルールに従って、各検索フィールドに検索条件を入力または選択してください：

- 名前フィールドの形式は [ 姓 ] ^ [ 名 ] の順番です。例：Anderson^Kevin。
- 入力は、大文字と小文字を区別してください。
- 一つ以上の文字のワイルドカード文字は、% です。
- \* という記号は「すべて」を意味します。すなわち、その検索フィールドに検索条件がないことを表します。

- ❖ 全ての検索フィールドをクリアするには、お気に入りメニューの [ クリア ] をクリックするか、検索フレームの [ クリア ] ボタンをクリックします。

- 2 検索フレームの [ 検索 ] ボタンをクリックします。

リストビュー フレームがオンの場合、診断ファイルの検索結果はリストビュー フレーム内に表示されます。

リストビュー フレームがオフの場合、検索結果の診断ファイルのサムネイルが、サムネイル フレームに表示されます。診断ファイルは、自動的に選択されます。

- どの検索フィールドを検索フレーム内に入れるか定義する方法については、207 ページの '[検索フレームをカスタマイズする](#)' を参照してください。

## 検索結果の自動選択をオン/オフにする

検索結果の自動選択がオンの場合、データベースから検索される診断ファイルは自動的に選択されます。この機能は、リストビュー フレームをオンにして作業しており、かつ、ビューワモードのナビゲーション バーを介して全ての検索結果を使用したい場合、非常に役立ちます。これによって、診断ファイルをマニュアルで選択することなく、検索後ビューワモードに直ちに切り換えることができます。

**自動選択をオンまたはオフにするには：**

[ 編集 ] メニューの [ すべてを自動選択 ] をクリックします。

チェックマークは、検索結果の自動選択がオンであることを意味します。

## お気に入り进行定義する

検索を、お気に入りとして今後使用するために保存できます。お気に入りフレームのお気に入りアイコンをクリックするだけで、そのお気に入りに対応する検索を実行することができます。新規の診断ファイルが ADC QS Station に到着すると結果は継続的に更新されます。お気に入りの名前を変更したり、削除することができます。

お気に入りの例：

今日の診断結果ファイル：この検索は今日スケジュールされている全ての診断ファイルを検索します。

The screenshot shows a search form with the following fields and controls:

- Name: [Text Field]
- Patient ID: [Text Field]
- Sex: [Dropdown Menu]
- Birth Date: [Date Picker]
- Study: [Text Field]
- Study Date: [Date Picker]
- Physician: [Text Field]
- Buttons: Search, Save as Favorite, Clear

- ❖ デフォルトのお気に入り、「Today」が、システム設定時に作成されています。
- ❖ 共通の特性に従ってお気に入りをグループ化することができます。お気に入りをグループを操作したい場合は、お気に入りを作成する前にグループを生成する必要があります。[42 ページの「お気に入りのグループを定義する」](#)を参照してください。

### お気に入り検索を保存する

検索をお気に入りとして保存するには、新規の検索から開始するか、または既存のお気に入りを修正する方法があります。

検索をお気に入りとして保存するには：

- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
[29 ページの「お気に入りフレームを表示する / 隠す」](#)を参照してください。
- 2 そのお気に入りを、お気に入りのカスタムグループに入れたい場合、グループを作成します。  
[42 ページの「お気に入りのグループを定義する」](#)を参照してください。
- 3 お気に入りフレームにおいて、お気に入りの追加先グループのボタンをクリックします。  
カスタムグループを作成していない場合、そのお気に入りはデフォルトグループのお気に入りに追加されます。

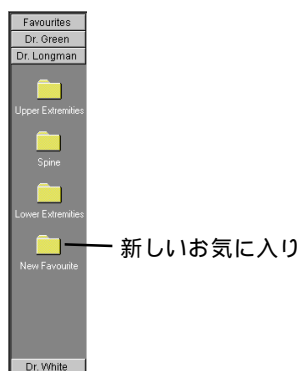
#### 4 以下のうちの一つを行います：

- 新規検索を定義します。  
36 ページの '[検索を定義する](#)' を参照してください。
- 既存のお気に入り修正します：お気に入りメニュー上で既存のお気に入りの名前をクリックし、検索条件を修正します。  
その代わりに、お気に入りフレーム内の既存のお気に入りのアイコンをクリックして検索条件を修正することもできます。

#### 5 [お気に入り] メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。

その代わりに、検索フレーム内の [お気に入りとして保存] ボタンをクリックすることもできます。

新規のお気入りは、お気に入りフレーム内に作成されます。その名前はハイライトされます。



#### 6 新しいお気に入りの名前を入力します。


#### 7 [ENTER] を押します。

新しいお気に入りがお気に入りフレーム内の選択されたグループに追加されます。

## お気に入りの名前を変更する

お気に入りの名前を変更し、お気に入りフレーム内にその名前を表示することができます。

### お気に入りの名前を変更するには：

- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
[29 ページの 'お気に入りフレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 名前を変更したい[お気に入り]メニュー上のお気に入りの名前をクリックします。  
その代わりに、お気に入りフレーム内のお気に入りのアイコンをクリックすることができます。  
お気に入りのアイコンが開きます。  

- 3 [お気に入り]メニューで、[名前の変更]をクリックします。  
お気に入りフレーム内のお気に入りの名前がハイライトされます。
- 4 新しい名前を入力します。
- 5 [ENTER] を押します。  
お気に入りは新しい名前になります。




## お気に入り削除する

もう使用しないお気に入りがある場合、お気に入りフレームからそれを削除することができます。



**一旦お気に入りが削除されたら、決して復元できません！**

お気に入りを削除するには：

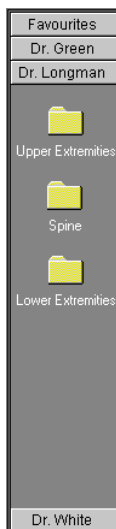
- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
[29 ページの 'お気に入りフレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 [お気に入り] メニュー内の、削除したいお気に入りの名前をクリックします。  
その代わりに、お気に入りフレーム内のお気に入りのアイコンをクリックすることができます。  
お気に入りのアイコンがこれで開きます。  

- 3 [お気に入り] メニューの [削除] をクリックします。  
警告メッセージが表示されます。
- 4 お気に入りを削除するなら、[はい] をクリックします。  
そのお気に入りは、お気に入りフレームから削除されます。

## お気に入りのグループを定義する

共通の特性に従ってお気に入りをグループ化できます。グループの名前を変更したり削除することもできます。

グループの例：

Dr. Longman: このグループは、Dr. Longman のお気に入り検索を全て含みます。



- ❖ 放射線学者につき 1 グループのお気に入りを定義した場合、複数の放射線学者が一つの ADC QS Station をシームレスに共有できます。
- ❖ システムが設定されあるた時に、デフォルトのお気に入りで「Favorites」が、作成されています。

## お気に入りのグループを作成する

お気に入りをグループとして操作したい場合は、お気に入りを作成する前にグループを生成する必要があります。

### グループを作成するには：

- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
29 ページの '[お気に入りフレームを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 2 [お気に入り]メニューの[グループ]をクリックし、それから[グループの追加]をクリックします。  
新しいグループがお気に入りフレームに追加され、その名前がハイライトされます。
- 3 新しいグループ名を入力します。
- 4 [ENTER] を押します。  
新しいグループがお気に入りフレームに追加されました。

## お気に入りのグループを選択する

お気に入りのグループを選択するには、まずグループを選択しなければなりません。お気に入りフレームは選択したグループのお気に入りしか表示しないからです。

### グループを選択するには：

- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
29 ページの '[お気に入りフレームを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 2 お気に入りフレーム内のグループのボタンをクリックします。



お気に入りのグループが、お気に入りフレーム内に表示されます。

## お気に入りのグループ名を変更する

お気に入りフレームに表示されるグループ名を変更することができます。

### グループ名を変更するには：

- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
[29 ページの 'お気に入りフレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 お気に入りフレーム内のグループのボタンをクリックします。



- 3 [お気に入り]メニューの[グループ]をクリックし、それから[グループ名の変更]をクリックします。  
グループ名がハイライトされます。
- 4 新しい名前を入力します。
- 5 [ENTER] を押します。

## お気に入りのグループを削除する

もう使用しないお気に入りのグループがある場合、お気に入りフレームからそれを削除することができます。ただし、デフォルトグループの「Favorites」を削除することはできません。



一旦お気に入りのグループが削除されたら、決して復元できません！

## グループを削除するには：

- 1 お気に入りフレームをオンにします。  
[29 ページの 'お気に入りフレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 お気に入りフレーム内のグループのボタンをクリックします。

Dr. Green

- 3 [お気に入り]メニューの[グループ]をクリックし、それから[削除]をクリックします。  
警告メッセージが表示されます。
- 4 グループを削除するには、[ はい ] をクリックします。  
グループはお気に入りフレームから削除されます。

---

## リモートデータベースを検索する

---

ローカルデータベースの検索とは別に、リモート ボリューム上でデータベースを検索することができます。

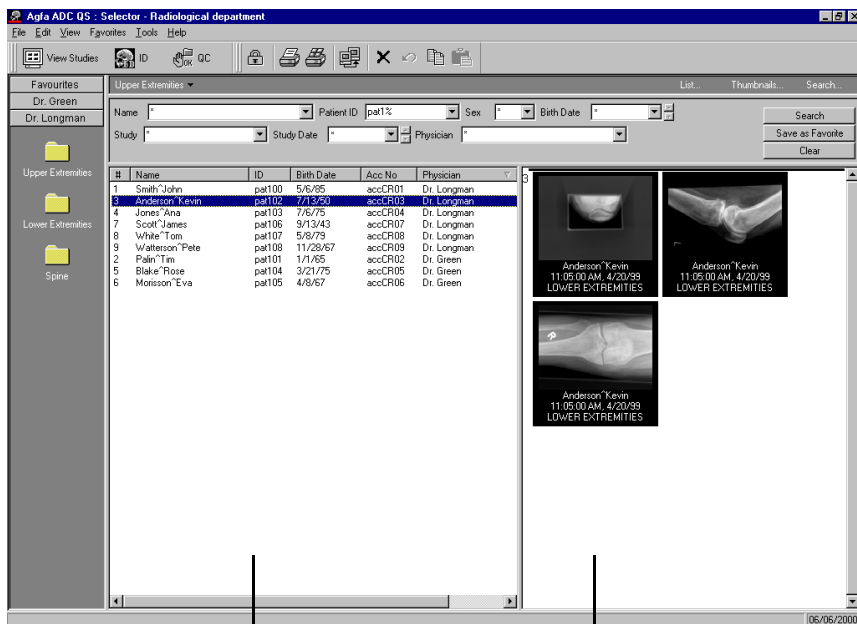
## 診断ファイルまたは画像を選択する

下記のような作業を行いたい場合、診断ファイルを選択する必要があります：

- ・ **オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する**
- ・ 診断ファイルを印刷する。
- ・ DICOM レビューまたはアーカイブステーションに診断ファイルを送信する。
- ・ 診断ファイルを削除する。
- ・ **診断ファイル情報を参照および修正する**

セレクトモードでは、一つの画像を選択することもできます。画像ベースでは、可能なアクションの数が限られています：

- ・ 画像を削除する。
- ・ 画像を印刷する。
- ・ DICOM レビューまたはアーカイブステーションに画像を送信する。
- ・ Rislink ファイルに画像データをエクスポートする。



リストビュー フレーム

サムネイル フレーム

# 診断ファイルを選択する

診断ファイルを選択する方法は、リストビュー フレームがオンかどうかによって異なります。

- リストビュー フレームがオンの場合、リストビュー フレームを使用して手動で診断ファイルを選択するか、自動選択モードで作業することができます。
- リストビュー フレームがオフの場合、データベースから検索された診断ファイルは自動的に選択されます。

**リストビュー フレームがオンの場合、手動で一つ以上の診断ファイルを選択するには：**

- 1 適切な検索条件で検索を定義します。  
36 ページの '[検索を定義する](#)' を参照してください。診断ファイルの検索結果は、リストビュー フレーム内に表示されます。
- 2 診断ファイルを選択します：

選択対象	選択方法
一つの診断ファイル	リストビュー フレーム内の診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルをクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルをクリックします。
全ての診断ファイル	[編集] メニューの [全て選択] をクリックします。

選択された診断ファイルは、リストビュー フレーム内でハイライトされます。サムネイル フレームがオンの場合、選択された診断ファイルのサムネイルがサムネイル フレーム内に表示されます。



**リストビュー フレームがオンの場合、自動的に診断ファイルを選択するには：**

- 1 [編集]メニューの[すべてを自動選択]をクリックします。  
チェックマークは、検索条件の自動選択がオンであることを意味します。
- 2 適切な検索条件で検索を定義します。  
[36 ページの '検索を定義する'](#) を参照してください。診断ファイルの検索結果は、リストビュー フレーム内に表示されます。全ての診断ファイルが自動的に選択されます。

**リストビュー フレームがオフの場合、自動的に診断ファイルを選択するには：**

- 1 サムネイル フレームがオンであることを確認します。  
[31 ページの 'サムネイル フレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 適切な検索条件で検索を定義します。  
[36 ページの '検索を定義する'](#) を参照してください。診断ファイルの検索結果のサムネイル画像が、サムネイル フレーム内に表示されます。全ての診断ファイルが自動的に選択されます。

## 画像を選択する

画像を選択する方法は、リストビュー フレームがオンかどうかによって異なります。

- リストビュー フレームがオンの場合、診断ファイルを選択した後診断ファイル内の画像を選択します。
- リストビュー フレームがオフの場合、サムネイル フレームを使用して直接画像を選択することができます。

### リストビュー フレームがオンの場合、一つ以上の診断ファイルを選択するには：

- 1 サムネイル フレームがオンであることを確認してください。  
[31 ページの 'サムネイル フレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 画像を選択したい診断ファイルを選択します。  
[48 ページの '診断ファイルを選択する'](#) を参照してください。
- 3 選択したい画像のサムネイルをクリックします。  
選択された画像のサムネイルは、サムネイル フレーム内でハイライトされます。  
画像の選択を外すには、サムネイルをクリックします。

### リストビュー フレームがオフの場合、一つ以上の画像を選択するには：

- 1 サムネイル フレームがオンであることを確認してください。  
[31 ページの 'サムネイル フレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 適切な検索条件で検索を定義します。  
[36 ページの '検索を定義する'](#) を参照してください。診断ファイルの検索結果のサムネイル画像が、サムネイル フレーム内に表示されます。全ての診断ファイルが自動的に選択されます。
- 3 選択したい画像のサムネイルをクリックします。  
選択された画像のサムネイルは、サムネイル フレーム内でハイライトされます。  
画像の選択を外すには、サムネイルをクリックします。

## 診断ファイルを保護する

診断ファイルは、ADC QS Station のハードディスクに保存されます。ただし、ハードディスクの容量が限られているので、一定の数の診断ファイルしか保存できません。ハードディスクの使用スペースがフル容量に達すると、最も古い診断ファイルのデータが自動的に削除され、最新の診断ファイルのデータに置換されます。しかし、自動削除から診断ファイルを保護することができます。

### 一つ以上の診断ファイルを保護するには：

- 1 保護したい診断ファイルを選択します。

48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' を参照してください。

診断ファイルの範囲を保護するには、最低でも一つの診断ファイルが未保護でなければなりません。[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンが押されていない場合、診断ファイルは未保護です。



- 2 [ ファイル ] メニューの [ 保護マーク ] をクリックします。

その代わりとして、[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンをクリックすることができます。

[ 保護 ] ボタンが押されている場合、診断ファイルは保護されています。

- ❖ 保護されていない診断ファイルが一つでもある範囲を選択すると、その範囲のほかの診断ファイルが保護されていても、[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンは押された状態になりません。

## 一つ以上の診断ファイルから保護を削除するには：

- 1 保護を削除したい保護済みの診断ファイルを選択します。

48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' を参照してください。

診断ファイルの範囲から保護を削除するには、全ての診断ファイルが保護されていなければなりません。範囲指定で複数の診断ファイルから保護を削除するには、全ての診断ファイルは保護されていなければなりません。[標準] ツールバーの [保護] ボタンが押されている場合、診断ファイルは保護されています。



- ❖ 少なくとも一つの診断ファイルが非保護の診断ファイルの範囲を選択しなければ、その範囲のほかの診断ファイルが保護されていても、[標準] ツールバーの [保護] ボタンは押された状態になりません。

- 2 [ファイル] メニューの [保護マーク] をクリックします。

その代わりとして、[標準] ツールバーの [保護] ボタンをクリックすることができます。

[保護] ボタンは通常の状態です。つまり、診断ファイルは未保護です。

---

## 診断ファイルを結合する

---

診断ファイルが間違って 2 つの診断ファイルとして識別された場合、セレクトモードにおいて両方の診断ファイルを一つの診断ファイルに結合することができます。

---

## 診断ファイルを分割する

---

異なる患者の診断ファイルが誤って一つの診断ファイルとして識別された場合、セレクトモードでこれを訂正することができます。

---

## 診断ファイルの画像の順序を変更する

---

診断ファイルの画像は、ID ソフトウェアで識別された順序で、サムネイル フレーム内に表示されます。ただし、セレクトモードでは、サムネイル フレームにドラッグすることによって、診断ファイル内の画像を再配置することができます。

**診断ファイル内の画像の順序を変更するには：**

- 1 サムネイル フレームがオンであることを確認します。  
[31 ページの 'サムネイル フレームを表示する / 隠す'](#) を参照してください。
- 2 画像の順序を変更したい診断ファイルを選択します。  
[48 ページの '診断ファイルを選択する'](#) を参照してください。
- 3 サムネイル フレーム内でサムネイルをドラッグします。  
新しい順序がデータベース内に自動的に保存されます。

## 診断ファイルまたは画像を削除する

セレクトモードでは、ローカルデータベースに保存された診断ファイルまたは一つの画像を削除することができます。



**一旦診断ファイルまたは画像が削除されたら、決して復元できません！**

**診断ファイルまたは画像を削除するには：**

- 1 削除したい診断ファイルまたは画像を選択します。

[48](#)ページの '[診断ファイルを選択する](#)'または [50](#)の '[画像を選択する](#)'を参照してください。

- 2 [編集]メニューの[削除]をクリックします。

その代わりに、[標準]ツールバーの[削除]ボタンをクリックすることができます。



警告メッセージが表示されます。

- 3 診断ファイルまたは画像を削除するには、[はい]をクリックします。  
診断ファイルまたは画像がローカルデータベースから削除されます。

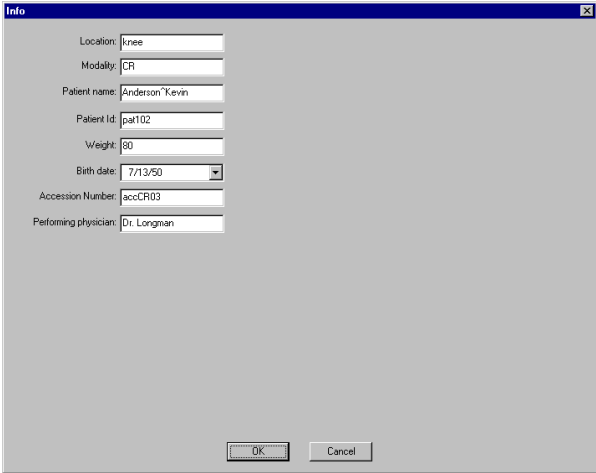


## 診断ファイル情報を参照および修正する

セレクトモードでは、特定の診断ファイルの詳細情報を参照することができます。また、診断ファイル・データを修正することもできます。データは、患者名、患者 ID、体重、生年月日、受付番号、担当医師、その他を含みます。

**診断ファイル情報を参照および修正するには：**

- 1 情報を参照したい診断ファイルを選択します。  
48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' を参照してください。
- 2 [ツール]メニュー上で、診断ファイル情報をクリックします。  
診断ファイルの詳細が表示されます。



The screenshot shows a window titled "Info" with a close button (X) in the top right corner. The window contains several input fields with labels and values:

Location:	knee
Modality:	CR
Patient name:	Anderson, Kevin
Patient Id:	pat102
Weight:	80
Birth date:	7/13/50
Accession Number:	accCR03
Performing physician:	Dr. Longman

At the bottom of the window, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

- 3 診断ファイルデータを修正するには、適切なボックスにデータを入力してください。
  - 4 [OK] をクリックします。
- どの診断データをダイアログボックスに表示するか設定する方法については、206 ページの '[診断ファイル情報を設定する](#)' を参照してください。

---

## 診断ファイルを口述済みにする

---

診断ファイルレポートを口述した場合、その診断ファイルが口述済であることをマークすることができます。この情報は診断ファイルデータの一つとして保存されます。

### 一つ以上の診断ファイルを口述済みとしてマークする場合：

- 1 レポートを口述した診断ファイルを選択します。

48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' を参照してください。

複数の診断ファイル範囲を口述済みとしてマークするには、最低一つのファイルのマークが外れていなければなりません。[ファイル]メニュー上の[口述済みマーク]コマンドがマークされていないならば、1つの診断ファイルがまだマークされていません。

- 2 [ファイル]メニュー上の[口述済みマーク]をクリックします。

チェックマークは、診断ファイルが口述済みとしてマークされていることを意味します。

- ❖ 口述済みマークされていない診断ファイルが一つでもある範囲を選択すると、[口述済みマーク]コマンドはチェック状態になりません。
- ❖ 誤って診断ファイルを口述済みにマークした場合、その診断ファイルを選択して、[ファイル]メニューの[口述済みマーク]をクリックすることにより、マークを外すことができます。

## 診断ファイルまたは画像を印刷する

セレクトモードでは、あなたのニーズに従って、診断ファイルまたは一つの画像を印刷することができます。

次のいずれかの印刷が可能です：

- [クイック印刷]を通してデフォルトレイアウトを使用して印刷する。
- [Print Composer]を通して非デフォルトまたはカスタム レイアウトを使用して印刷する。

## デフォルトレイアウト ( クイック印刷 ) を使用して印刷する

各診断ファイルタイプをデフォルトプリンタおよびデフォルトレイアウトに関連付けて、ADC Quality System を設定することができます。特定の診断ファイルタイプのデフォルトプリンタおよび / またはデフォルトレイアウトが設定されていない場合、システムデフォルトプリンタおよび / またはレイアウトがデフォルトになります。

**デフォルトプリンタでデフォルトレイアウトを使用して印刷するには：**

- 1 印刷したい診断ファイルを選択します。

48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' および 50 ページの '[画像を選択する](#)' をそれぞれ参照してください。

- 2 [標準] ツールバーの [クイック印刷] ボタンをクリックします。



診断ファイルまたは画像は、ADC Quality System の設定に従って、設定されたレイアウトまたはシステムデフォルトレイアウトを使用して設定されたプリンタまたはシステムデフォルトプリンタに印刷されます。

- ▶ ADC Quality System について詳しくは、コンフィギュレーションビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

## 非デフォルトまたはカスタム レイアウト ( Print Composer ) を使用して印刷する

[Print Composer] を使用して、出荷時定義レイアウトまたは以前に保存されたカスタム レイアウトで印刷することができます。複数の診断ファイル範囲または選択した画像を印刷することができます。

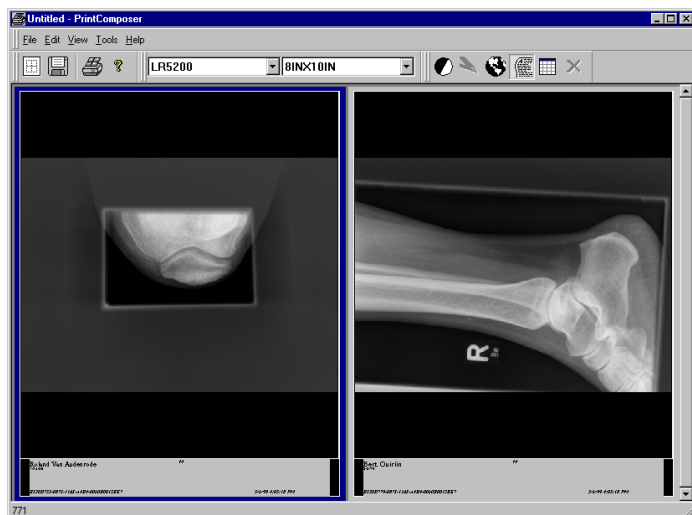
- ▶ カスタム レイアウトの定義方法については、Print Composer の参考文献マニュアルを参照してください。

**非デフォルトまたはカスタム レイアウトを使用して印刷するには：**

- 1 印刷したい診断ファイルを選択します。  
48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' および 50 ページの '[画像を選択する](#)' をそれぞれ参照してください。
- 2 [ファイル] メニューの [Print Composer] をクリックします。  
その代わりに、[標準] ツールバーの [Print Composer] ボタンをクリックすることができます。



[Print Composer] メインウィンドウが表示されます。



一つ以上の診断ファイルを選択した場合、選択された診断ファイルの全ての画像が印刷プレビューに表示されます。

一つ以上の画像を選択した場合、選択された全ての画像は印刷プレビューに表示されます。

- 3 プリンタ、フィルム フォーマットおよびフィルム レイアウトなどの印刷オプションを設定します。

[Print Composer] のレファレンスマニュアルを参照してください。

- 4 [Print Composer] の [ ファイル ] メニューの [ 印刷 ] をクリックします。  
その代わりに、[Print Composer] のツールバー上で [ 印刷 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 印刷 ] ダイアログボックスが表示されます。

- 5 フィルム範囲および印刷部数などの印刷オプションを設定します。

[Print Composer] のレファレンスマニュアルを参照してください。

- 6 [OK] をクリックします。

## 診断ファイルまたは画像を送信する

IPD Viewer Software では、あなたの ADC QS Station から DICOM ステーションまで診断ファイルまたは一つの画像を送信することができます。別のステーションの診断ファイルまたは画像を参照したり、手動で診断ファイルまたは画像をアーカイブする手段としてこれを行うことができます。

一つ以上の診断ファイルまたは画像を送信するには：

- 1 送信したい診断ファイルを選択します。

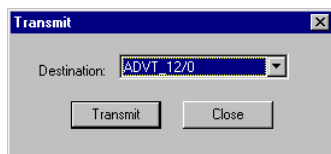
48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' および 50 ページの '[画像を選択する](#)' をそれぞれ参照してください。

- 2 [ファイル] メニューの [送信] をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [送信] ボタンをクリックすることができます。



[送信] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [送信先] リスト内で、診断ファイルまたは画像を送信したい送信先をクリックします。
- 4 [送信] をクリックします。

診断ファイルまたは画像は、送信先のローカルデータベース内に保存されます。

---

## 印刷または送信ジョブをリルートする

---

各診断ファイルタイプがデフォルトプリンタおよびデフォルト DICOM ステーションに関連付けられるように、ADC Quality System を設定することができます。特定の診断ファイルタイプのデフォルトプリンタまたはデフォルト DICOM ステーションが設定されていない場合、システムデフォルトプリンタ /DICOM ステーションがデフォルトになります。

通常、ADC QS Station に到着する新規診断ファイルは、デフォルトプリンタおよびデフォルト DICOM ステーションに自動的に送信されます。ただし、設定されたデフォルトプリンタが稼動中でない場合などは、一時的にデフォルトプリンタを別のプリンタに設定することができます。同様に、設定されたデフォルト DICOM ステーションが非稼動中の場合、別の DICOM ステーションに送信ジョブをリルートすることができます。

- ▶ 診断ファイルタイプについてデフォルトプリンタまたは DICOM ステーションの設定方法については、コンフィギュレーション ビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

---

## 診断ファイルをアーカイブおよび検索する

---

診断ファイルは、ADC QS Station のハードディスクに保存されます。ただし、ハードディスクの容量が限られているので、一定の数の診断ファイルしか保存できません。ハードディスクの使用スペースがフル容量に達すると、最も古い診断ファイルのデータが自動的に削除され、最新の診断ファイルのデータと置換されます。しかし、今後の使用のために、デジタル リニア テープ (DLT) Nearline ストレージ デバイスに、診断ファイルをアーカイブすることができます。

- ❖ **コンフィギュレーション ビュー**を介して、Nearline ストレージ デバイスを設定することができます。詳細は、**コンフィギュレーション ビュー**のレファレンスマニュアルを参照してください。

アーカイブされた診断ファイルを、Nearline ストレージ デバイスから取り出し、一時的に ADC QS Station のハードディスクに保存することができます。



---

## 診断ファイルをインポートする

---

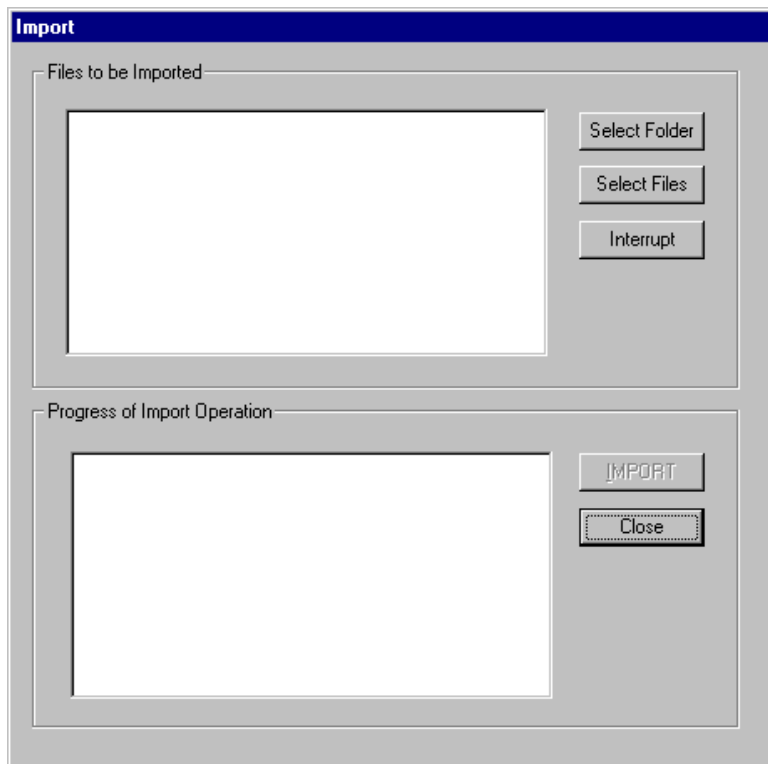
IPD Viewer Software では、ADC QS Station のローカルデータベースに保存されている診断ファイルについて作業するだけでなく、書き込み可能 CD、デジタルビデオディスク (DVD)、光磁気ディスク (MOD)、Jaz<sup>®</sup> ドライブ、その他のポータブルメディアから、診断ファイルをインポートできます。ただし、ADC QS Station に必要なハードウェアが装備されている場合に限りです。そうすることで、診断ファイルは一時的に ADC QS Station のデータベースに追加されます。

一つのフォルダまたはフォルダ全体の、一つ以上の診断ファイルをインポートすることができます。

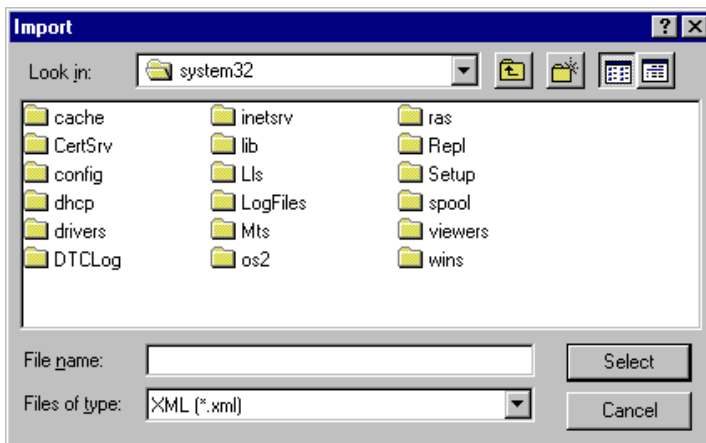
- ❖ XML フォーマットを持つ診断ファイルしかインポートできません。
- ❖ IPD Viewer Software は、インポートされたファイルを一覧にした履歴ファイルを維持します。インポート作業を中止しても、このファイルがあれば簡単に作業を再開できます。

フォルダの一つ以上の診断ファイルをインポートするには：

- 1 [ファイル]メニューの[インポート]をクリックします。  
[インポート]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [ファイルの選択] をクリックします。  
[選択] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [ファイルの場所] ボックス内で、インポートしたい診断ファイルが入っているポータブルメディアに該当するドライブをクリックします。
- 4 該当するフォルダが開くまで、フォルダリスト内のフォルダをダブルクリックします。
- 5 インポートしたい診断ファイルを選択します：

選択対象	選択方法
単一の診断ファイル	診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルをクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルをクリックします。

- 6 [選択] をクリックします。  
選択した診断ファイルは、[インポートするファイル] リスト内に表示されます。

**7** [インポート]をクリックします。

進行状況は、[インポート作業の進行状況]リストに表示されます。

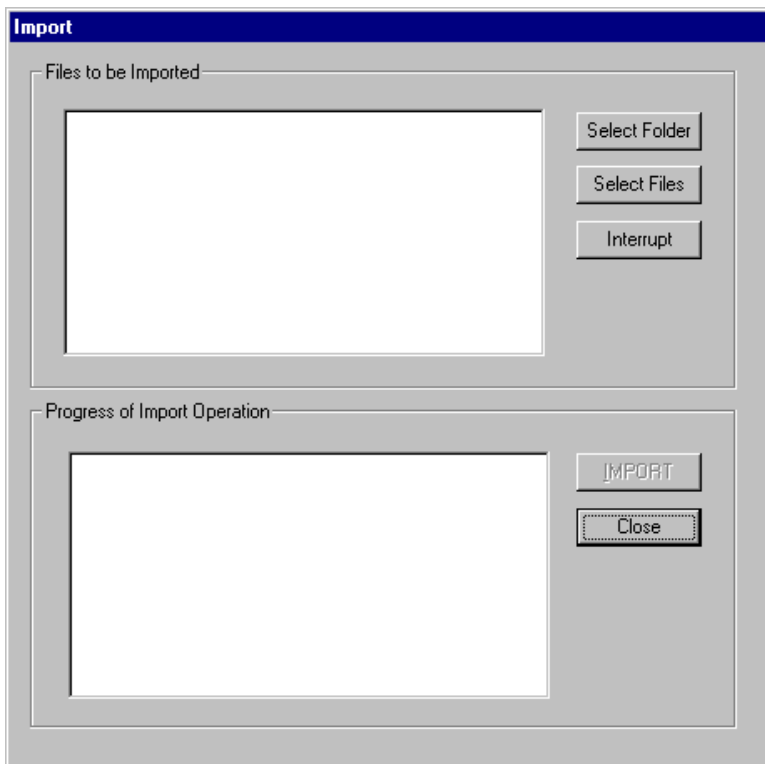
**8** 「作業完了」メッセージが[インポート作業の進行状況]リストに表示されるまでお待ちください。

**9** [閉じる]をクリックします。

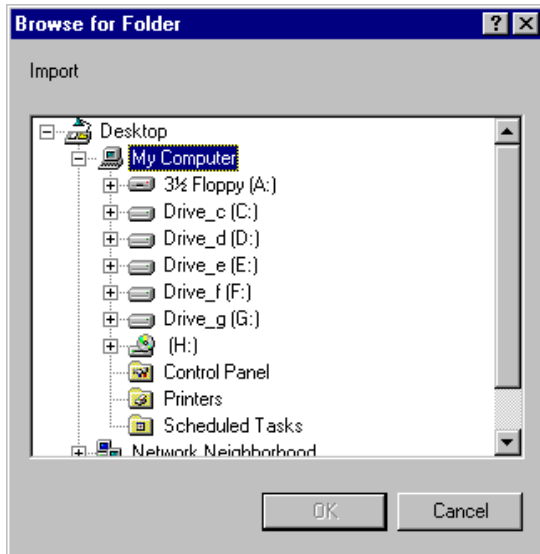
診断ファイルは、ローカルデータベース内に保存されます。現在の検索条件と一致する場合、診断ファイルは[セクタ]内に表示されます。

フォルダの全ての診断ファイルをインポートするには：

- 1 [ファイル]メニューの[インポート]をクリックします。  
[インポート]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [フォルダの選択] をクリックします。  
[フォルダを参照] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 ツリー内で、インポートしたいフォルダを含むポータブルメディアに該当するドライブをダブルクリックします。
- 4 適当なフォルダに達するまでダブルクリックします。
- 5 フォルダをクリックします。
- 6 [OK] をクリックします。  
フォルダ内の全てのファイルは、[インポートするファイル] リスト内に一覧表示されます。
- 7 インポートをクリックします。  
進行状況は、[インポート作業の進行状況] リスト内に表示されます。
- 8 「作業完了」メッセージが[インポート作業の進行状況] リストに表示されるまでお待ちください。
- 9 [閉じる] をクリックします。  
診断ファイルは、ローカルデータベース内に保存されます。現在の検索条件と一致する場合、診断ファイルは[セレクト] 内に表示されます。

---

## 診断ファイルをエクスポートする

---

IPD Viewer Software では、書き込み可能 CD、デジタルビデオディスク (DVD)、光磁気ディスク (MOD)、Jaz<sup>®</sup> ドライブ、その他のポータブルメディアに診断ファイルをエクスポートできます。ただし、ADC QS Station に必要なハードウェアが装備されている場合に限りです。

診断ファイルを IPD Viewer Software によって割り当てられたデフォルト名でエクスポートすることも、カスタム名でエクスポートすることもできます。

- ❖ セレクタモードでは、全診断ファイルを XML フォーマットでのみエクスポートできます。[187 ページの '診断ファイルまたは画像をエクスポートする'](#) を参照してください。

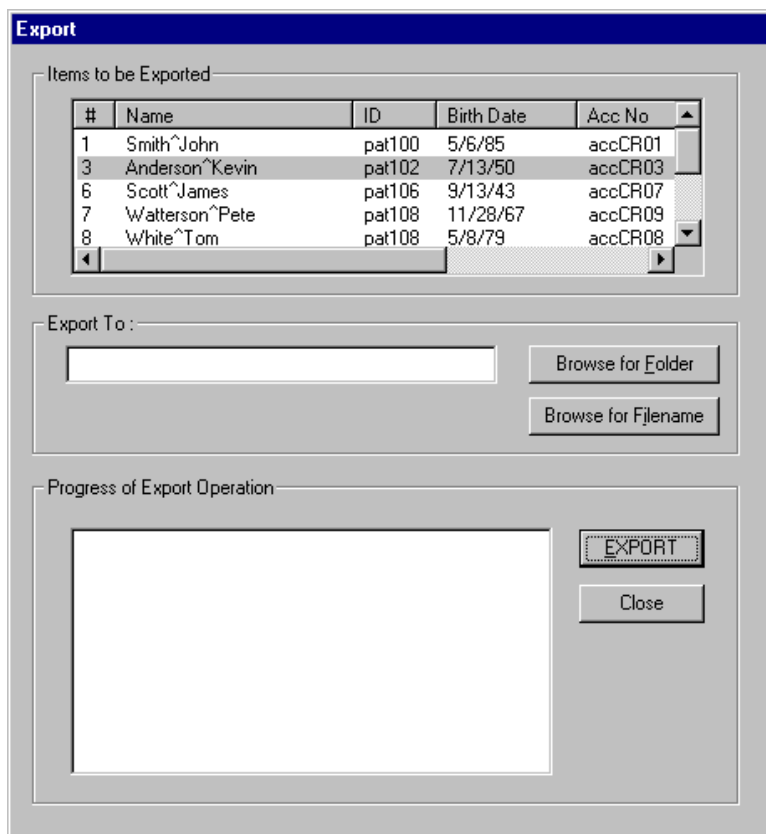
デフォルト名で一つ以上の診断ファイルをエクスポートするには：

- 1 適切な検索条件で検索を定義します。

36 ページの '[検索を定義する](#)' を参照してください。

- 2 [ファイル]メニューの[エクスポート]をクリックします。

[エクスポート] ダイアログボックスが表示されます。



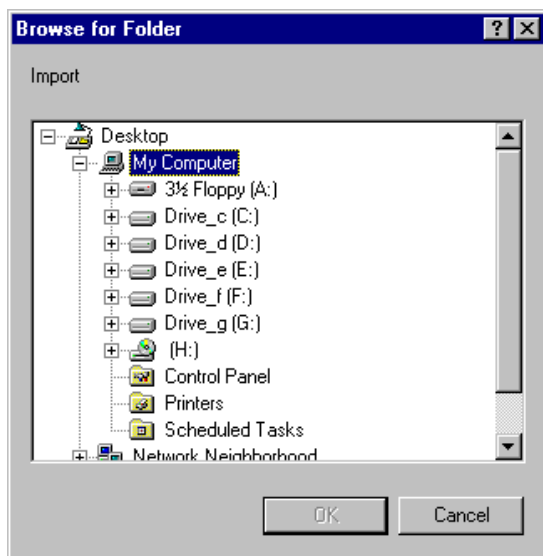


- 3 [エクスポートするアイテム] ボックスで、エクスポートしたい診断ファイルを選択します：

選択対象	選択方法
単一の診断ファイル	診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルををクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルををクリックします。

- 4 [フォルダを参照] をクリックします。

[フォルダを参照] ダイアログボックスが表示されます。

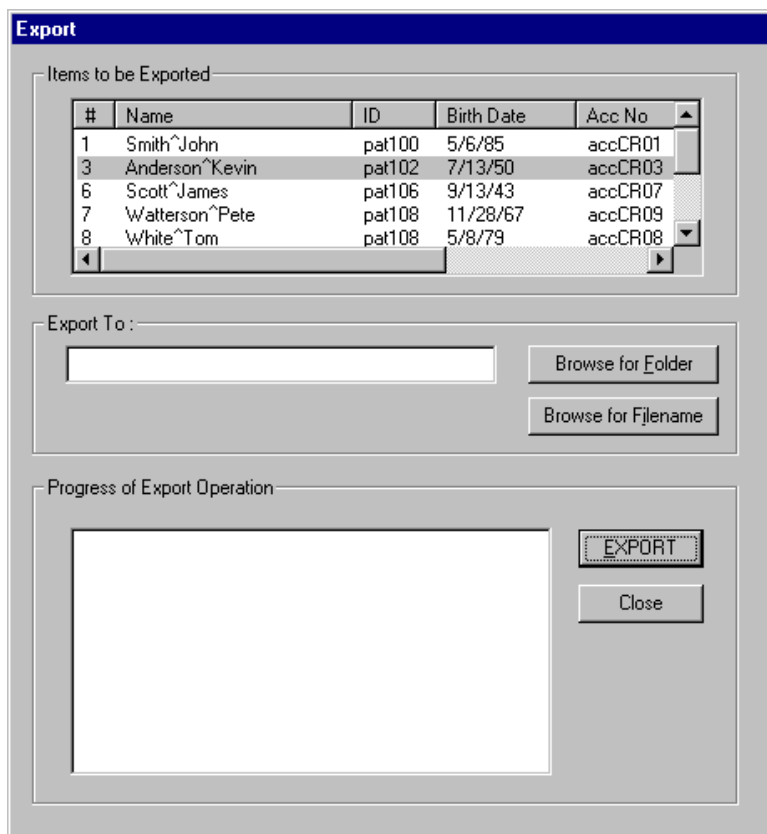


- 5 ツリー内で、診断ファイルをエクスポートしたいポータブルメディアに該当するドライブをダブルクリックします。

- 6 適当なフォルダに達するまでダブルクリックします。
- 7 フォルダをクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [エクスポート] をクリックします。
- 10 「作業完了」メッセージが[エクスポート作業の進行状況] リストに表示されるまでお待ちください。  
診断ファイルは、選択されたフォルダにエクスポートされます。診断ファイルにはシーケンス番号が前についたデフォルト名が与えられます。
- 11 [閉じる] をクリックします。

## カスタム名で一つ以上の診断ファイルをエクスポートするには：

- 適切な検索条件で検索を定義します。  
36 ページの '[検索を定義する](#)' を参照してください。
- [ファイル] メニューの [エクスポート] をクリックします。  
[エクスポート] ダイアログボックスが表示されます。



3 [エクスポートするアイテム] ボックスで、エクスポートしたい診断ファイルを選択します：

選択対象	方法
単一の診断ファイル	診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルをクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルをクリックします。

❖ 複数の診断ファイルを選択する場合、後ろにシーケンス番号がついたカスタム名が与えられます。異なる名前を各診断ファイルに付けたい場合は、一度に一つの診断ファイルをエクスポートしてください。

4 [ファイル名を参照] をクリックします。  
[ファイル名を参照] ダイアログボックスが表示されます。



- 5 [ファイルの場所] ボックス内で、エクスポートしたい診断ファイルが入っているポータブルメディアに該当するドライブをクリックします。
- 6 該当するフォルダが開くまで、フォルダリスト内のフォルダをダブルクリックします。
- 7 [ファイル名] ボックスにファイル名を入力します。
- 8 [選択] をクリックします。
- 9 [エクスポート] をクリックします。  
診断ファイルは、選択されたフォルダにエクスポートされます。診断ファイルにはシーケンス番号が後ろについたカスタム ファイル名がつけられます。
- 10 それぞれにカスタム名をつけて複数の診断ファイルをエクスポートしたい場合、[エクスポートするアイテム] ボックス内の一つの診断ファイルを選択し、ステップ 4 から 9 を繰り返してください。
- 11 [閉じる] をクリックします。

---

## Rislink ファイルに診断ファイルまたは画像データをエクスポートする

---

IPD Viewer Software によって、Rislink ファイルに診断ファイルデータまたは画像データをエクスポートできます。前者の場合、診断ファイルデータ（すなわち診断ファイル全体に関連するデータ）が保存されます；後者の場合、画像に関するデータが保存されます。Rislink ファイルは、ID Software に簡単にインポートされることができるため、以前に診査された患者の診断ファイルを簡単かつ素早く識別できます。

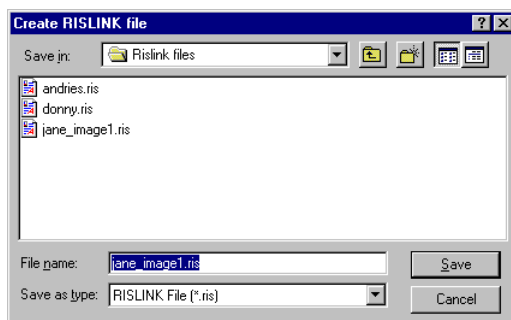
Rislink ファイルは、ASCII フォーマットの診断ファイルデータまたは一つの画像データを含みます。各アイテムは、一行で記述され、該当する DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine) コードが前についています。Rislink ファイルの第一行は DICOM バージョンを定めています。

### 例

```
0019,1001,V1
0010,0010,Anderson^Kevin
0010,0020,pat102
0010,0030,19500713
0010,0040,M
0008,0050,accCR03
0008,1060,
0008,1030,LOWER EXTREMITIES
0020,0010,srdCR03
0008,0020,19990420
0008,0030,110500
0008,0090,Bobby Black
0020,000D,1.3.51.0.7.63391.633919990420.6339110052
0008,1040,AGFA ADC2
0019,1060,3
```

## Rislink ファイルに診断ファイルまたは画像データをエクスポートするには：

- 1 データをエクスポートしたい診断ファイルまたは画像を選択します。  
48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' および 50 ページの '[画像を選択する](#)' をそれぞれ参照してください。
- 2 [ファイル] メニューの [Rislink ファイルを作成] をクリックします。  
[Rislink ファイルを作成] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [保存する場所] ボックス内で、データをエクスポートしたいドライブまたはフォルダをクリックします。  
ポータブルメディア、ローカルドライブまたはローカルディレクトリを選択することができます。
- 4 該当するフォルダが開くまで、フォルダリスト内のフォルダをダブルクリックします。
- 5 [ファイル名] ボックスにファイル名を入力します。
- 6 [保存] をクリックします。  
診断ファイルまたは画像データは、拡張子 .ris をつけて Rislink ASCII ファイルにエクスポートされます。





## 診断ファイルを表示する (ビューワモード)

この章では、ビューワモードで利用できる機能について説明します：

- ❑ オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する
- ❑ オンスクリーン プレゼンテーションを選択する
- ❑ ビューワモードでファイル間を移動する
- ❑ 診断ファイルを保護する
- ❑ 画像を処理する
- ❑ 画像を変形する
- ❑ 画像に注釈を追加する
- ❑ 画像を削除する
- ❑ 診断ファイル情報を参照および修正する
- ❑ 診断ファイルレポートを作成する
- ❑ 画像を診断ファイルサマリーにする

- ❑ 画像を保存する
- ❑ 診断ファイルを印刷する
- ❑ 診断ファイルを送信する
- ❑ 印刷または送信ジョブをリルートする
- ❑ 診断ファイルをアーカイブおよび検索する
- ❑ 診断ファイルをインポートする
- ❑ 診断ファイルまたは画像をエクスポートする
- ❑ Rislink ファイルに画像データをエクスポートする

---

## オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する

---

ビューワモードでは、診断ファイルを表示したり、下記のような、様々なインタラクティブ画像処理および診断補助機能が使用できます：

- 画像全体のコントラストおよび輝度を変更する ( ウィンドウ / レベル )
- 診断ファイルタイプ関連処理を変更する ( 基本 MUSICA 処理 )
- 画像処理パラメーターをインタラクティブに調整する ( アドバンスド MUSICA 処理 )
- 画像を視準する
- 画像を回転する
- 画像のズームイン / アウト
- 画像に注釈を追加する ( 直線、矢印、図形フォーム、テキスト、その他 )
- 画像の距離および角度測定を行う
- 画像の スキャン平均レベル (SAL) および 密度プロフィール計算を行う
- 診断ファイルを印刷する
- 診断ファイルを送信する

ビューワモードにおいて診断ファイルを表示する最も簡単な方法は、セレクトモードで一つ以上の診断ファイルを選択し、それからビューワモードに切り換える方法です。セレクトモード内で選択した全ての診断ファイルは、ビューワモードのナビゲーション バーで利用できるため、簡単にナビゲーションできます。

- ❖ ビューワモードでは、データベースから取り出した診断ファイルに簡単にアクセスすることができます。それらの診断ファイルはビューワモード内のワークリスト内で使用できます。101 ページの '[検索された診断ファイル間を移動する](#)' を参照してください。

## 診断ファイルを表示するには：

- 1 セレクタモードで一つ以上の診断ファイルを選択します。  
48 ページの '[診断ファイルを選択する](#)' を参照してください。
- 2 ビューワモードへの切り換えるには、以下のうちの一つを行います：
  - [ファイル] メニューの [診断ファイルの表示] をクリックします。
  - [切換え] ツールバー上で [診断ファイルの表示] ボタンをクリックします。



一つの診断ファイルだけを選択した場合、以下のうちの一つでも切り換えることができます：

- リストビュー フレームの診断ファイルをダブルクリックします。  
30 ページの '[リストビュー フレームを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- サムネイル フレームの診断ファイルのサムネイルをダブルクリックします。  
31 ページの '[サムネイル フレームを表示する / 隠す](#)' を参照してください。

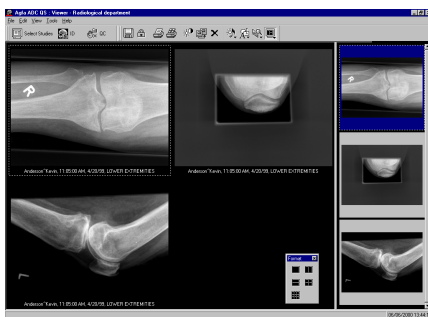
セレクタモード内で選択した全ての診断ファイルは、ビューワモードのナビゲーション バーで使えます。診査中の診断ファイルの画像間で、また診断ファイル間で切り換えることができます。92 ページの '[ビューワモードでファイル間を移動する](#)' を参照してください。

- 3 オンスクリーン診断用に ADC QS Station を最適化するには、適切なオンスクリーン プレゼンテーションを選択します。  
85 ページの '[オンスクリーン プレゼンテーションを選択する](#)' を参照してください。
- IPD Viewer Software では、インタラクティブに画像を処理、変形したり、または、注釈を追加することができます。106 ページの '[画像を処理する](#)'、131 ページの '[画像を変形する](#)'、および 139 ページの '[画像に注釈を追加する](#)' をそれぞれ参照してください。

## オンスクリーン プレゼンテーションを選択する

IPD Viewer Software では、必要に応じてビューモードをカスタマイズすることができます。画像フレームの適切なフォーマットを選択して、画像を比較することができます。また、下記のいずれかの診断ファイルを表示することもできます：

- 診断ファイル オーバービュー フレームがオンの場合。  
診断ファイル オーバービュー フレームは、サムネイルとして診査中の診断ファイルの画像を表示します。
- 診断ファイル オーバービュー フレームがオフの場合。



4 画像表示の画像フレームおよび診断ファイル オーバービュー フレームがオン



4 画像表示の画像フレームおよび診断ファイル オーバービュー フレームがオフ

画像表示項目データを表示または非表示の画像および / または画像の作成時に使用された 線量を見ることができます。

- フルスクリーンモードでは  
オンスクリーン診断のために ADC QS Station のモニタを最大限に利用するには、診断ファイルをフルスクリーンサイズで表示できます。

## 診断ファイル オーバービュー フレームを表示する / 隠す

診断ファイル オーバービュー フレームは、診査中の診断ファイルのサムネイルを表示します。このフレームはオンまたはオフにできます。診断ファイル オーバービュー フレームがオンの場合、サムネイル表示項目データを表示することができます。

**診断ファイル オーバービュー フレームをオンまたはオフにするには：**

[ 表示 ] メニューの [ 診断ファイルオーバービュー ] をクリックします。

チェックマークは、診断ファイル オーバービュー フレームがオンであることを意味します。

### サムネイル表示項目データを表示する / 隠す

診断ファイル オーバービュー フレームがオンの場合、サムネイル画像の下に表示される表示項目データをオンまたはオフにすることができます。

**サムネイル表示項目データをオンまたはオフにするには：**

[ 表示 ] メニューの [ サムネイル表示項目 ] をクリックします。

チェックマークは、サムネイル表示項目データがオンであることを意味します。

- どのデータをサムネイル表示項目データとして表示するか設定する方法については、[194 ページ](#)の '[サムネイル表示項目データを設定する](#)' を参照してください。

## 画像表示項目データを表示する / 隠す

画像フレームの画像の下に表示される表示項目データをオンまたはオフにすることができます。

**表示項目データをオンまたはオフにするには：**

[ 表示 ] メニューの、[ 画像の表示項目 ] をクリックします。

チェックマークは、画像表示項目データがオンであることを意味します。

- ▶ どのデータを画像表示項目データとして表示するか設定する方法については、196 ページの '[画像表示項目データを設定する](#)' を参照してください。

## 線量監視バーを表示する / 隠す

各画像の下に、画像の作成に使用された線量を示すバーを表示することができます。



## 画像フレームのフォーマットを選択する

ビューワモードでは、異なるフォーマットの 画像フレームを選択することができます。これにより、診断ファイルの画像を比較することができます。

次のフォーマットから選択できます：

- シングル画像モード

シングル画像モードでは、画像フレームは一つの画像を含みます。この画像は、画像操作を行うことができるアクティブな画像です。

- マルチ画像モード：

下記のいずれかを同時に表示することができます：横並び 2 つの画像、縦並びの 2 つの画像、4 つの画像、または 9 つの画像。

### フォーマットを選択するには：

- 1 診査したい診断ファイルを表示します。

83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

- 2 [ツール] メニューの [フォーマット] をクリックします。


その代わりに、[標準] ツールバーの [フォーマット] ボタンをクリックすることができます。



[フォーマット] ツールバーが表示されます。



- 3 使用したいフォーマットに一致するボタンをクリックします：

目的	クリックするボタン
一つの画像を表示する	

目的	クリックするボタン
2つの画像を横に並べて表示する	
2つの画像を縦に並べて表示する	
4つの画像を表示する	
9つの画像を表示する	

画像フレームのうち一つの画像がアクティブな画像です。アクティブな画像の境界は点線になっています。

- 診断ファイルの画像を移動するには、95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

## フルスクリーンモードで診断ファイルを表示する

オンスクリーン診断用に ADC QS Station のモニタを最大限に利用するために、診断ファイルをフルスクリーン サイズで表示することができます。

---

## ビューワモードでファイル間を移動する

---

ビューワモードでは、3つの基本的なナビゲート方法があります。次のいずれかが可能です：

- データベースから検索された診断ファイル間を移動する。
- データベースから 検索され、その後選択された診断ファイル間を移動する。
- お気に入り検索の診断ファイル間を移動する。

ナビゲーション バーを使うと、ビューワモードで診断ファイル間を簡単に移動できます。ドロップダウンリストを使用すると、セレクトモードで選択した診断ファイルへの素早く切換えることができます。ワークリスト ボタンはデータベースから検索した診断ファイルおよびお気に入り診断ファイルへの素早いアクセスを提供します。

IPD Viewer Software が過去の関連診断ファイルを検索するように設定されている場合、ワークリストに過去の診断ファイルを表示または隠すことができます。

## ナビゲーション バーを表示する / 隠す

ナビゲーション バーを利用することにより、セレクトモードに切り換えることなくビューワモード内で簡単に移動することができます。また、ナビゲーション バーは、診査中の診断ファイルについて一目でわかる情報を提供します。



### ナビゲーション バーをオンまたはオフにするには：

[ 表示 ] メニューの [ ナビゲーション バー ] をクリックします。

チェックマークは、ナビゲーション バーがオンであることを意味します。

- ❖ ナビゲーション バーのワークリスト ボタンを使用することにより、セレクトモードにおいてデータベースから検索した診断ファイルのリストやお気に入りのリストにアクセスすることができます。97 ページの '[検索された診断ファイル間を移動する](#)' および 103 ページの '[お気に入りの診断ファイル間を移動する](#)' を参照してください。

## 過去の関連診断ファイルをワークリスト上に表示する / 隠す

過去の関連診断ファイルとは、現在作業している診断ファイルと関連がある過去の診断ファイルです。データベースを検索するとき、過去の関連診断ファイルを検索するように IPD Viewer Software を設定することができます。

過去の関連診断ファイルを検索するように IPD Viewer Software を設定した場合、ワークリストに過去の診断ファイルを表示または隠すことができます。

- ▶ 過去の関連診断ファイルを検索する際の IPD Viewer Software の設定に関する情報は、コンフィギュレーション ビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

## 選択された診断ファイル間を移動する

ナビゲーション バーによって、データベースから検索後選択した診断ファイル間を、簡単に移動することができます。次のいずれかが可能です：

- 診査中の診断ファイルの画像間を移動する。
- セレクタモードで選択した患者の別の診断ファイルのうちの一つに切り換える。
- セレクタモードで選択した別の患者の診断ファイルの一つに切り換える。
- セレクタモードで選択した診断ファイルの画像を閲覧する。

### 診断ファイルの画像間を移動する

シングル画像モードまたはマルチ画像モードのどちらで作業しているかに関係なく、診査中の診断ファイルの画像間を簡単に移動することができます。

- シングル画像モードでは、一つの画像が画像フレームに表示されます。これは、あなたが画像処理および診断補助作業を行うことができるアクティブな画像です。
- マルチ画像モードでは、複数の画像が画像フレームに表示されます。そ  
うちの一画像が、画像処理および診断補助作業を行うことができるアク  
ティブな画像です。この画像の境界線は点線になっています。

- また、選択された診断ファイルの画像を閲覧することができます。100  
ページの '[選択された診断ファイルの画像をブラウズする](#)' を参照してく  
ださい。

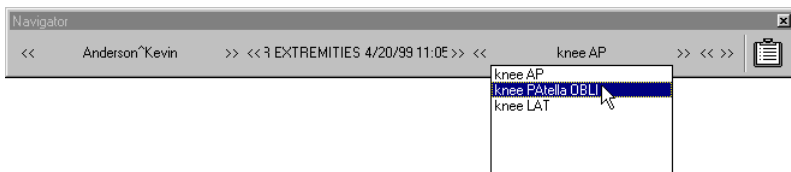
### シングル画像モードにおいて診断ファイルの画像間を移動するには：

- 1 診査したい診断ファイルを表示します。  
[83](#) ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してく  
ださい。
- 2 ナビゲーション バーをオンにします。  
[93](#) ページの '[ナビゲーション バーを表示する / 隠す](#)' を参照してください。

### 3 画像をアクティブにするには、以下のうちの一つを行います：

- 診断ファイル オーバービュー フレームがオンの場合、画像のサムネイルをクリックします。
- ナビゲーション バーの副診断ファイル ドロップダウンリスト内の画像をクリックします。

その代わりに、副診断ファイル ドロップダウンリストの左右にある矢印ボタンを使用することができます。



ナビゲーション バーは、診断中の診断ファイルおよびアクティブな画像について一目でわかる情報を与えます。

### マルチ画像モードで診断ファイルの画像間を移動するには：

#### 1 診査したい診断ファイルを表示します。

83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

#### 2 診断ファイル オーバービュー フレームをオンにします。

86 ページの '[診断ファイル オーバービュー フレームを表示する/隠す](#)' を参照してください。

#### 3 診断ファイル オーバービュー フレームから画像フレームまで画像をドラッグします。

画像フレームのうち一つの画像がアクティブな画像です。アクティブな画像の境界は点線になっています。

#### 4 画像をアクティブな画像にするには、その画像をクリックします。



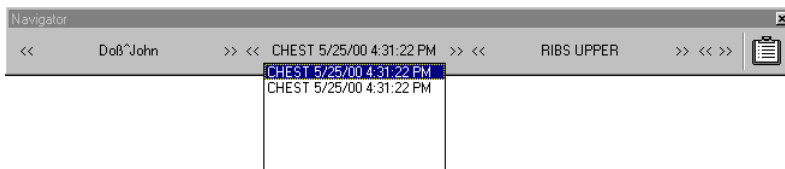
## 一人の患者の診断ファイル間で切り換える

ビューワモードでは、セレクトモード内で選択した患者の別の診断ファイルに簡単に切り換えることができます。

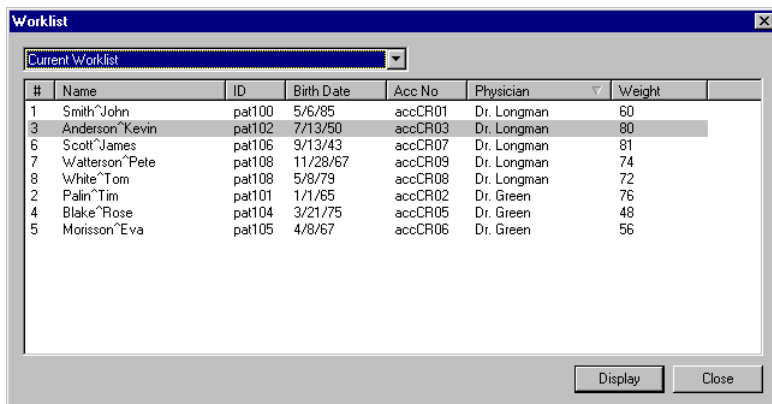
- ▶ また、選択された診断ファイルの画像を閲覧することもできます。100ページの '[選択された診断ファイルの画像をブラウズする](#)' を参照してください。

同じ患者の選択された診断ファイルを見るには：

- 1 ナビゲーション バーをオンにします。  
93 ページの '[ナビゲーション バーを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 2 診断ファイルへ切り換えるには、以下のうちの一つを行います：
  - ナビゲーション バーの診断ファイル ドロップダウンリストの診断ファイルをクリックします。  
その代わり、診断ファイル ドロップダウンリストの左右にある矢印ボタンを使用することができます。



- ナビゲーション バー上の[ワークリスト]ボタンをクリックします。ワークリスト ダイアログボックスにおいて、現在のワークリストの診断ファイルをクリックし、[ディスプレイ]をクリックします。



- 診断ファイルの画像間を移動するには、95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

## 患者間で切り換える

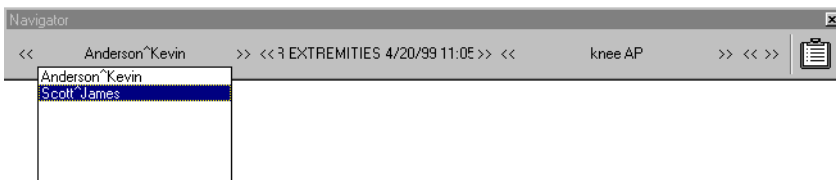
ビューワモードでは、セレクトモードにおいて選択した別の患者に簡単に切り換えることができます。そのためには、自分で選んだ患者に切り換えてから、必要な診断ファイルに切り換える必要があります。

- ▶ また、選択された診断ファイルの画像を閲覧することができます。100ページの '[選択された診断ファイルの画像をブラウズする](#)' を参照してください。

別の患者の選択された診断ファイルを表示するには：

- 1 ナビゲーション バーをオンにします。  
93 ページの '[ナビゲーション バーを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 2 ナビゲーション バーの[患者]ドロップダウンリスト内の患者をクリックします。

その代わりに、[患者]ドロップダウンリストの左右にある矢印ボタンを使用することができます。



- 3 その患者の診断ファイルに切り換わります。  
97 ページの '[一人の患者の診断ファイル間で切り換える](#)' を参照してください。

- ▶ 診断ファイルの画像間を移動するには、95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

選択された診断ファイルの画像をブラウズする

ナビゲーション バーによって、セレクトモードで選択した診断ファイルの画像を順番にブラウズすることができます。ブラウズすることによって、画像をアクティブな画像にできます。アクティブな画像上で、画像処理および診断補助作業を行うことができます。

選択された診断ファイルの画像をブラウズするには：

- 1
- ナビゲーション バーをオンにします。  
93 ページの '[ナビゲーション バーを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 2
- 以下のうちの一つを行います：
  - ナビゲーション バーの「戻る」または「進む」ボタンをクリックします：

目的	クリックするボタン
前の画像をアクティブにする	「戻る」ボタン。
次の画像をアクティブにする	「進む」ボタン。

- キーボード上の矢印キーを押します：

目的	押すキー
前の画像をアクティブにする	左矢印キー。
次の画像をアクティブにする	右矢印キー。
前の診断ファイルの最初の画像をアクティブにする	上向き矢印キー。
次の診断ファイルの最初の画像をアクティブにする	下向き矢印キー。

また、ナビゲーション バーは、診査中の診断ファイルおよびアクティブ画像について一目でわかる情報を提供します。

## 検索された診断ファイル間を移動する

ビューワモードでは、データベースから検索した診断ファイル間を移動することができます。ナビゲーション バー上のワークリスト ボタンを通してこれを行うことができます。その結果、セレクトモードに切り換えることなく、素早い方法で移動することができます。

**検索された診断ファイル間を移動するには：**

- 1 [ツール]メニューの[ワークリスト]をクリックします。

その代わり、ナビゲーション バー上の[ワークリスト]ボタンをクリックすることができます。



[ワークリスト]ダイアログボックスが表示されます。

**Worklist**

Current Worklist

#	Name	ID	Birth Date	Acc No	Physician	Weight
1	Smith~John	pat100	5/6/85	accCR01	Dr. Longman	60
3	Anderson~Kevin	pat102	7/13/50	accCR03	Dr. Longman	80
6	Scott~James	pat106	9/13/43	accCR07	Dr. Longman	81
7	Watterson~Pete	pat108	11/28/67	accCR09	Dr. Longman	74
8	White~Tom	pat108	5/8/79	accCR08	Dr. Longman	72
2	Palin~Tim	pat101	1/1/65	accCR02	Dr. Green	76
4	Blake~Rose	pat104	3/21/75	accCR05	Dr. Green	48
5	Morisson~Eva	pat105	4/8/67	accCR06	Dr. Green	56

Display Close

## 2 現在のワークリストから一つ以上の診断ファイルを選択します：

選択対象	方法
単一の診断ファイル	診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルをクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルをクリックします。

## 3 [ディスプレイ] をクリックします。

選択された診断ファイルは、ナビゲーション バーで使用できます。

## 4 選択された診断ファイル間を移動します。

[95 ページの '選択された診断ファイル間を移動する'](#) を参照してください。

- ▶ ナビゲーション バーのワークリストに過去の関連診断ファイルを入れるには、[94 ページの '過去の関連診断ファイルをワークリスト上に表示する / 隠す'](#) を参照してください。

## お気に入りの診断ファイル間を移動する

ビューワモードでは、簡単に特定のお気に入り診断ファイルを見ることができます。セレクトモードに切り換える必要はありません。

- ❖ 複数のグループを定義した場合、選択されたグループのお気に入りの間でしか移動できません。別のグループのお気に入りを移動したい場合は、まず適切なお気に入りフレームを選択する必要があります。43ページの「[お気に入りのグループを選択する](#)」を参照してください。

**お気に入りの診断ファイル間を移動するには：**

- 1 [ツール]メニューの[ワークリスト]をクリックします。

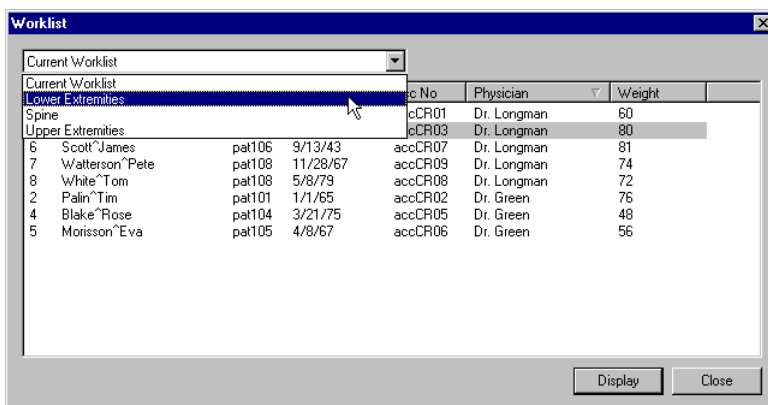
その代わりに、ナビゲーションバー上の[ワークリスト]ボタンをクリックすることができます。



[ワークリスト]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 ドロップダウンリスト内のお気に入りをクリックします。

お気に入りに一致する全ての診断ファイルは、[ワークリスト]ダイアログボックス内に表示されます。



### 3 お気に入りのうち一つ以上の診断ファイルを選択します：

選択対象	選択方法
単一の診断ファイル	診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルをクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルをクリックします。

### 4 [ディスプレイ] をクリックします。

選択された診断ファイルは、ナビゲーション バーで使用できます。

### 5 選択された診断ファイル間を移動します。

95 ページの '[選択された診断ファイル間を移動する](#)' を参照してください。

- ▶ ナビゲーション バーのワークリストに過去の関連診断ファイルを入れるには、94 ページの '[過去の関連診断ファイルをワークリスト上に表示する / 隠す](#)' を参照してください。



## 診断ファイルを保護する

診断ファイルは、ADC QS Station のハードディスクに保存されます。ただし、ハードディスクの容量が限られているので、一定の数の診断ファイルしか保存できません。ハードディスクの使用スペースがフル容量に達すると、最も古い診断ファイルのデータが自動的に削除され、最新の診断ファイルのデータに置換されます。しかし、自動削除から診断ファイルを保護することができます。

### 診断ファイルを保護するには：

- 1 保護したい未保護の診断ファイルを表示します。

83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンが押されていない場合、診断ファイルは未保護です。

- 2 [ ファイル ] メニューの [ 保護マーク ] をクリックします。

その代わりとして、[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 保護 ] ボタンが押されています：その診断ファイルは保護されています。

### 診断ファイルから保護を削除するには：

- 1 保護を削除したい保護済みの診断ファイルを表示します。

83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンが押されている場合、診断ファイルは保護されています。

- 2 [ ファイル ] メニューの [ 保護マーク ] をクリックします。

その代わりとして、[ 標準 ] ツールバーの [ 保護 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 保護 ] ボタンが通常状態の場合：その診断ファイルは未保護です。

# 画像を処理する

IPD Viewer Software では、インタラクティブに画像処理操作を行うことができます：






- [ヒストグラムおよび特性曲線を表示する](#)
- [画像全体のコントラストおよび輝度を変更する \( ウィンドウ / レベル \)](#)
- [診断ファイルタイプ関連処理を変更する \( 基本 MUSICA 処理 \)](#)、例えば、異なる診断ファイル / 照射パラメーターを使用して後処理を行うなど。
- [画像処理パラメーターをインタラクティブに調整する \( アドバンスド MUSICA 処理 \)](#) 例え、エッジ コントラストを調整する、ノイズを減らす、その他。
- [画像を白黒反転する](#)
- [過度露光による画像サチュレーションを表示する](#)
- [画像を視準する](#)
- [関心領域 \( ROI \) の周囲にシャッターを適用する](#)
- [関心領域 \( ROI \) を抽出する](#)

[ 画像処理 ] ツールバー上のボタンによって上記の画像処理機能にアクセスすることができます。



画像処理ツールバー

	[ ウィンドウ / レベル ] ボタン		[ 多角形視準 ] ボタン
	[ 復帰 ] ボタン		[ 手動視準 ] ボタン
	[ ヒストグラム ] ボタン		[ 自動視準 ] ボタン
	[MUSICA] ボタン		[ 視準オン / オフ ] ボタン
	[ 白黒反転 ] ボタン		[ 視準線 ] ボタン
	[ サチュレーション ] ボタン		[ 矩形シャッター ] ボタン

	[ バーン ] ボタン		[ 円形シャッター ] ボタン
	[ 矩形視準 ] ボタン		[ROI 抽出] ボタン
	[ 円形視準 ] ボタン		

## ヒストグラムおよび特性曲線を表示する

ヒストグラムとは、画像のグレースケール分布のグラフです。水平軸はグレースケールを表し、左側へ行くほど暗く右側へ行くほど明るくなっていきます。垂直軸は、グレイ値あたりのピクセル数を表します。

ビューワモードでは、まるで特定のフィルム タイプに印刷されたように、画像が表示されます。対応する特性曲線を WL/ ヒストグラム ウィンドウに表示できます。WL/ ヒストグラム ウィンドウも、画像の全体コントラストおよび輝度の数値を与えます。

### ヒストグラムおよび特性曲線を表示するには：

- 1 ヒストグラムおよび特性曲線を表示したい画像をアクティブにします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 [ツール] メニューの [画像処理] をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバーの画像処理ボタンをクリックすることができます。



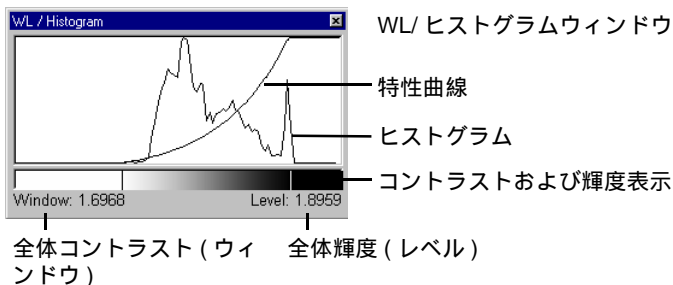
[画像処理] ツールバーが表示されます。



### 3 [ヒストグラム] ボタンをクリックします。



WL/ ヒストグラムウィンドウが表示されます。



画像の全体のコントラスト値 (ウィンドウ) は、ウィンドウの左下に表示されま  
す; 全体輝度の値 (レベル) は、右下に表示されます。

- 特性曲線を変更するには、[116 ページの '画像処理パラメーターをインタラクティブに調整する \(アドバンスド MUSICA 処理\)'](#) を参照してください。
- 全体のコントラストおよび輝度を変更するには、[110 ページの '画像全体のコントラストおよび輝度を変更する \(ウィンドウ/レベル\)'](#) を参照してください。

## 画像全体のコントラストおよび輝度を変更する（ウィンドウ / レベル）

ビューワモードでは、手動で画像の全体コントラストおよび輝度を調整することができます。全体のコントラストおよび輝度に変更を保存しても、いつでもオリジナルの画像に戻すことができます。

- ❖ 全体のコントラストおよび輝度を調整したい場合、特にその画像を印刷する予定がある場合には、画像サチュレーション（バーン）をオンにすることをお勧めします。112 ページの '[コントラストおよび輝度調整による画像サチュレーションを表示する](#)' を参照してください。
- ❖ WL/ ヒストグラム ウィンドウを通して全体のコントラストおよび輝度に関する数値情報を参照することができます。108 ページの '[ヒストグラムおよび特性曲線を表示する](#)' を参照してください。

### 全体のコントラストおよび輝度を調整するには：

- 1 調整したい画像をアクティブな画像にします。  
[95 ページの '\[診断ファイルの画像間を移動する\]\(#\)'](#) を参照してください。
- 2 以下のうちの一つを行います：
  - 画像をダブルクリックします。
  - [標準] ツールバー上で [ウィンドウ / レベル] ボタンをクリックします。



- [ツール] メニューの [画像処理] をクリックします。[画像処理] ツールバー上の [ウィンドウ / レベル] ボタンをクリックします。



- 画像のどこかで右マウスボタンをクリックしてから、ショートカットメニューの [ウィンドウ / レベル] をクリックします。

ポインタが四角の手形になります。

### 3 マウスを使用して全体のコントラストおよび輝度を調整します：

	目的	方法
コントラスト	全体のコントラストを増加する	ポインタを上へ動かす
	全体のコントラストを減らす	ポインタを手前へ動かす
輝度	全体の輝度を増加する	ポインタを右へ動かす
	全体の輝度を減らす	ポインタを左へ動かす

ポインタを動かすと、コントラストおよび輝度が調整されます。

- 希望のコントラストおよび輝度に達したとき、画像フレームの中でクリックします。
- 変更した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。[173](#)ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## コントラストおよび輝度調整による画像サチュレーションを表示する

画像の全体コントラストを調整したい場合、画像サチュレーション（バーン）をオンにすると便利です。コントラストまたは輝度の過大調整によって、画像の一部が飽和状態になることがあります（すなわち 100% 白または 100% 黒）。バーンがオンの場合、画像の飽和状態にされた部分は白黒反転します。つまり、白は黒として表示され黒は白として表示されます。これにより、画像のどの部分が、コントラストおよび輝度調整によって飽和状態になったかを簡単に見ることができます。

- ❖ サチュレーションはフィルム上ではっきり表示されるため、印刷する画像の全体コントラストを調整している場合、バーン機能が特に役に立ちます。
- ❖ バーン機能は、コントラストおよび輝度調整による画像サチュレーションだけを表示します。画像プレートの過度露光による画像サチュレーションを表示するには、121 ページの '[過度露光による画像サチュレーションを表示する](#)' を参照してください。

バーン機能をオンにするには：

- 1 [ツール]メニューの[画像処理]をクリックします。

その代わり、[標準]ツールバーの[画像処理]ボタンをクリックすることができます。



[画像処理]ツールバーが表示されます。



- 2 [バーン]ボタンをクリックします。



画像の飽和状態になった部分が白黒反転します。



## オリジナル画像に復帰する

全体コントラストおよび輝度の変更を保存しても、オリジナルの画像にいつでも復帰できます。

### オリジナル画像に復帰するには：

- 1 [ ツール ] メニューの [ 画像処理 ] をクリックします。

その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 画像処理 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 画像処理 ] ツールバーが表示されます。



- 2 [ 復帰 ] ボタンをクリックします。



オリジナルの画像がアクティブな画像として表示されます。

## 診断ファイルタイプ関連処理を変更する (基本 MUSICA 処理)

基本 MUSICA 処理 (MUSICA: マルチスケール画像コントラスト増幅) は、異なる診断ファイルグループ、診断ファイルタイプ、副診断タイプおよび / または照射タイプを使用した画像の後処理の一部です。これにより、識別時に間違った診断ファイル パラメーターに関連付けられた画像を再加工することができます。この機能によって、照射を再び行う必要がなくなります。



**診断ファイル関連処理の変更は、画像処理にのみ影響を及ぼします ; 画像の診断ファイルデータ / 照射データは変更しません。照射データを変更するには、169 ページの '診断ファイル情報を参照および修正する' を参照してください。**

診断ファイルタイプ関連処理を変更するには :

- 1 後処理したい画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '診断ファイルの画像間を移動する' を参照してください。

- 2 [ツール] メニューの [MUSICA] をクリックします。

その代わりに、[画像処理] ツールバー上の MUSICA ボタンをクリックすることができます。



[MUSICA] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 ドロップダウンリスト内で、適切な診断ファイル / 照射パラメーターをクリックします：
  - 診断ファイル グループ、
  - 診断ファイルタイプ、
  - 副診断ファイルタイプ、
  - 照射タイプ。
- 4 [OK] をクリックします。

画像は、選択された診断ファイル / 照射パラメーターで再加工されます。その画像は、画像フレーム内に表示されます。
- 5 変更した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173 ページの '画像を保存する' を参照してください。](#)

## 画像処理パラメーターをインタラクティブに調整する (アドバンスド MUSICA 処理)

アドバンスド MUSICA 処理（マルチスケール画像コントラスト増幅）を使用して、画像のコントラストおよび輝度を微調整することができます。MUSICA によって、エッジなどの短距離特徴や、長距離特徴など、全ての特徴のコントラストをインタラクティブに微調整することができます。画像の中のあらゆる残留雑音を削減し、特定のフィルムタイプ上の照射をシミュレートすることができます。

インタラクティブに画像処理パラメーターを調整するには：

- 1 処理したい画像をアクティブな画像にします。

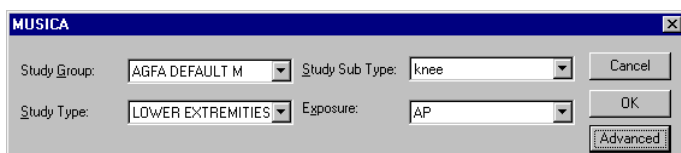
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 [ ツール ] メニュー上で、[MUSICA] をクリックします

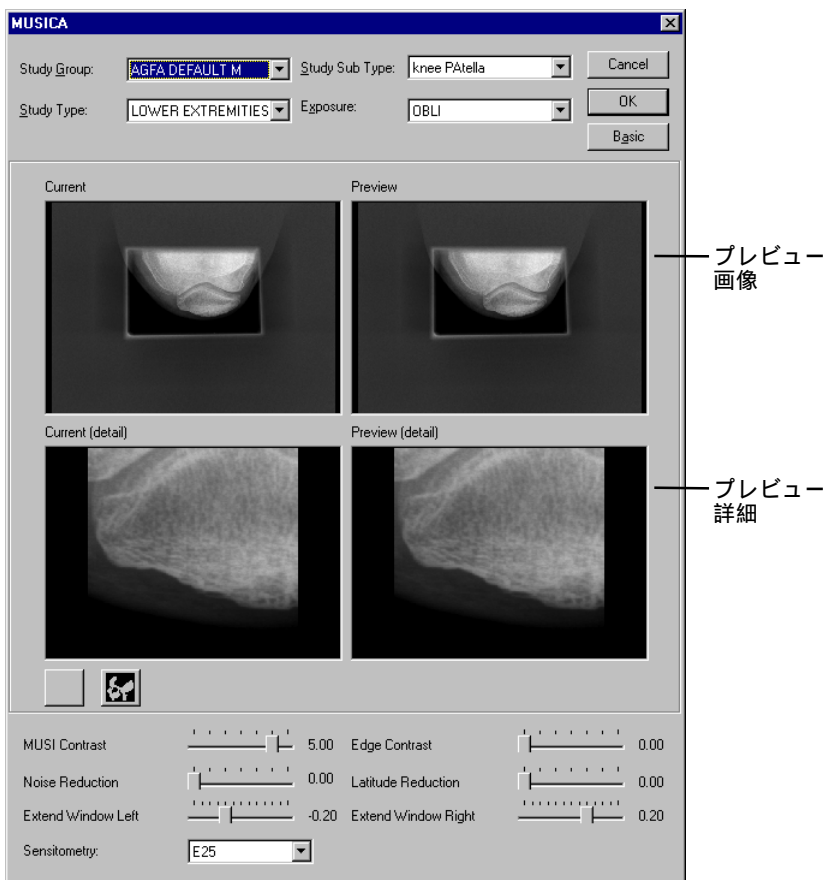
その代わりに、[ 画像処理 ] ツールバー上で [MUSICA] ボタンをクリックすることができます。



MUSICA ダイアログボックスが、表示されます。



- 3 アドバンスド MUSICA 処理機能を表示するには、[アドバンスド]をクリックします。



アドバンスド MUSICA ダイアログボックス

#### 4 自由に MUSICA パラメーターを適用します：

目的		使用
全ての特徴のコントラストを微調整する		MUSI コントラスト スライダー
エッジを含む短距離特徴のコントラストを微調整する ❖ エッジ コントラスト強調は控えめにご使用ください。エッジ コントラストを強めると、ノイズも強調し、画像内に人工物を引き起こすことがあります。		エッジ コントラスト スライダー
短距離特徴（例えばエッジおよびテクスチャ）のコントラストに影響を及ぼすことなくノイズを削減する		ノイズ削減スライダー
長距離特徴のコントラストを微調整する		ラチチュード削減スライダー
輝度を微調整する	画像を暗くする	ウィンドウを左に伸ばすスライダー
	画像を明るくする	ウィンドウを右に伸ばすスライダー

- ❖ エッジ コントラストおよびラチチュード削減は、画像のダイナミックレンジに影響します。画像を特定のフィルムに印刷する前にダイナミックレンジを削減することが役立ちます。

MUSICA 処理の効果は、MUSICA ダイアログボックスのプレビュー画像（オーバービュー画像および詳細）内にリアルタイムで表示されます。[ 現在 ] ボックス内のポインタをドラッグすることによってズーム画像を調整することができます。拡大されたエリアはマークされます。

#### 5 特定のフィルム上の画像の照射をシミュレートするために、[ センシトメトリ ] リストの中でフィルム特性曲線をクリックします。

特定のフィルムの照射処理の効果は、MUSICA ダイアログボックスのプレビュー画像（オーバービュー画像および詳細）内にリアルタイムで表示されます。[ 現在 ] ボックス内のポインタをドラッグすることによってズームされた画像を調整することができます。拡大されたエリアはマークされます。

## 6 MUSICA ダイアログボックスを終了します：

目的	クリックするボタン
MUSICA 処理パラメーターを適用して終了する	OK
MUSICA 処理パラメーターを適用せずに終了する	キャンセル

## 7 変更した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173 ページ](#)の '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 画像を白黒反転する

ビューワモードでは、アクティブな画像を白黒反転して表示することができます。つまり、白表示は黒、明るいグレーは対応するダークグレー、またはその逆で表示されます。

### 画像を白黒反転するには：

- 1 白黒反転したい画像をアクティブな画像にします。

[95 ページの '診断ファイルの画像間を移動する'](#) を参照してください。

- 2 [ツール]メニューの[画像処理]をクリックします。

その代わりに、[標準]ツールバーの[画像処理]ボタンをクリックすることができます。



[画像処理]ツールバーが表示されます。



- 3 [白黒反転]ボタンをクリックします。



白黒反転した画像が画像フレームに表示されます。

- 4 白黒反転した画像を保存するには、既存の画像を置換するか、変更された画像を新規の画像として保存します。

[173 ページの '画像を保存する'](#) を参照してください。



## 過度露光による画像サチュレーションを表示する

画像プレートの局所的な過度露光のために、画像の一部が飽和状態になることがあります（すなわち 100% の黒）。過度露光をチェックするために、サチュレーション機能を使用することができます。サチュレーションがオンの場合、画像のうち飽和状態になった部分は白黒反転します、すなわち、白は黒として表示されます。これにより、画像のどの部分が過度露光のために飽和状態になったか簡単にわかります。

## 画像を視準する

画像が視準線付きで作成された場合、その線は自動画像処理に影響し、画像のコントラストおよび輝度不良の原因になります。ただし、特定のタイプの診断ファイルが視準付で作成されたとき、IPD Viewer Software が自動的に視準線を検出し、それに従って画像を視準するように、ADC Quality System を設定することができます。また、手動で画像上の視準線を示すこともできます。必要に応じて、簡単に自動視準画像に復帰することができます。

視準付画像の表示方法を、視準された状態または視準されていない状態のどちらかに選択できます。黒い視準線付、または線なしで視準された画像を表示することができます。黒い視準線は、診断時に画像を見やすくします。

### 手動で画像を視準する

自動的に視準された画像に満足できない場合、手動で画像の視準線を指示し、それに従って画像を再加工するよう IPD Viewer Software に命令することができます。手動で視準した画像を保存しても、自動的に視準された画像に簡単に復帰することができます。[125 ページ](#)の '[自動的に画像を視準する](#)' を参照してください。

手動で画像を視準するには：

- 1 視準したい画像をアクティブな画像にします。

[95 ページ](#)の '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 [ツール]メニューの[画像処理]をクリックします。



その代わりに、[標準]ツールバー上の[画像処理]ボタンをクリックすることができます。



[ 画像処理 ] ツールバーが表示されます。



### 3 視準エリアの形状を選択します：

エリア	クリックするボタン	ボタン
矩形視準エリア	[ 矩形視準 ] ボタン	
円形視準エリア	[ 円形視準 ] ボタン	
多角形視準エリア	[ 多角形視準 ] ボタン	

- ❖ 視準フォームの内側のエリアは、視準エリアとして使用されます。例えば、矩形のエリアを使用したい場合、そのエリアを長方形に入れます。視準フォームで視準線を覆わないでください。

4 視準エリアを描きます：

描くエリア	方法
矩形視準エリア	<div>1 一度クリックして一角を定義します。</div> <div>2 ポインタを動かします。</div> <div>3 もう一度クリックして対角を定義します。</div>
円形視準エリア	<div>1 一度クリックして中心を定義します。</div> <div>2 ポインタを動かします。</div> <div>3 もう一度クリックして半径を定義します。</div>
多角形視準エリア	<div>1 クリックして始点を定義します。</div> <div>2 ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。</div> <div>3 多角形を閉じるには、始点をクリックします。</div>

ドラッグすることによって視準エリアを動かすことができます。サイズ変更ハンドルをドラッグすることによってエリアの大きさを変更することができます。

5 [手動視準] ボタンをクリックします。



手動で視準された画像が画像フレーム内に表示されます。

6 手動で視準した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 自動的に画像を視準する

IPD Viewer Software は自動画像処理の間、視準線付で撮影された画像を自動的に視準します。手動で画像を視準した場合、いつでも自動視準された画像に復帰することができます。

**自動視準された画像に復帰するには：**

- 1 視準したい画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 [ ツール ] メニューの [ 画像処理 ] をクリックします。

その代わりに、[ 標準 ] ツールバーの [ 画像処理 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 画像処理 ] ツールバーが表示されます。



- 3 [ 自動視準 ] ボタンをクリックします。



自動視準された画像が画像フレーム内に表示されます。

- 4 自動で視準した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 視準をオン/オフする

自動視準または手動視準された画像の表示方法を、視準状態または視準されていない状態のどちらかに選択することができます。

- ❖ 視準をオフにして結果を保存しても、自動または手動で視準された画像は消えません。再び視準をオンにすることによって対応する視準画像にいつでも復帰することができます。

**視準をオンまたはオフにするには：**

- 1 画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 [ツール] メニューの [画像処理] をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [画像処理] ボタンをクリックすることができます。



[画像処理] ツールバーが表示されます。



- 3 [視準オン/オフ] ボタンをクリックします。



ボタンが通常状態の場合、その画像は視準されていません：ボタンが押されている場合、その画像は視準されています。

- 4 現在の視準状態の画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 視準線を表示する / 隠す

視準付画像の表示方法は、黒い視準線付きまたは視準線なしのどちらかとして選択できます。黒い視準線は、診断時に画像を見やすくします。

### 視準線をオンまたはオフにするには：

- 1 視準された画像を表示します。

83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

- 2 [ ツール ] メニューの [ 画像処理 ] をクリックします。

その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 画像処理 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 画像処理 ] ツールバーが表示されます。



- 3 [ 視準線 ] ボタンをクリックします。



ボタンが通常状態の場合、視準線はオフです。ボタンが押されている場合、視準線はオンです；黒い領域として表示されます。

- 4 変更した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

# 関心領域 ( ROI ) の周囲にシャッターを適用する

IPD Viewer Software では、黒い境界線で画像の非関連領域 ( シャッター ) をマスクすることができます。

一つ以上の関心領域 ( ROI ) の周囲に、シャッターを適用するには：

- 1 シャッターをつけたい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 [ ツール ] メニューの [ 画像処理 ] をクリックします。  
その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 画像処理 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 画像処理 ] ツールバーが表示されます。



- 3 シャッター用のフォームを選択します：

使用したいシャッター	クリックするボタン	ボタン
矩形シャッター	矩形シャッターボタン	

サイズ設定ハンドルの組合せが表示されます。

- 4 サイズ変更ハンドルをドラッグし、画像の無関連な場所をマスクします。  
無関連なエリアは、黒いふちでカバーされます。



- 5 変更した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

- また、画像の関連したエリアを抽出し、新規の画像として保存することもできます。これで、かなり画像サイズを削減することができます。  
130 ページの '[関心領域 \(ROI\) を抽出する](#)' を参照してください。

## 関心領域 ( ROI ) を抽出する

画像の関連したエリアを抽出して新規の画像として保存できます。これにより、かなり画像サイズを削減することができます。

## 画像を変形する






IPD Viewer Software では、下記の画像変形操作ができます：

- 画像を回転する
- 画像を裏返す
- 画像のズームイン / アウト
- ズームした画像上を移動する
- 画像の一部を拡大する

変形ツールバー上のボタンによって、上記の画像変形機能にアクセスすることができます。



変形ツールバー

	[ 右回転 ] ボタン		[ 左回転 ] ボタン
	[ 180 度回転 ] ボタン		[ 水平に裏返す ] ボタン
	[ 垂直に裏返す ] ボタン		[ ズームイン ] ボタン
	[ ズームアウト ] ボタン		[ 拡大 ] ボタン
	[ 移動 ] ボタン		[ 中央 ] ボタン
	[ 復帰 ] ボタン		

# 画像を回転する

画像を時計回りに 90 度、反時計回りに 90 度、または 180 度回転することができます。

## 画像を回転するには：

- 1 回転したい画像をアクティブな画像にします。  
[95 ページの '診断ファイルの画像間を移動する'](#) を参照してください。
- 2 [ツール] メニューの [変形] をクリックします。  
 その代わりに、[標準] ツールバー上の変形ボタンをクリックすることができます。



[変形] ツールバーが表示されます。



- 3 画像を回転します：

目的	クリックするボタン	ボタン
90 度時計回りに回転する	[ 右回転 ] ボタン	
90 度反時計回りに回転	[ 左回転 ] ボタン	
180 度回転	[180 度回転] ボタン	

回転された画像が画像フレームに表示されます。

- 4 回転した画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。  
[173 ページの '画像を保存する'](#) を参照してください。

## 画像を裏返す

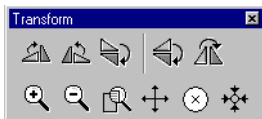
水平または垂直軸で画像を裏返すことができます。

**画像を裏返すには：**

- 1 裏返したい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 [ツール]メニューの[変形]をクリックします。  
その代わりに、[標準]ツールバー上の変形ボタンをクリックすることができます。



[変形]ツールバーが表示されます。



- 3 画像を裏返します：

目的	クリックするボタン	ボタン
水平軸を基準に裏返す	[水平に裏返す] ボタン	
垂直軸を基準に裏返す	[垂直に裏返す] ボタン	

裏返された画像が画像フレームに表示されます。

- 4 裏返された画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。  
173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

# 画像のズームイン / アウト

ビューワモードでは、画像を拡大または縮小することができます。ズームした画像を画像セル内に移動（ローミング）し、そのズームした画像を保存できます。1回のクリックで、拡大された画像を画像フレームにセンタリングすることができます。たとえば拡大後および / またはローミング後に画像を保存しても、いつでもオリジナルの画像に復帰することができます。

## ズームインまたはアウトするには：

- 1   ズームイン / アウトしたい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2   [ ツール ] メニューの [ 変形 ] をクリックします。  
その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 変形 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 変形 ] ツールバーが表示されます。



- 3   ズームインまたはアウトします：

目的	クリックするボタン	ボタン
ズームイン	[ ズームイン ] ボタン	
ズームアウト	[ ズームアウト ] ボタン	

❖   オリジナル画像のズームレベルを越えてズームアウトすることはできません。

その代わりに、サムホイールマウスを使用して連続してズームインまたはアウトすることができます。

- 4 ズームイン / アウトするには、ステップ 3 を繰り返します。
- 5 ズームした画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。  
173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。
  - ▶ ズームした画像を画像セルに移動することができます。135 ページの '[ズームした画像上を移動する](#)' を参照してください。
  - ▶ オリジナルの画像に復帰するには、137 ページの '[オリジナルの画像に復帰する](#)' を参照してください。

## ズームした画像上を移動する

ビューワモードでは、ズームした画像上を移動できます。つまり、ズームした画像を画像セル内に移動できます。

### ズームした画像上を移動するには：

- 1 画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 画像にズームインします。  
134 ページの '[画像のズームイン / アウト](#)' を参照してください。
- 3 [移動] ボタンをクリックします。



ポインターが十字になります。

- 4 画像セル内のポインタをドラッグして、画像を希望の位置に移動します。
- 5 移動後の画像を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。  
173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。
  - ▶ 移動後に画像をセンタリングするには、136 ページの '[移動後に画像をセンタリングする](#)' を参照してください。

## 移動後に画像をセンタリングする

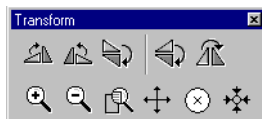
ズームした画像上を移動した場合、画像を保存した後でも、ズームした画像を画像セル内で簡単にセンタリングすることができます。

### 画像をセンタリングするには：

- 1 [ツール]メニューの[変形]をクリックします。  
その代わりに、[標準]ツールバー上の変形ボタンをクリックすることができます。



[変形]ツールバーが表示されます。



- 2 [中央]ボタンをクリックします。



拡大された画像は、画像セル内にセンタリングされます。



## オリジナルの画像に復帰する

画像をズームイン/アウトしたり、ズームした画像内を移動した後も、簡単にオリジナルの画像に復帰することができます。オリジナルの画像とは、元のズームレベルで、画像セルの中央に表示された画像です。

オリジナルの画像に復帰するには：

- 1 [ツール]メニューの[変形]をクリックします。

その代わりに、[標準]ツールバー上の変形ボタンをクリックすることができます。



[変形]ツールバーが表示されます。



- 2 [復帰]ボタンをクリックします。



画像は、オリジナル サイズで表示され、画像セル内でセンタリングされます。

## 画像の一部を拡大する

IPD Viewer Software を使用して、選択した画像の一部を拡大することができます。拡大鏡をドラッグして、違う画像ゾーンを検査できます。

### 画像の一部を拡大するには：

- 1 画像をアクティブな画像にします。

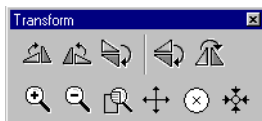
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 [ツール] メニューの [変形] をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の変形ボタンをクリックすることができます。



[変形] ツールバーが表示されます。



- 3 [拡大] ボタンをクリックします。



矩形の拡大ウインドウが表示されます。

- 4 特定のエリアを拡大するには、そのエリアに拡大鏡をドラッグします。
- 5 拡大鏡をオフにするには、[拡大] ボタンをもう一度クリックします。

## 画像に注釈を追加する

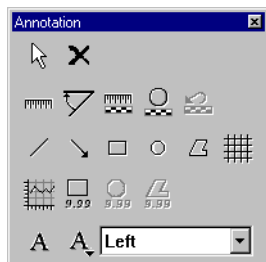
IPD Viewer Software を使用すると、画像に注釈を追加し、測定を行うことができます。次のことが実行できます：

- 距離を測定する。
- 距離を較正する。
- 角度を測定する。
- 関心領域（ROI）内のスキャン平均レベルを計算する。
- 密度プロフィールを計算する。
- 線を引く。
- 矢印を描く。
- 図形フォーム（長方形、楕円、多角形）を描画する。
- カスタムテキストおよび定義済テキストを追加する。

測定または計算を行うとき、または、注釈を追加するとき、補助として画像上にグリッド線を表示することができます。














❖ 注釈は、表示または隠すことができます。

注釈ツールバー上のボタンによって上記の注釈機能にアクセスすることができます。



注釈ツールバー

	[ 選択 ] ボタン		[ 削除 ] ボタン
	[ 距離 ] ボタン		[ 角度 ] ボタン
	[ 線較正 ] ボタン		[ 円較正 ] ボタン
	[ 較正復帰 ] ボタン		

	[ 線 ] ボタン		[ 矢印 ] ボタン
	[ 矩形 ] ボタン		[ 円 ] ボタン
	[ 多角形 ] ボタン		[ グリッド ] ボタン
	[ 密度プロフィール ] ボタン		[ 矩形 ROI ] ボタン
	[ 円 ROI ] ボタン		[ 多角形 ROI ] ボタン
	[ テキスト ] ボタン		[ 定義済テキスト ] ボタン
		[ 定義済テキスト ] ボックス	

## 注釈を表示する / 隠す

注釈が画像に追加された場合、その注釈を表示するか隠すかを選択できます。

- ❖ 注釈を追加したり、測定や計算を行う前に、注釈をオンにしてください。
- ❖ 注釈をオフにしてから結果を保存しても、注釈は消えません。いつでも、注釈を再びオンにすることができます。

**注釈をオンまたはオフするには：**

[ 表示 ] メニューの [ 注釈 ] をクリックします。

チェックマークは、注釈がオンであることを意味します。画像に注釈がある場合、その注釈付きの画像は画像フレーム内に表示されます。

## グリッド線を表示する / 隠す

画像へ注釈を追加したり、測定を行うとき、画像上にグリッド線を表示させると便利です。

**グリッド線をオンにするには：**

- 1 注釈がオンであることを確認します。

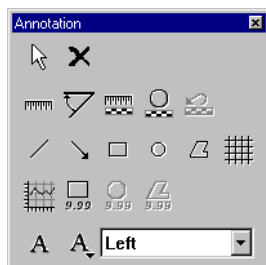
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

- 2 [ツール] メニュー上で、注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 3 [グリッド] ボタンをクリックします。



[グリッド間隔] ダイアログボックスが表示されます。



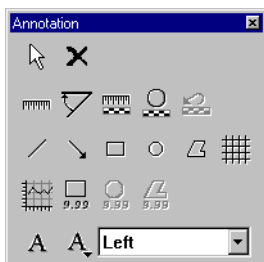
- 4 グリッド間隔を入力します。  
ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。
- 5 [OK] をクリックします。  
グリッド線が表示されます。

### グリッド線をオフにするには：

- 1 [ツール]メニュー上で、注釈をクリックします。  
その代わりに、[標準]ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



[注釈]ツールバーが表示されます。



- 2 [グリッド] ボタンをクリックします。



グリッド線が隠されます。

## 距離を測定する

[ 注釈 ] ツールバーを介して、画像内の特定の特徴間の距離を計ることができます。画像の基準オブジェクトを使用して距離測定を較正しなかった場合、その測定値は画像プレート寸法を参照します。

- ❖ 較正された距離測定を使用したい場合、まず較正を行います。146 ページの '[距離測定を較正する](#)' を参照してください。

一つ以上の距離を測定するには：

- 1 測定したい画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 注釈をオンにします。

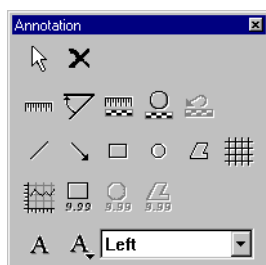
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

- 3 [ ツール ] メニュー上で、注釈をクリックします。

その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 注釈 ] ボタンをクリックすることができます。





[ 注釈 ] ツールバーが表示されます。





#### 4 距離を測定します：

目的	方法	ボタン
一つの距離を測定する	[ 距離 ] ボタンをクリックする。	
複数の距離を測定する	[ 距離 ] ボタンをダブルクリックする。	

ポインタは、標準ポインタとルーラーになりました。

#### 5 一度クリックして測定の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

ポインタを動かすと、始点とポインタの間の距離が表示されます。ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

クリックして測定の終了を定義した後、測定された距離が表示されます。ドラッグすることによって距離ラベルを移動することができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって距離ラベルの大きさを変更することができます。

#### 6 複数の距離を測定するには、ステップ 5 を繰り返します。

#### 7 測定を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

- 測定した距離を修正するには、164 ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

## 距離測定を校正する

画像内の直線または円形基準オブジェクトのいずれかを使用して距離測定を校正することができます。いつでも、オリジナルの校正に復帰することができます。



**校正は校正を行う画像だけに適用されます。**

線校正を通して距離を校正するには：

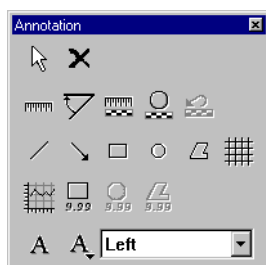
- 1 直線基準オブジェクト付の画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 注釈をオンにします。  
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

- 3 [ツール]メニュー上で、注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



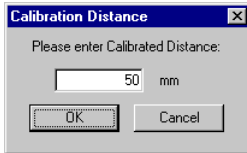
[注釈] ツールバーが表示されます。



#### 4 [線校正] ボタンをクリックします。



[校正距離] ダイアログボックスが表示されます。



#### 5 校正距離として使用する距離の値を入力します。

ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

#### 6 [OK] をクリックします。

これでこのポインタは、校正バーが付いた標準ポインタとルーラーになりました。

#### 7 一度クリックして校正距離の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

校正距離が表示されます。ドラッグすることによって距離ラベルを動かすことができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって距離ラベルの大きさを変更することができます。

今後測定する距離はすべてこの校正距離を基準にします。

❖ 以前に測定された距離は再計算されません。

#### 8 校正を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

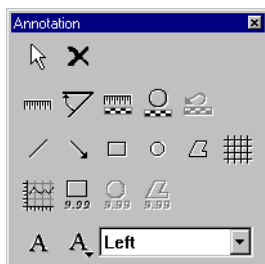
➤ 校正距離を修正するには、164 ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

## 円較正を通して距離を較正するには：

- 1 円形基準オブジェクトのある画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 注釈をオンにします。  
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



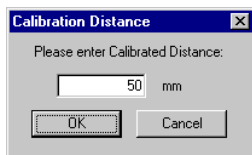
[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 [円較正] ボタンをクリックします。



[較正距離] ダイアログボックスが表示されます。



- 5 較正距離として使用する円の直径を入力します。  
ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

**6** [OK] をクリックします。

これでポインタは、較正バーの標準ポインタと円になりました。

**7** 較正オブジェクトの周上の 3 点をクリックします。

較正距離が表示されます。ドラッグすることによって距離ラベルを移動することができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって距離ラベルの大きさを変更することができます。

今後現在の画像で測定する全ての距離は、較正距離を基準とします。

❖ 以前に測定された距離は再計算されません。

**8** 較正を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

➤ 較正距離を修正するには、[164](#) ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

## オリジナルの較正に復帰する

較正の変更を保存しても、画像プレート寸法に基づくオリジナル較正にいつでも復帰することができます。

# 角度を測定する

[ 注釈 ] ツールバーを使用して、2 つの特徴の間の角度を測定することができます。

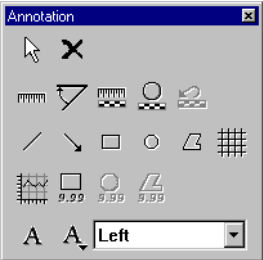
一つ以上の角度を測定するには：

- 1
- 測定したい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2
- 注釈をオンにします。  
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3
- [ ツール ] メニューの注釈をクリックします。

その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 注釈 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 注釈 ] ツールバーが表示されます。



- 4
- 角度を測定します：

目的	方法	ボタン
一つの角度を測定する	[ 角度 ] ボタンをクリックします。	
複数の角度を測定する	[ 角度 ] ボタンをダブルクリックします。	

これでポインタは標準ポインタと角度となります。

5 一度クリックして最初の辺の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

6 一度クリックして第二辺の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

ポインタを動かすと、二つの辺の間の角度が表示されます。

第二辺の終点を定義した後、測定された角度 ( $<180^\circ$ ) が表示されます。ドラッグすることで角度ラベルを移動できます。ラベルのサイズ変更ラベルをドラッグすることで角度ラベルを移動できます。

7 複数の角度を測定するにはステップ 5 から 6 を繰り返します。

8 測定を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

➤ 測定した角度を変更するには、164 ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

# 関心領域 ( ROI ) 内のスキャン平均レベルを計算する

[ 注釈 ] ツールバーを使用して、関心領域 (ROI) 内のスキャン平均レベル ( SAL ) を計算することができます。

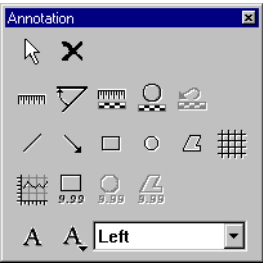
❖ 関心領域を抽出して無関連の画像エリアを破棄するには、130 ページの ' 関心領域 ( ROI ) を抽出する ' を参照してください。

一つ以上の関心領域のスキャン平均レベルを計算するには：

- 1 SAL を計算したい画像を、アクティブな画像にします。  
95 ページの ' 診断ファイルの画像間を移動する ' を参照してください。
- 2 注釈をオンにします。  
141 ページの ' 注釈を表示する / 隠す ' を参照してください。
- 3 [ ツール ] メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 注釈 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 注釈 ] ツールバーが表示されます。



- 4 関心領域のフォームを選択します：

マークするフォーム	クリック	ボタン
矩形 ROI	[ 矩形 ROI ] ボタン	



## 5 関心領域をマークします：

描く	方法
矩形 ROI	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一度クリックして一角を定義します。</li> <li>2 ポインタを動かします。</li> <li>3 もう一度クリックして対角を定義します。</li> </ol>

関心領域のスキャン平均レベル (SAL) が表示されます。ドラッグすることによって SAL ラベルを動かすことができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって SAL ラベルの大きさを変更することができます。

## 6 複数の関心領域内のスキャン平均レベル (SAL) を計算するには、ステップ 4 から 5 を繰り返します。

## 7 関心領域とそれに関連する SAL 値を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

- 関心領域を修正するには、[164](#) ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

## 密度プロフィールを計算する

[注釈] ツールバーを使用して、密度、すなわち、矩形面積に対応する放射線の線量の平方根を計算することができます。画像の基準オブジェクトを使用して距離測定を校正していない場合、その長さ寸法値は画像プレート寸法を参照します。

- ❖ 校正された距離測定を使用したい場合、まず校正を行います。146 ページの '[距離測定を校正する](#)' を参照してください。

### 密度プロフィールを計算するには：

- 1 計算したい画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 注釈をオンにします。

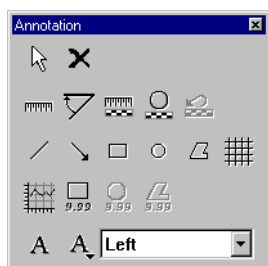
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



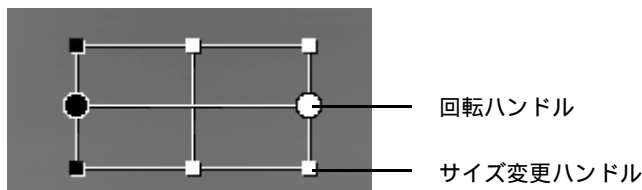
- 4 [密度プロフィール] ボタンをクリックします。



空白の [密度プロフィール] が表示されます。

## 5 アクティブな画像をクリックします。

密度プロフィール マーカーが表示されます。



## 6 密度プロフィールを計算したいエリアをカバーするように、密度プロフィールマーカーを配置します。

密度プロフィールは、密度プロフィールマーカー内の面積に対応する、円形回転ハンドルの間の線量に従って計算されます。

目的	方法
密度プロフィール マーカーをシフトする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポインタをマーカーの中央の方へ動かします。 ポインタが十字になります。</li> <li>2 マーカーをドラッグします。</li> </ol>
密度プロフィール マーカーの大きさを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポインタをマーカーのサイズ変更ハンドルの方へ動かします。 ポインタは、矢印になります。</li> <li>2 ハンドルをドラッグします。</li> </ol>
密度プロフィール マーカーを回転させる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポインタをマーカーの回転ハンドルの方へ動かします。 ポインタはカーブした矢印になります。</li> <li>2 ハンドルをドラッグします。</li> </ol>

## 7 密度プロフィール マーカーをボタンを右クリックして、ショートカットメニューの[再計算]をクリックします。

密度プロフィールは、密度プロフィール ウィンドウに表示されます。

# 線を引く

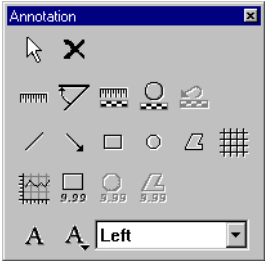
線によって特定の特徴を指し示すことができます。

## 1 本以上の線を引くには：

- 1
- 線を追加したい画像をアクティブな画像にします。  
[95](#) ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2
- 注釈をオンにします。  
[141](#) ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3
- [ ツール ] メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 注釈 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 注釈 ] ツールバーが表示されます。



## 4 線を引きます：

目的	方法	ボタン
1 本の線を引く	[ 線 ] ボタンをクリックします。	
複数の線を引く	[ 線 ] ボタンをダブルクリックします。	

これでポインタは標準ポインタと線になります。

- 5 一度クリックして線の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。
  - 6 複数の線を引くにはステップ 5 を繰り返します。
  - 7 線を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。  
[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。
- 線を移動またはサイズ変更するには、[164](#) ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

# 矢印を描く

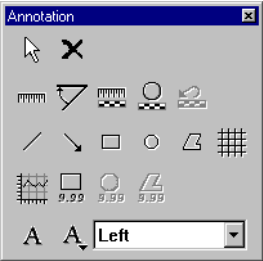
矢印によって特定の特徴を指し示すことができます。

一つ以上の矢印を描くには：

- 1 矢印を追加したい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 注釈をオンにします。  
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 矢印を描きます：

目的	方法	ボタン
1 本の矢印を描く	[ 矢印 ] ボタンをクリックします。	
複数の矢印を描く	[ 矢印 ] ボタンをダブルクリックします。	

ポインタは標準ポインタと矢印になります。

- 5 一度クリックして矢印の先端を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして軸を定義します。
  - 6 複数の矢印を描くには、ステップ 5 を繰り返します。
  - 7 矢印を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。  
[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。
- 矢印を移動またはサイズ変更するには、[164](#) ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

# 図形フォームを描く

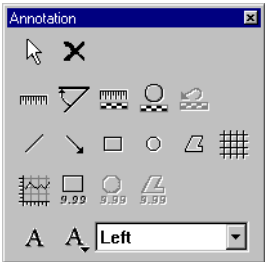
[ 注釈 ] ツールバーを使用して、画像に矩形、楕円または多角形を追加することができます。

一個以上の図形フォームを描くには：

- 1 図形フォームを追加したい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 注釈をオンにします。  
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3 [ ツール ] メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 注釈 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 注釈 ] ツールバーが表示されます。



- 4 図形フォームを選択します：

描くフォーム	クリックするボタン	ボタン
矩形	[ 矩形 ] ボタン	
楕円	[ 円 ] ボタン	
多角形	[ 多角形 ] ボタン	



これでポインタは標準ポインタと図形フォームになります。

- ❖ 同一の図形フォームを複数描画するには、該当するボタンをダブルクリックします。

## 5 図形フォームを描きます：

描くフォーム	方法
矩形	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一度クリックして一角を定義します。</li> <li>2 ポインタを動かします。</li> <li>3 もう一度クリックして対角を定義します。</li> </ol>
楕円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一度クリックして1点を定義します。</li> <li>2 ポインタを動かします。</li> <li>3 もう一度クリックして半径を定義します。</li> </ol>
多角形	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 クリックして始点を定義します。</li> <li>2 ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。</li> <li>3 多角形を閉じるには、始点をクリックします。</li> </ol>

## 6 図形フォームを保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

173 ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

- 図形フォームを移動またはサイズ変更するには、164 ページの '[注釈を編集する](#)' を参照してください。

## テキストを追加する

[ 注釈 ] ツールバーを使用して、画像にテキストを追加することができます。カスタムテキストを追加するか、または数多くの定義済テキストから選択することができます。

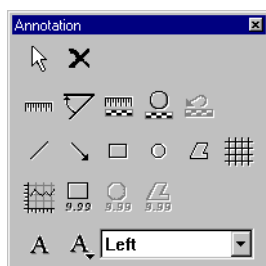
- ▶ 定義済テキストの設定方法については、[214 ページ](#)の '[定義済テキストを設定する](#)' を参照してください。

### テキストを追加するには：



- 1 テキストを追加したい画像をアクティブな画像にします。  
[95 ページ](#)の '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 注釈をオンにします。  
[141 ページ](#)の '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3 [ ツール ] メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[ 標準 ] ツールバー上の [ 注釈 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 注釈 ] ツールバーが表示されます。



#### 4 テキストを追加します：

追加するテキスト	方法
カスタムテキスト	<p>1 テキストボタンをクリックします。</p>  <p>テキストボックスが表示されます。</p> <p>2 テキストを入力し [ENTER] をクリックします。</p>
定義済テキスト	<p>[定義済テキスト] ボックスのテキストを定義します。</p> 

これでポインタは標準ポインタと A になります。

- 5 一度クリックしてテキストの中心を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックしてサイズを定義します。
- 6 複数のテキストを追加するには、ステップ 4 から 5 を繰り返します。
- 7 テキストを保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 注釈を編集する

以前に定義した注釈を簡単に編集することができます。次のことが可能です：

- 線、矢印、図形フォームまたはテキストを移動したり、サイズを変更します。
- 距離および角度ラベルだけでなく測定された距離および角度を修正します。
- 較正距離および較正ラベルを修正します。
- 関心領域を修正します、対応するスキャン平均レベル（SAL）をアップデートし、SAL ラベルを修正します。

**注釈を編集するには：**

- 1 注釈を編集したい画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 注釈をオンにします。

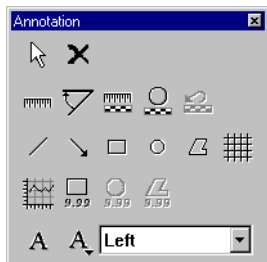
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 [選択] ボタンをクリックします。



## 5 編集したい注釈をクリックします。

注釈が選択されます。距離、角度、較正注釈はマーカーおよびラベルで較正されています。関心領域注釈は、関心領域マーカーおよび SAL ラベルから構成されています。マーカーおよびラベルの両方を編集することができます。

## 6 マーカーおよび / またはラベルを編集します：

目的	方法
アイテムを移動する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポインターをアイテムの中央に移動します。 ポインタが十字になります。</li> <li>2 アイテムをドラッグします。</li> </ol>
アイテムをサイズ変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポインタをマーカーのサイズ変更ハンドルの方へ動かします。 ポインタは、矢印になります。</li> <li>2 ハンドルをドラッグします。</li> </ol>

## 7 関心領域の大きさを変更した場合、右ボタンをクリックし、ショートカットメニューの [再計算] をクリックします。スキャン平均レベル (SAL) が、アップデートされます。

## 8 編集した注釈を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 注釈を削除する

最終的に注釈を外したい場合、その注釈を削除しなければなりません。



**一旦注釈が削除されたら、決して復元できません！**

- ❖ 一時的に全ての注釈を隠したい場合、注釈をオフにすることができます。その場合、注釈は画像と共に保存され、いつでも再表示できます。  
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

### 1 個以上の注釈を削除するには：

- 1 注釈を削除したい画像をアクティブな画像にします。

95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。

- 2 注釈をオンにします。

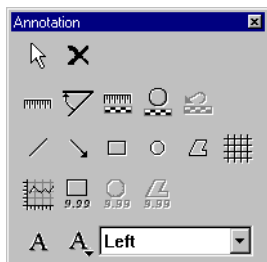
141 ページの '[注釈を表示する / 隠す](#)' を参照してください。

- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 [選択] ボタンをクリックします。



5 削除したい注釈をクリックします。

6 以下のうちの一つを行います：

- [標準] ツールバー上の [削除] ボタンをクリックします。
- [注釈] ツールバー上の [削除] ボタンをクリックします。



- [DELETE] キーを押します。

7 複数の注釈を削除するには、ステップ 4 から 6 を繰り返します。

8 修正を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

[173](#) ページの '[画像を保存する](#)' を参照してください。

## 画像を削除する

ビューワモードでは、データベースから一つの画像を削除することができます。

- ❖ 複数の画像を削除したい場合、セレクトモードに切り換えてください。  
56 ページの '[診断ファイルまたは画像を削除する](#)' を参照してください。



**一旦画像が削除されたら、決して復元できません！**

画像を削除するには：

- 1 削除したい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 [編集] メニューで、[削除] をクリックします。  
その代わりに、[標準] ツールバーの [削除] ボタンをクリックすることができます。



警告メッセージが表示されます。

- 3 診断ファイルまたは画像を削除するには、[はい] をクリックします。  
画像は、ローカルデータベースから削除されます。



## 診断ファイル情報を参照および修正する

ビューワモードでは、特定の診断ファイルの詳細情報を参照することができます。また、診断ファイルデータを修正することもできます。そのデータには、患者名、患者 ID、体重、生年月日、受付番号、担当医師、その他を含めます。

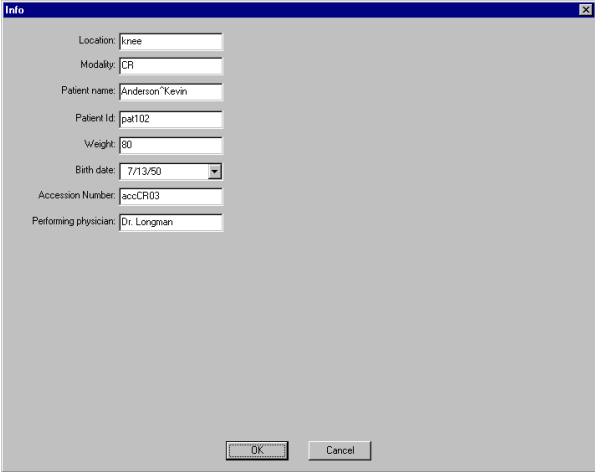
**診断ファイル情報を参照および修正するには：**

- 1 情報を参照したい診断ファイルを表示します。

83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

- 2 [ ツール ] メニュー上の [ 診断ファイル情報 ] をクリックします。

診断ファイルの詳細情報が表示されます。



The screenshot shows a dialog box titled 'Info' with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains several input fields for patient information:

Location	knee
Modality	CR
Patient name	Anderson, Kevin
Patient Id	pat102
Weight	80
Birth date	7/13/90
Accession Number	accCR03
Performing physician	Dr. Longman

At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'OK' and 'Cancel'.

- 3 診断ファイルデータを修正するには、適切なボックスにデータを入力します。
- 4 [OK] をクリックします。

➤ どの診断データをダイアログボックスに表示するか設定する方法については、206 ページの '[診断ファイル情報を設定する](#)' を参照してください。

---

## 診断ファイルレポートを作成する

---

ビューワモードでは、電子フォーマットで 診断ファイルレポートを作成し、そのレポートを診断ファイルの一部として保存することができます。一度、レポートが作成されると、ビューワでそれを参照することができます。

診断ファイルレポートを口述したい場合、その診断ファイルが口述されたときに口述表示を 保存することができます。この表示は、診断ファイルデータのうちの一つです。病院が HIS/RIS ( 院内情報システム / 放射線医学情報システム ) を備えている場合、その表示は HIS/RIS を通して参照されことができ、どの診断ファイルが口述されたか簡単に記録しておくことができます。

## 電子診断ファイルレポートを作成する

診断ファイルレポートをあなた自身で入力したい場合、ビューワモードで簡単に行えます。診断ファイルを表示させた状態で注釈および測定ツールを使用して、レポートを描くことができます。

## 診断ファイルを口述済みにする

診断ファイルレポートを口述した場合、診断ファイルが口述済みであることをマークすることができます。この情報は診断ファイルデータのの一つとして保存されます。

- ❖ ビューワモードにおいて電子診断ファイルレポートを作成することもできます。170 ページの '診断ファイルレポートを作成する' を参照してください。

### 診断ファイルを口述済みとしてマークするには：

- 1 口述した診断ファイルを表示します。  
83 ページの 'オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する' を参照してください。
- 2 [ファイル] メニュー上で、[口述済みマーク] をクリックします。  
チェックマークは、診断ファイルが口述済みとしてマークされていることを意味します。
  - ❖ 誤って診断ファイルを口述済みにマークした場合、その診断ファイルを選択して、[ファイル] メニューの [口述済みマーク] をクリックすることにより、マークを外すことができます。

---

## 画像を診断ファイルサマリーにする

---


注釈の有無に関らず、診断ファイルの代表として、一つ以上の画像を選択することができます。これらの画像は、診断ファイルサマリーの一部です。

## 画像を保存する

インタラクティブ画像処理ならびに変形によって、または注釈の追加によって画像を変更した後その変更を保存したい場合は、手動で画像をディスクに保存します。

**画像を保存するには：**

- 1 画像をアクティブな画像にします。  
[95 ページの '診断ファイルの画像間を移動する'](#) を参照してください。
- 2 インタラクティブ処理または変形操作を行うか、および / または注釈を追加します。  
[106 ページの '画像を処理する'](#)、[131 ページの '画像を変形する'](#)、および [139 ページの '画像に注釈を追加する'](#) をそれぞれ参照してください。
- 3 画像を保存します：

目的	方法	ボタン
変更された画像で既存の画像を置換します	[ファイル]メニューの[保存]をクリックします。 代わりに、[標準]ツールバー上で[保存]ボタンをクリックすることができます。	
変更された画像を診断ファイルに追加する新規の画像として保存します。	[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]をクリックします。	—

画像は、ローカルデータベースに保存されます。

## 診断ファイルを印刷する

ビューワモードは、あなたのニーズに合わせて診断ファイルを印刷することができます。

次のいずれかが可能です：

- [ クイック印刷 ] を経由してデフォルトレイアウトを使用した印刷。
- [Print Composer]を経由して非デフォルトまたはカスタム レイアウトを使用した印刷。

## デフォルトレイアウト（クイック印刷）を使用して印刷する

各診断ファイルタイプをデフォルトプリンタおよびデフォルトレイアウトに関連付けて、ADC Quality System を設定することができます。特定の診断ファイルタイプのデフォルトプリンタおよび/またはデフォルトレイアウトが設定されていない場合、システムデフォルトプリンタおよび/またはレイアウトが、デフォルトになります。

**デフォルトプリンタ上でデフォルトレイアウトを使用して印刷するには：**

- 1 印刷したい診断ファイルを表示します。

[83 ページの ' オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する '](#) を参照してください。

- 2 [ 標準 ] ツールバーの [ クイック印刷 ] ボタンをクリックします。



ADC Quality System の設定に従って、診断ファイルまたは画像が、設定されたレイアウトまたはシステムデフォルトレイアウトを使用して設定されたプリンタまたはシステムデフォルトプリンタに印刷されます。

- ADC Quality System について詳しくは、コンフィギュレーションビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

## 非デフォルトまたはカスタム レイアウト ( Print Composer ) を使用して印刷する

[Print Composer] を使用して、出荷時定義レイアウトまたは以前に保存されたカスタム レイアウトで印刷することができます。フィルム上の画像のレイアウトをすべてカスタマイズすることができます。

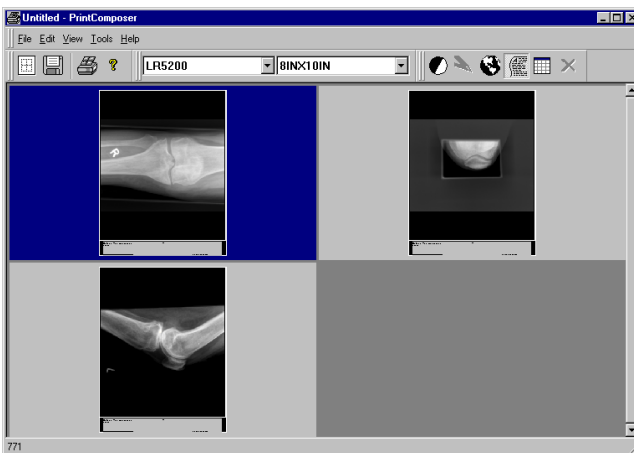
- ▶ カスタム レイアウトの定義方法については、[Print Composer] のレファレンスマニュアルを参照してください

**非デフォルトレイアウトまたはカスタムレイアウトを使用して印刷するには：**

- 1 印刷したい診断ファイルを表示します。  
83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。
- 2 [ファイル] メニューの [Print Composer] をクリックします。  
その代わりに、[標準] ツールバーの [Print Composer] ボタンをクリックすることができます。



[Print Composer] メインウィンドウが表示されます。



診断ファイル内の全ての画像が、[Print Composer] のプレビューに表示されます。

- 3 プリンタ、フィルム フォーマットおよびフィルム レイアウトなどの印刷オプションを設定します。

[Print Composer] のレファレンスマニュアルを参照してください。

- 4 画像を追加したい場合、診断ファイル オーバービュー フレームまたは画像フレームから [Print Composer] のプレビューまでその画像をドラッグします。

目的	方法
[Print Composer] のプレビューに画像を追加する	画像フレームまたは診断ファイル オーバービュー フレームからプレビューまで画像をドラッグします。

目的	以下のうちの一つを行います
[Print Composer] のプレビューから画像を削除する	<ul style="list-style-type: none"><li>• 画像フレームまたは診断ファイル オーバービュー フレームから、その画像の上へ別の画像をドラッグします。</li><li>• プレビューの画像上で右ボタンをクリックし、ショートカットメニューの [ 削除 ] をクリックします。</li></ul>

- 5 [Print Composer] の [ ファイル ] メニュー上にある [ 印刷 ] をクリックします。その代わりに、[Print Composer] のツールバー上の [ 印刷 ] ボタンをクリックすることができます。



[ 印刷 ] ダイアログボックスが表示されます。

- 6 フィルム範囲および印刷部数などの印刷オプションを設定します。  
[Print Composer] のレファレンスマニュアルを参照してください。

- 7 [OK] をクリックします。



## 診断ファイルを送信する

IPD Viewer Software を使用して、ADC QS Station から DICOM ステーションまで診断ファイルを送信できます。別のステーションから診断ファイルを見る、または手動で診断ファイルをアーカイブする方法としてこの機能を利用できます。

**診断ファイルを送信するには：**

- 1 送信したい診断ファイルを表示します。

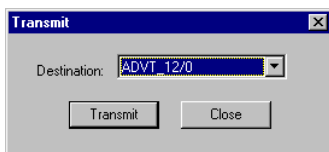
83 ページの '[オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する](#)' を参照してください。

- 2 [ファイル] メニューの [送信] をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の [送信] ボタンをクリックすることができます。



[送信] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [送信先] リスト内で、診断ファイルの送信先をクリックします。

- 4 [送信] をクリックします。

診断ファイルまたは画像は、送信先のローカルデータベース内に保存されます。

---

## 印刷または送信ジョブをリルートする

---

各診断ファイルタイプをデフォルトプリンタおよびデフォルト DICOM ステーションと関連付けて、ADC Quality System を設定することができます。特定の診断ファイルタイプについてデフォルトプリンタまたはデフォルト DICOM ステーションが設定されていない場合、システムデフォルトプリンタ /DICOM ステーションがデフォルトになります。

通常、ADC QS Station に到着する新規診断ファイルは、デフォルトプリンタおよびデフォルト DICOM ステーションに自動的に送信されます。ただし、設定されたデフォルトプリンタが稼動中でない場合などは、一時的にデフォルトプリンタを別のプリンタに設定することができます。同様に、設定されたデフォルト DICOM ステーションが非稼動中の場合、別の DICOM ステーションに送信ジョブをリルートすることができます。

- ▶ 診断ファイルタイプについてデフォルトプリンタまたは DICOM ステーションの設定方法については、コンフィギュレーションビューワのレファレンスマニュアルを参照してください

---

## 診断ファイルをアーカイブおよび検索する

---

診断ファイルは、ADC QS Station のハードディスクに保存されます。ただし、ハードディスクの容量が限られているので、一定の数の診断ファイルしか保存できません。ハードディスクの使用スペースがフル容量に達すると、最も古い診断ファイルのデータが自動的に削除され、最新の診断ファイルのデータに置換されます。しかし、今後の使用のために、デジタル リニア テープ (DLT) Nearline ストレージ デバイスに、診断ファイルをアーカイブすることができます。

- ❖ コンフィギュレーション ビューワを介して、Nearline ストレージ デバイスを設定することができます。詳細は、コンフィギュレーション ビューワのレファレンスマニュアルを参照してください。

アーカイブされた診断ファイルは、Nearline ストレージ デバイスから取り出し、一時的に ADC QS Station のハードディスクに保存することができます。

---

## 診断ファイルをインポートする

---

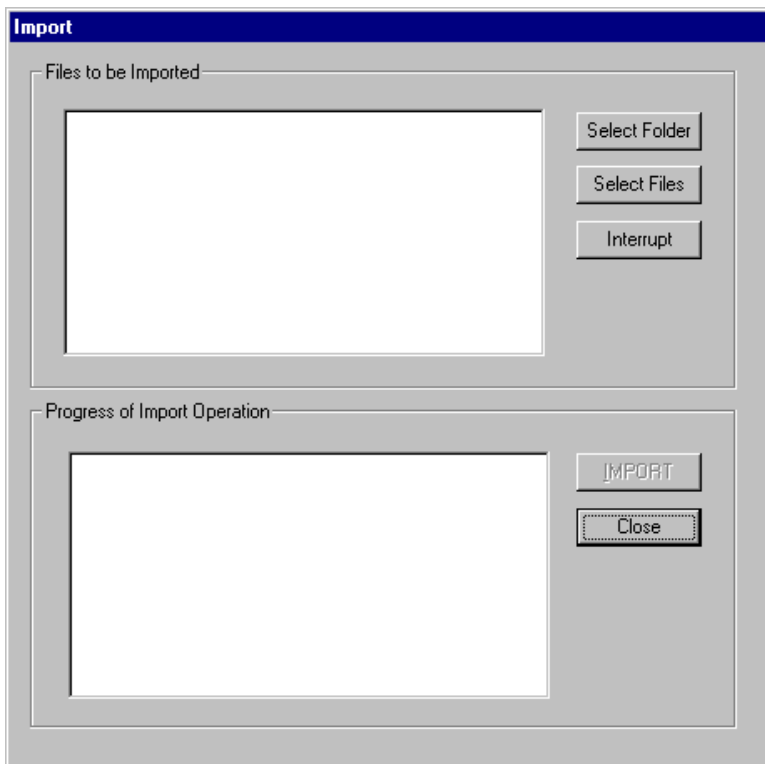
ADC QS Station のローカルデータベースに保存されている診断ファイルで作業できるだけでなく、IPD Viewer Software では、書き込み可能 CD、デジタルビデオディスク (DVD)、光磁気ディスク (MOD)、Jaz<sup>®</sup> ドライブ、その他のポータブルメディアから、診断ファイルをインポートできます。ただし、ADC QS Station に必要なハードウェアが装備されている場合に限りです。それによって、診断ファイルは一時的に ADC QS Station のデータベースに追加されます。

一つのフォルダの、一つ以上の診断ファイルまたはフォルダ全体をインポートすることができます。

- ❖ XML フォーマットを持つ診断ファイルしかインポートできません。
- ❖ IPD Viewer Software は、インポートされたファイルを一覧にした履歴ファイルを維持します。インポート作業を中止しても、このファイルがあれば簡単に作業を再開できます。

フォルダの一つ以上の診断ファイルを インポートするには：

- 1 [ファイル]メニューの[インポート]をクリックします。  
[インポート]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [ファイルの選択] をクリックします。  
[選択] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [ファイルの場所] ボックス内で、インポートしたい診断ファイルが入っているポータブルメディアに該当するドライブをクリックします。
- 4 該当するフォルダが開くまで、フォルダリスト内のフォルダをダブルクリックします。
- 5 インポートしたい診断ファイルを選択します：

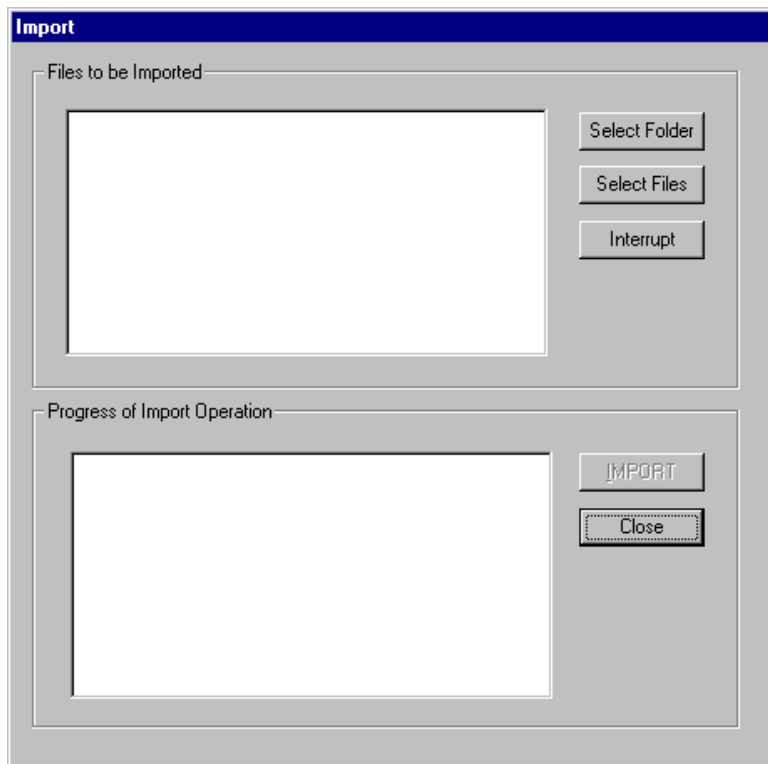
選択対象	方法
単一の診断ファイル	診断ファイルをクリックします。
複数の連続していない診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[CTRL] キーを押しながら選択したい他の診断ファイルをクリックします。
複数の連続した診断ファイル	一つの診断ファイルをクリックした後、[SHIFT] キーを押しながら選択したい範囲の最後の診断ファイルをクリックします。

- 6 [選択] をクリックします。  
選択した診断ファイルは、[インポートするファイル] リスト内に表示されます。

- 7 [ インポート ] をクリックします。  
進行状況は、[ インポート作業の進行状況 ] リストに表示されます。
- 8 「作業完了」メッセージが [ インポート作業の進行状況 ] リストに表示される  
までお待ちください。
- 9 [ 閉じる ] をクリックします。  
診断ファイルは、ローカルデータベース内に保存されます。セレクトで定義され  
た現在の検索条件と一致する場合、診断ファイルは現在のワークリスト内に表示  
されます。  
  
➤ インポートした画像間を移動するには、101 ページの '[検索された診断  
ファイル間を移動する](#)' を参照してください。

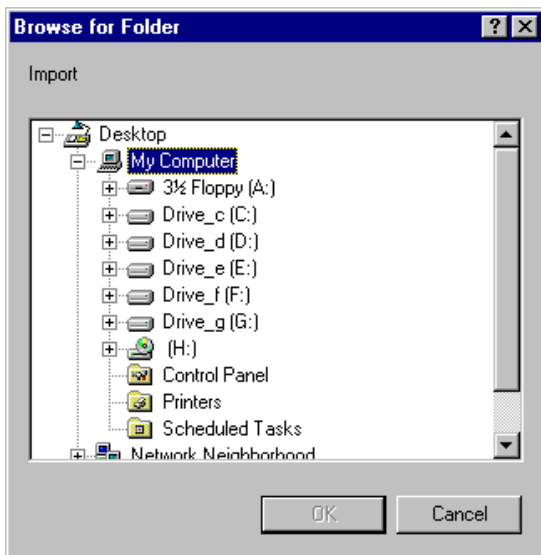
フォルダの全ての診断ファイルを インポートするには：

- 1 [ファイル]メニューの[インポート]をクリックします。  
[インポート]ダイアログボックスが表示されます。





- 2 [フォルダの選択]をクリックします。  
[フォルダを参照]ダイアログボックスが表示されます。



- 3 ツリー内で、インポートしたいフォルダを含むポータブルメディアに該当するドライブをダブルクリックします。
- 4 適当なフォルダに達するまでダブルクリックします。
- 5 フォルダをクリックします。
- 6 [OK]をクリックします。  
フォルダ内の全てのファイルは、[インポートするファイル]リスト内に一覧表示されます。
- 7 インポートをクリックします。  
進行状況は、[インポート作業の進行状況]リスト内に表示されます。

8 「作業完了」メッセージが[ エクスポート作業の進行状況 ] リストに表示されるまでお待ちください。

9 [ 閉じる ] をクリックします。

診断ファイルは、ローカルデータベース内に保存されます。セレクトで定義された現在の検索条件と一致する場合、診断ファイルは現在のワークリスト内に表示されます。

▶ インポートした診断ファイル間を移動するには、[101](#) ページの '[検索された診断ファイル間を移動する](#)' を参照してください。

---

## 診断ファイルまたは画像をエクスポートする

---

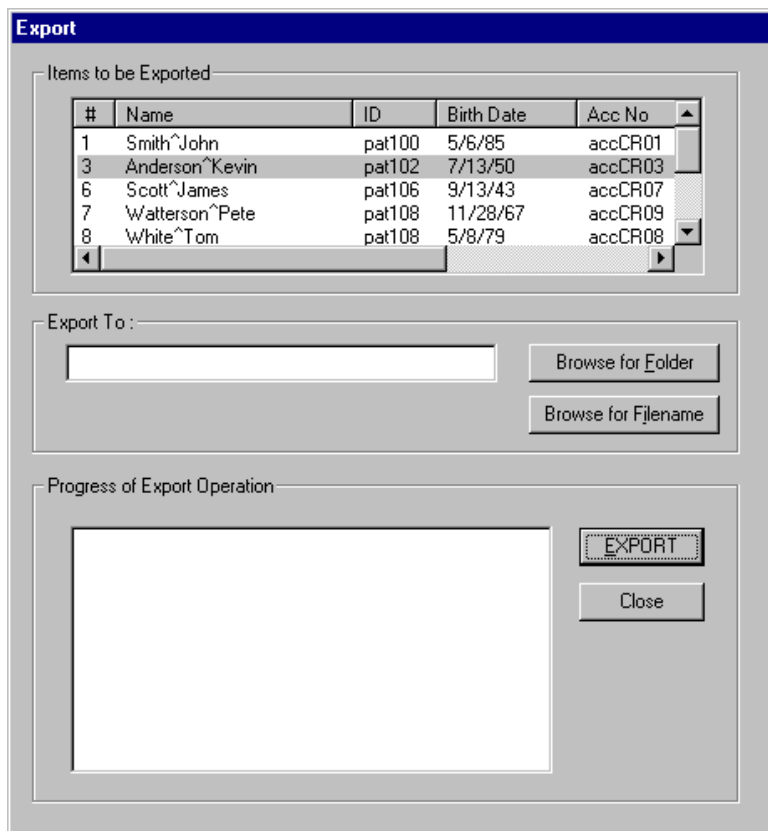
IPD Viewer Software では、書き込み可能 CD、デジタルビデオディスク (DVD)、光磁気ディスク (MOD)、Jaz<sup>®</sup> ドライブ、その他のポータブルメディアから、診断ファイルをインポートできます。ただし、ADC QS Station に必要なハードウェアが装備されている場合に限りです。画像を ADC QS Station のローカルディレクトリに保存することもできます。

XML フォーマットで全診断ファイルをエクスポートするか、下記のグラフィックフォーマットのうちの 8 ビットフォーマットで一つの画像をエクスポートすることができます :BMP (bitmap)、TIFF (Tagged Image File Format)、PNG (Portable Network Graphics) および JPEG (Joint Photographic Experts Group)。

### 診断ファイルまたは画像をエクスポートするには：

- 1 画像をエクスポートしたい診断ファイルを表示します。  
[83 ページの 'オンスクリーン診断のために診断ファイルを表示する'](#) を参照してください。
- 2 一つの画像をエクスポートしたい場合、その画像をアクティブにします。  
[95 ページの '診断ファイルの画像間を移動する'](#) を参照してください。

- 3 [ファイル]メニューの[エクスポート]をクリックします。  
[エクスポート]ダイアログボックスが表示されます。



- 4 [保存する場所]ボックス内で、診断ファイルまたは画像を保存したいドライブまたはフォルダをクリックします。  
ポータブルメディアまたはローカルディレクトリを選択することができます。

- 5 該当するフォルダが開くまで、フォルダリスト内のフォルダをダブルクリックします。
- 6 [ファイル名] ボックスにファイル名を入力します。
- 7 [ファイルの種類] リストにファイルタイプを入力します。

エクスポート	使用するファイルタイプ
診断ファイル全体	XML
一つの画像	下記のいずれか： <ul style="list-style-type: none"><li>• BMP (bitmap)、</li><li>• TIFF (Tagged Image File Format)、</li><li>• PNG (Portable Network Graphics)、</li><li>• JPEG (Joint Photographic Experts Group)</li></ul>

- 8 [保存] をクリックします。  
診断ファイルまたは画像は、選択したフォルダにエクスポートされます。

---

## Rislink ファイルに画像データをエクスポートする

---

IPD Viewer Software によって、Rislink ファイルに一つの画像の画像データをエクスポートできます。Rislink ファイルは、ID Software に簡単にインポートできるため、以前に診査された患者の診断ファイルを簡単かつ素早く識別できます。

Rislink ファイルには、一つの画像データが ASCII フォーマットで入っています。各画像アイテムは、一行で記述され、該当する DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine) コードが前についています。Rislink ファイルの第一行は DICOM バージョンを定めています。

### 例

```
0019,1001,V1
0010,0010,Anderson^Kevin
0010,0020,pat102
0010,0030,19500713
0010,0040,M
0008,0050,accCR03
0008,1060,
0008,1030,LOWER EXTREMITIES
0020,0010,srdCR03
0008,0020,19990420
0008,0030,110500
0008,0090,Bobby Black
0020,000D,1.3.51.0.7.63391.633919990420.6339110052
0008,1040,AGFA ADC2
0019,1060,3
```

- 診断ファイルデータをエクスポートしたい場合、セレクトモードに切り換えなければなりません。78 ページの '[Rislink ファイルに診断ファイルまたは画像データをエクスポートする](#)' を参照してください。

## Rislink ファイルに画像データをエクスポートするには：

- 1 データをエクスポートしたい画像をアクティブな画像にします。  
95 ページの '[診断ファイルの画像間を移動する](#)' を参照してください。
- 2 [ファイル] メニューの [Rislink ファイルを作成] をクリックします。  
[Rislink ファイルを作成] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [保存する場所] ボックス内で、診断ファイルまたは画像をエクスポートしたいドライブまたはフォルダをクリックします。  
ポータブルメディアまたはローカルディレクトリを選択することができます。
- 4 該当するフォルダが開くまで、フォルダリスト内のフォルダをダブルクリックします。
- 5 [ファイル名] ボックスにファイル名を入力します。
- 6 [保存] をクリックします。  
画像データは Rislink ASCII ファイルに、.ris という拡張子でエクスポートされます。





## IPD Viewer Software を カスタマイズする

この章は、IPD Viewer Software をカスタマイズする方法を説明します：

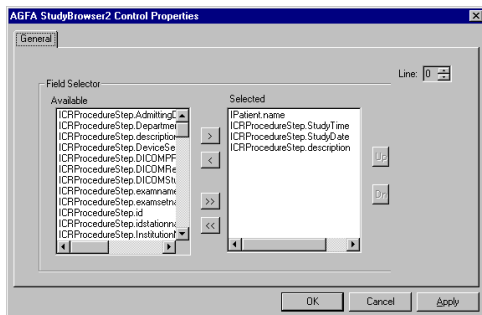
- サムネイル表示項目データを設定する
- 画像表示項目データを設定する
- ツールバーをカスタマイズする
- 診断ファイル情報を設定する
- フレームをカスタマイズする
- 定義済テキストを設定する

## サムネイル表示項目データを設定する

セクタおよびビューワモードの両方で、どの診断ファイルデータをサムネイル表示項目データとして表示するか設定することができます。セクタおよびビューワモードのサムネイル表示項目データを別々に設定することができます。サムネイル表示項目データは、複数の行にまたがることができます。

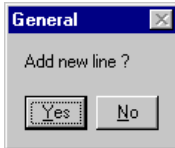
**サムネイル表示項目データを設定するには：**

- 1 サムネイル表示項目データをオンにします。  
86 ページの '[サムネイル表示項目データを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 2 [ツール]メニュー上で[カスタマイズ]を指定し、それから[サムネイル表示項目をカスタマイズ]をクリックします。



- 3 [一般]タブをクリックします。
- 4 [行]リストボックスで、データを表示したい行の行番号をクリックします。  
サムネイル表示項目データは、複数の行にまたがることができます。

- ❖ どのアイテムも定義されていない行番号をクリックすると、[一般]ダイアログボックスが表示されます。新しい行を追加するには、[はい]をクリックします。



- 5 選択した行に挿入したい診断ファイルデータを、[使用可能]リストから[選択済]リストに移動します：

目的	以下のうちの一つを行います
リスト間で1アイテムを移動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [使用可能]リストのアイテムをクリックして、[矢印]ボタンをクリックします。</li> <li>• [使用可能]リストのアイテムをダブルクリックします。</li> </ul>

目的	方法
全てのアイテムを一つのリストから別のリストに移動する	二重矢印ボタンをクリックします。

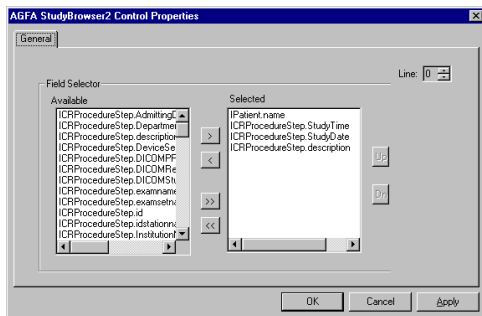
- 6 列の中でアイテムの順序を定義するには、[選択済]リストのアイテムをクリックし、[上へ]および[下へ]ボタンを使用して、それぞれ上へまたは下へ移動します。  
[選択済]リストにおける一番上のアイテムが、行の最初のアイテムになります。
- 7 サムネイル表示項目データのプレビューを表示するには、[適用]をクリックします。  
サムネイル表示項目データは、選択されたレイアウト通りに表示されます。
- 8 サムネイル表示項目データの他の行についてはステップ4から7を繰り返します。
- 9 サムネイル表示項目データのレイアウトを保存するには、[OK]をクリックします。

## 画像表示項目データを設定する

どの診断ファイルデータをビューワモードにおいて画像表示項目データとして表示するかを設定できます。画像表示項目データは、複数の行にまたげることができます。

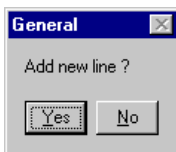
**画像表示項目データを設定するには：**

- 1 ビューワモードで作業していることを確認します。  
22 ページの '[セレクトモードとビューワモードを切り換える](#)' を参照してください。
- 2 画像表示項目データをオンにします。  
87 ページの '[画像表示項目データを表示する / 隠す](#)' を参照してください。
- 3 [ツール]メニュー上で[カスタマイズ]を指定し、それから[画像表示項目をカスタマイズ]をクリックします。



- 4 [一般]タブをクリックします。
- 5 [行]リストボックスで、データを表示したい行の行番号をクリックします。  
画像表示項目データは、複数の行にまたげることができます。

- ❖ どのアイテムも定義されていない行番号をクリックすると、[一般]ダイアログボックスが表示されます。新しい行を追加するには、[はい]をクリックします。



- 6 選択した行に挿入したい診断ファイルデータを、[使用可能]リストから[選択済]リストに移動します：

目的	以下のうちの一つを行います
リスト間で1アイテムを移動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [使用可能]リストのアイテムをクリックして、[矢印]ボタンをクリックします。</li> <li>• [使用可能]リストのアイテムをダブルクリックします。</li> </ul>

目的	方法
全てのアイテムを一つのリストから別のリストに移動する	二重矢印ボタンをクリックします。

- 7 列の中でアイテムの順序を定義するには、[選択済]リストのアイテムをクリックし、[上へ]および[下へ]ボタンを使用して、それぞれ上へまたは下へ移動します。  
[選択済]リストにおける一番上のアイテムが、行の最初のアイテムになります。
- 8 画像表示項目データのプレビューを表示するには、[適用]をクリックします。  
画像表示項目データは、選択されたレイアウト通りに表示されます。
- 9 画像表示項目データの他の行についてステップ5から8を繰り返します。
- 10 画像表示項目データのレイアウトを保存するには、[OK]をクリックします。

## ツールバーをカスタマイズする

デフォルトで設定されたツールバーをカスタマイズすることができます：

- セレクタモードにおける[標準]ツールバーおよびビューワモードにおける[標準]ツールバー。
- [フォーマット]ツールバー。
- [画像処理]ツールバー。
- [変形]ツールバー。
- [注釈]ツールバー。

必要に応じて、デフォルトツールバーに簡単に復帰することができます。既存のツールバーを保持する一方で、カスタム ツールバーを作成することができます。

## デフォルトツールバーをカスタマイズする

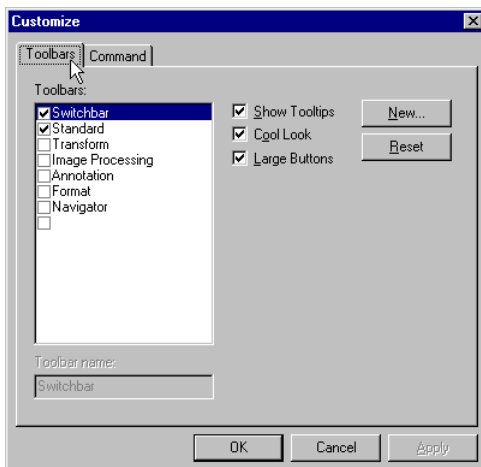
[標準]ツールバーは印刷、保護、送信、そして削除など、一般操作のボタンがデフォルトで含まれます。[フォーマット]ツールバーは、ビューワモードにおける画像フレームのフォーマットを選択するためのボタンをデフォルトで含んでいます。[画像処理]、[変形]および[注釈]ツールバーは、それぞれ、インタラクティブな画像処理、変形および注釈操作のボタンをデフォルトで含んでいます。

ただし、ニーズに合わせて全てのツールバーをカスタマイズすることができます。さらに、セレクタおよびビューワモードにおけるツールバーを別々に設定することができます。必要な場合は、ツールバーのデフォルトレイアウトに復帰できます。

### 一つ以上のデフォルトツールバーをカスタマイズするには：

- 1 適切なモードで作業していることを確認します。  
[22ページの'セレクタモードとビューワモードを切り換える'](#)を参照してください。
- 2 [ツール]メニュー上で[カスタマイズ]を指定し、それから[ツールバーをカスタマイズ]をクリックします。  
[カスタマイズ]ダイアログボックスが表示されます。

### 3 [ ツールバー ] タブをクリックします。

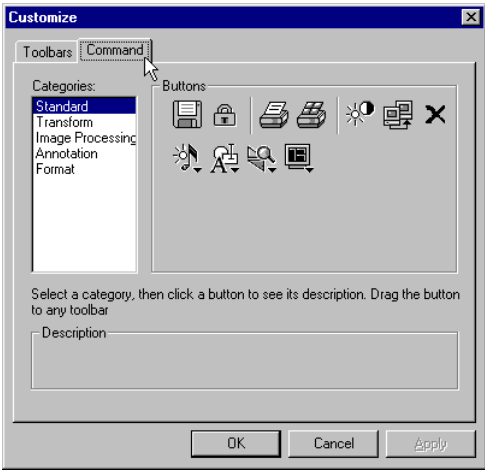


### 4 ビューワモードのツールバー用オプションを設定します：

目的	方法
ToolTips を使用可能にする	[ToolTips を表示] チェックボックスを選択します。
ボタン境界線を表示する	[クールルック] ダイアログボックスをクリアします。
大きいボタンを使用可能にする	[大きいボタン] を選択します。

- 5 ツールバーリストにおいて、カスタマイズしたいツールバーに該当するチェックボックスを選択します。  
ツールバーが表示されます。

- 6 [コマンド] タブをクリックします。
- 7 [カテゴリ] リストで、カスタマイズしたいツールバーをクリックします。



- 8 ツールバーをカスタマイズします。

目的	方法
ボタンを追加する	[ カスタマイズ ] ダイアログボックスの [ ボタン ] エリアからツールバーにボタンをドラッグします。
ボタンを削除する	ツールバーから [ カスタマイズ ] ダイアログボックスの [ ボタン ] エリアにボタンをドラッグします。

- 9 複数のツールバーをカスタマイズするには、ステップ 7 から 8 を繰り返します。
- 10 [OK] をクリックします。

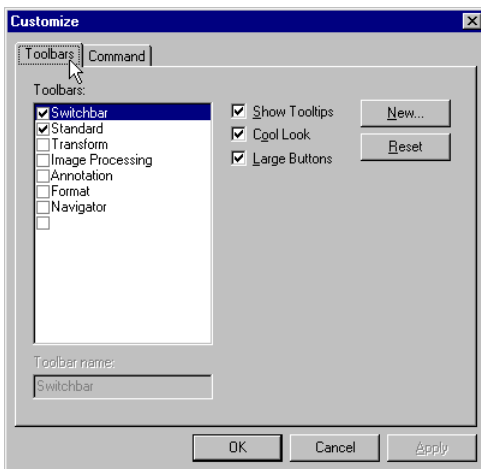


## デフォルトツールバーに復帰する

セレクトモードにおける [標準] ツールバー、または、ビューワモードにおける [標準]、[フォーマット]、[画像処理]、[変形] または [注釈] ツールバーをカスタマイズした場合、デフォルトのツールバー レイアウトに簡単に復帰することができます。

### デフォルトツールバーに復帰するには：

- 1 適切なモードで作業していることを確認します。  
22 ページの '[セレクトモードとビューワモードを切り換える](#)' を参照してください。
- 2 [ツール] メニュー上で [カスタマイズ] を指定し、それから [ツールバーをカスタマイズ] をクリックします。  
[カスタマイズ] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ツールバー] タブをクリックします。



- 4 ツールバーリストで、リセットしたいツールバーに該当するチェックボックスを選択します。  
ツールバーが表示されます。
- 5 [リセット] をクリックします。  
ツールバーは、デフォルトレイアウトにリセットされます。

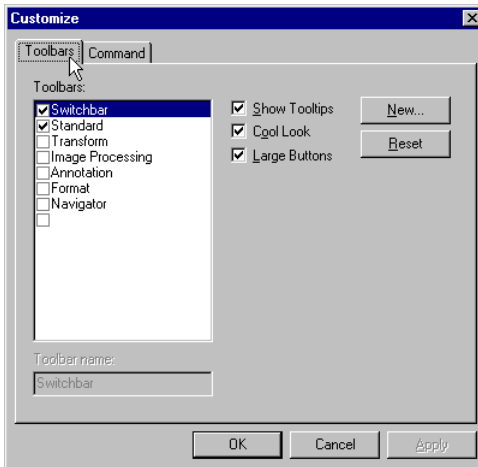
- 6 複数のツールバーをリセットするには、ステップ 4 から 5 を繰り返します。
- 7 [OK] をクリックします。

## カスタム ツールバーを作成する

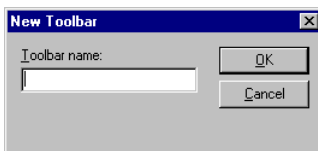
一つ以上のカスタム ツールバーを作成し、あなたのニーズに合わせて完全にカスタマイズすることができます。セクタおよびビューワモード用のカスタムツールバーを別々に設定できます。

一つ以上のツールバーを作成するには：

- 1 適切なモードで作業していることを確認します。  
[22ページの'セクタモードとビューワモードを切り換える'](#)を参照してください。
- 2 [ツール]メニュー上で[カスタマイズ]を指定し、それから[ツールバーをカスタマイズ]をクリックします。  
[カスタマイズ]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ツールバー]タブをクリックします。



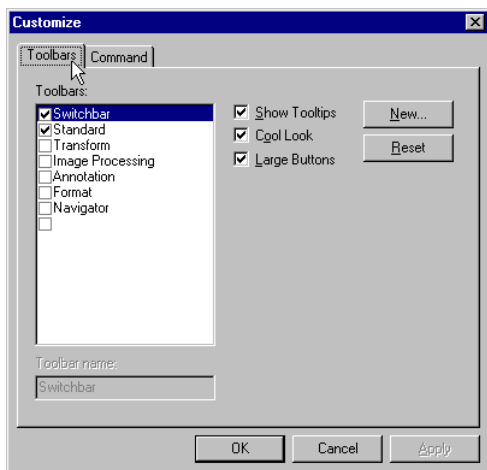
- 4 [新規]をクリックします。  
[新規ツールバー]が表示されます。



- 5 ツールバーの名前を入力します。
- 6 [OK] をクリックします。  
新しいツールバーがツールバーリストに追加され、表示されます。
- 7 複数のカスタムツールバーを作成するには、4 から 6 を繰り返します。
- 8 新しいツールバーをカスタマイズします。  
[198 ページの 'デフォルトツールバーをカスタマイズする' を参照してください。](#)

### 一つ以上のカスタムツールバーを削除するには：

- 1 適切なモードで作業していることを確認します。  
[22 ページの 'セレクトモードとビューワモードを切り換える' を参照してください。](#)
- 2 [ツール]メニュー上で[カスタマイズ]を指定し、それから[ツールバーをカスタマイズ]をクリックします。  
[カスタマイズ]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ツールバー] タブをクリックします。



- 4 ツールバーリストにおいて、削除したいツールバーに該当するチェックボックスを選択します。  
ツールバーが表示されます。

- 5 [削除] をクリックします。  
ツールバーが削除されます。
- 6 複数のカスタムツールバーを削除するには、4 から 5 を繰り返します。
- 7 [OK] をクリックします。

---

## 診断ファイル情報を設定する

---

どの診断ファイルデータを情報ダイアログボックス内に表示するか設定できます。

## フレームをカスタマイズする

IPD Viewer Software では、あなたのニーズに合わせてフレームをカスタマイズできます。セレクトモードでは次のフレームをカスタマイズできます：

- 検索フレーム
- お気に入りフレーム
- リストビュー フレーム

更に、セレクトモードおよびビューワモードにおいて 境界線をドラッグすることによって全てのフレームの大きさを変更することができます。

## 検索フレームをカスタマイズする

どの検索領域が検索フレームに含まれるか、検索領域の配列、フィールドリストボックスの幅、フィールドラベル、そしてラベルの幅を定義することができます。



**検索フィールドをカスタマイズするには：**

- 1 セレクトモードで作業していることを確認します。  
[22ページの'セレクトモードとビューワモードを切り換える'](#)を参照してください。
- 2 以下のうちの一つを行います：
  - [ツール]メニューの[検索フレームをカスタマイズ]をクリックします。
  - 検索フレーム内で右マウスボタンをダブルクリックします。

- 3 [一般] タブをクリックします。
- 4 検索フレームに入れたい診断ファイルデータを[使用可能]リストから[選択済]リストに移動します：

目的	以下のうちの一つを行います
リスト間で1アイテムを移動する	<ul style="list-style-type: none"><li>• [使用可能] リストのアイテムをクリックして、[矢印] ボタンをクリックします。</li><li>• [使用可能] リストのアイテムをダブルクリックします。</li></ul>

目的	方法
全てのアイテムを一つのリストから別のリストに移動する	二重矢印ボタンをクリックします。

- 5 各検索フィールドをカスタマイズします：

目的	方法
フィールド ラベルをカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none"><li>1 [選択済]リスト内のフィールドをクリックします。</li><li>2 [ラベル]ボックスにラベルを入力します。</li></ol>
ラベル幅を修正する	<ol style="list-style-type: none"><li>1 [選択済]リスト内のフィールドをクリックします。</li><li>2 [ラベル幅]ボックス内にピクセル単位でラベル幅を入力します。 ❖ ラベルの長さにあわせたラベル幅を設定するには、-1を入力します。</li></ol>
フィールド リストボックスの幅を修正する	<ol style="list-style-type: none"><li>1 [選択済]リスト内のフィールドをクリックします。</li><li>2 [幅] ボックス内にピクセル単位でフィールド リストボックスのラベル幅を入力します。</li></ol>



- 6 検索フィールドの中でアイテムの順序を定義するには、[ 選択済 ] リストのアイテムをクリックして、[ 上へ ] および [ 下へ ] ボタンを使用して、それぞれ上へまたは下へ移動します。  
[ 選択済 ] リストにおける一番上のアイテムが、検索フレームの最初のアイテムになります。
- 7 検索フレームのプレビューを表示するには、[ 適用 ] をクリックします。  
検索フレームは、選択されたレイアウト通りに表示されます。
- 8 検索フレームのレイアウトを保存するには、[ OK ] をクリックします。

## お気に入りフレームをカスタマイズする

大きいお気に入りアイコンと小さいお気に入りアイコンを選択することができます。また、自由にお気に入りアイコンを整理することができます。

### お気に入りアイコンのサイズを選択する

大きいお気に入りアイコンと小さいお気に入りアイコンを選択することができます。

**お気に入りアイコンのサイズを変更するには：**

- 1 お気に入りフレーム内のどこかで右マウスボタンをクリックします。  
ショートカットメニューは、大きいおよび小さいアイコンの選択肢を表示します。
- 2 選択するタイプをクリックします。

### お気に入りアイコンを整理する

ドラッグすることによってお気に入りのアイコンの縦位置を修正することができます。アイコンを列で整理することはできません。

**お気に入りアイコンを整理するには：**

各アイコンを移動したい場所にドラッグします。

アイコンをドロップすることができる場所の上にで止まるとポインタは挿入記号に変わります。

## リストビュー フレームをカスタマイズする

どの診断ファイルデータがリストビュー フレームに含まれるか定義することができます。リストビュー フレームにおけるデータは、検索フレームの検索フィールドとは独立しています。これは、データベースを検索するために特定の条件を使用しても、リストビュー フレームにこの条件を表示するべきかどうか決めることができるという意味です。

### カラムをカスタマイズするには：

- 1 セレクタモードで作業していることを確認します。  
22 ページの '[セレクトモードとビューモードを切り換える](#)' を参照してください。
- 2 以下のうちの一つを行います：
  - [ツール]メニューの[リストビューフレームをカスタマイズ]をクリックします。
  - リストビュー フレーム内で右マウスボタンをダブルクリックします。
- 3 [カラム] タブをクリックします。
- 4 リストビュー フレームに入りたい診断ファイルデータを[使用可能]リストから [選択済] リストに移動します：

目的	以下のうちの一つを行います
リスト間で 1 アイテムを移動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [使用可能] リストのアイテムをクリックして、矢印ボタンをクリックします。</li> <li>• [使用可能] リストのアイテムをダブルクリックします。</li> </ul>

目的	方法
全てのアイテムを一つのリストから別のリストに移動する	二重矢印ボタンをクリックします。

[選択済] リストの各項目がカラム見出しになります。

5 各カラムをカスタマイズします：

目的	方法
カラム見出しをカスタマイズする	1 [選択済]リスト内のフィールドをクリックします。 2 [ラベル]ボックス内にラベルを入力します。
カラム見出し幅を修正する	1 [選択済]リスト内のフィールドをクリックします。 2 [ラベル幅]ボックス内にカラム見出し幅をピクセル単位で入力します。
カラム幅を修正する	1 [選択済]リスト内のフィールドをクリックします。 2 [幅]ボックス内にカラム幅をピクセル単位で入力します。

- 6 リストビューフレーム内のアイテムの順序を定義するには、[ 選択済 ] リストのアイテムをクリックして、[ 上へ ] および [ 下へ ] ボタンを使用して、それぞれ上へまたは下へ移動します。
- [ 選択済 ] リストにおける一番上のアイテムが、リストビューフレームの最初のアイテムになります。

- 7 カラム機能を定義するには、[ 一般 ] タブをクリックし下記のオプションを設定します：

目的	方法
リストビュー フレーム内のデータのソートを可能にする	[ ソート ] チェックボックスを選択します。
カラムのドラッグ&ドロップ位置調整を使用可能にする	[ カラムのドラッグ ] チェックボックスを選択します。
列内のいずれかのフィールドをクリックするだけで列全体の選択を可能にする	[ 列選択 ] チェックボックスを選択します。

- 8 リストビューフレームのプレビューを表示するには、[ 適用 ] をクリックします。  
リストビューフレームは、選択されたレイアウト通りに表示されます。
- 9 リストビューフレームのレイアウトを保存するには、[ OK ] をクリックします。
- 10 リストビュー カラムのドラッグ&ドロップ位置調整を使用可能にしている場合、適切な位置にカラムをドラッグします。
- 11 リストビュー フレームでデータをソート可能にしている場合、好きなカラム見出しをクリックし昇順または降順にデータをソートします。

## 定義済テキストを設定する

頻繁に使用する注釈テキストを定義済テキストとして保存することができます。

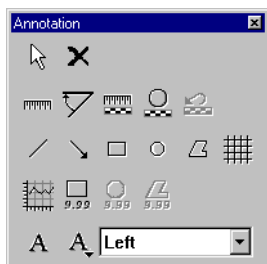
一つ以上の定義済テキストを定義するには：

- 1 ビューワモードで作業していることを確認します。  
[22ページの'セクタモードとビューワモードを切り換える'](#)を参照してください。

- 2 [ツール]メニューの注釈をクリックします。  
その代わりに、[標準]ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



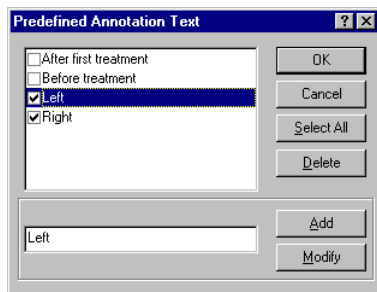
[注釈]ツールバーが表示されます。



- 3 [定義済テキスト]ボタンをクリックします。



[ 定義済注釈テキスト ] ダイアログボックスが表示されます。



#### 4 定義済テキストを設定します：

目的	方法
定義済テキストを追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボックスにテキストを入力します。</li> <li>2 [ 追加 ] をクリックします。</li> </ol>
定義済テキストを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リスト内のテキストをクリックします。</li> <li>2 ボックスのテキストを編集します。</li> <li>3 [ 変更 ] をクリックします。</li> </ol>
定義済テキストを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リスト内のテキストをクリックします。</li> <li>2 [ 削除 ] をクリックします。</li> </ol>

#### 5 [ 注釈 ] ツールバーのリストボックス内で使用可能にしたい定義済テキストのチェックボックスを選択します。

#### 6 [ OK ] をクリックします。





A

付属

用語集

## 用語集

用語	説明
注釈ツールバー	画像に注釈（行、矢印、図形フォーム、テキスト、その他）を追加し、角度および距離測定を行い、スキャン平均レベル（SAL）および密度プロフィールを計算するための、ボタン付きのツールバー。
注釈	画像に追加することができるマーカー。例：線、矢印、図形フォーム、距離マーカー、テキスト、その他
密度プロフィール	密度、すなわち、矩形面積に対応する放射線の線量の平方根。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicine（医療デジタル画像処理および通信）
お気に入り	今後使用する目的で保存された検索条件。
フォーマットツールバー	画像フレームをカスタマイズするツールバー。1，2，4，または9個の画像を一度に表示することができます。
画像表示項目データ	画像フレームの画像の下に表示される患者データ
画像フレーム	診査中の画像を含むフレーム。
画像処理ツールバー	MUSICA 処理、全体のコントラストおよび輝度調整、視準、その他など、画像処理機能にアクセスするためのボタン付きのツールバー。
インタラクティブ画像処理	画像を対話的に変更すること。例：コントラストおよび輝度を変更する、手動で画像を視準するなど。
リストビュー フレーム	検索フレームを使用して抽出した診断ファイルのオーバービューを表示するフレーム。

ローカルデータベース	あなたの ADC QS Station のハードディスクに保存されるデータベース。
マルチ画像モード	複数の画像が画像フレームに表示されるモード。
Nearline ストレージ デバイス	診断ファイルをアーカイブするデバイス。ここでは、デジタル リニアテープ (DLT)。
リモートデータベース	リモート ボリュームに保存されるデータベース。
Rislink ファイル	診断ファイルまたは画像データを含んでいる ASCII ファイル。
検索フレーム	ローカルデータベースから診断ファイルを検索するための、数多くの検索条件を含むフレーム。
シングル画像モード	画像フレーム内に一つの画像を表示するモード。
診断ファイル	医学的検査の画像。
サムネイル フレーム	診断ファイルのサムネイル画像を表示するフレーム。
サムネイル表示項目データ	サムネイル画像の下に表示される患者データ。
変形	回転、裏返す、ズームイン / アウト、その他の操作。
変形ツールバー	回転、裏返し、ズームイン / アウト、その他の、画像変形の機能にアクセスするためのツールバー。



**B**

附属

索引

## D

DICOM ステーション

送信する 62

DICOM ステーション

非稼動中 63, 178

## I

ID Software

切り換える 20

IPD Viewer Software を終了する 24

## M

MUSICA 処理

アドバンスド 116

基本 116

## N

Nearline ストレージ デバイス 64, 179

## P

Print Composer

セレクトモード 60

ビューワモード 175

## Q

QC Software

切り換える 21

## R

Rislink ファイル

保存

ビューワモード 191

名前を付けて保存

セレクトモードにおいて 78

ROI

シャッター 128

修正する 164

抽出する 130

ROIs

スキャン平均レベル (SAL) 152

## あ

アーカイブ

手動で 62

診断ファイル

ビューワモードにおいて 179

アーカイブする

画像 64

診断ファイル

セレクトモード 64

アドバンスド MUSICA 処理 116

## い

移動する 92

注釈 164

印刷

カスタムレイアウトで

ビューワモード 175

非デフォルトレイアウトで

ビューワモード 175

印刷ジョブ

リルート

ビューワモードにおいて 178

印刷する

カスタムレイアウト

セレクトモード 60

デフォルトプリンタ

セレクトモード 59

デフォルトプリンタに

ビューワモードにおいて 174

デフォルトレイアウト

セレクトモード 59

デフォルトレイアウトで

ビューワモードにおいて 174

画像 59

診断ファイル

セレクトモード 59

ビューワモードにおいて 174

非デフォルトレイアウト

セレクトモード 60

インタラクティブ画像処理 116

インポートする

診断ファイル

セレクトモードにおいて 65

ビューワモードにおいて 180

## う

ウィンドウ / レベル

数値 108

変更する 110

## え

### エクスポート

#### 画像データ

ビューワモード 191

### エクスポートする

#### イメージデータ

セレクトモード 78

#### 画像 187

#### 診断ファイル

カスタム名で 75

セレクトモードにおいて 71

デフォルト名で 72

ビューワモードにおいて 187

診断ファイルデータ 78

円較正 148

## お

### お気に入り 38

グループの作成 43

グループの名前 44

削除する 41

選択するグループ 43, 45

保存する 38

名前を変更する 40

例 38

### お気に入りグループ

選択する 43

### お気に入りのグループ

作成する 43

選択する 45

名前の変更 44

例 42

### お気に入りのグループ化 42

### お気に入りフレーム

カスタマイズ 210

セレクトモード 12

表示する / 隠す 29

### オリジナルの画像に復帰する

コントラストおよび輝度調整後

113

ズームまたは移動後 137

較正後 149

### オリジナル画像に復帰する

手動視準の後 125



## か

### 過去の診断ファイル

表示する / 隠す

セレクトモード 34

ビューワモードにおいて 94

### カスタマイズ

お気に入りフレーム 210

リストビューフレーム 211

検索フレーム 207

### カスタマイズする

ツールバー 198

### カスタムレイアウト

印刷する

セレクトモード 60

### カスタムレイアウトで

印刷

ビューワモード 175

### 過度露光

サチュレーション 121

### 画像

アーカイブする 64

エクスポートする 187

ズームイン / アウト 134

センタリング 136

移動する 135

印刷する 59

回転する 132

再整理する 55

削除する

セレクトモード 56

ビューワモードにおいて 168

順番を変更する 55

処理する 106

選択する 50

送信する 62

比較 89

変形する 131

保存

ポータブルメディアに 187

保存する

ディスク上に 173

裏返す 133

### 画像データ

エクスポート

## ビューワモード 191

画像のズームイン / アウト 134

画像のセンタリング 136

画像のミラーリング 133

画像フレーム 17

画像フレームのフォーマット 89

画像を回転する 132

画像を再整理する 55

画像を白黒反転する 120

画像を比較する 89

画像を変形する 131

画像を裏返す 133

画像間をブラウズする 100

画像処理ツールバー 16

画像上を移動する 135

画像表示項目データ

設定する 196

表示する / 隠す 87

画像品質 21

画像品質のチェック 21

拡大する 138

角度

ラベルを変更する 164

測定する 150

測定を変更する 164

関心領域 (ROI)

シャッター 128

スキャン平均レベル (SAL) 152

修正する 164

抽出する 130

## き

輝度

サチュレーション 112

数値 108

全体を調整する 110

微調整する 116

基本 MUSICA 処理 114

距離

ラベルを変更する 164

測定する 144

測定を変更する 164

切り換える

ID Software に 20

QC Software に 21  
セレクトモードとビューワモードを 22  
患者の診断ファイル間 97  
患者間 99  
切換えツールバー  
セレクトモード 11

## く

クイック印刷  
セレクトモード 59  
ビューワモードにおいて 174

クエリー  
保存する 38

矩形  
追加する 160  
編集する 164

グリッド線 142  
グレースケール分布 108  
黒い境界線 127

## け

計算する  
スキャン平均レベル (SAL) 152  
密度プロフィール 154

検索  
保存する 38

検索する  
リモートデータベース 46  
ローカルデータベース 36  
検索する 36  
診断ファイル 179

検索フレーム  
カスタマイズ 207  
表示する / 隠す 28

検索条件 36

## こ

口述済  
マークする  
ビューワモードにおいて 171

口述済みとしてマークする  
ビューワモードにおいて 171

口述済みとする  
マークする  
セレクトモード 58

較正

円 148

修正する 164

直線

直線校正 146

コントラスト

サチュレーション 112

数値 108

全体的に調整する 110

微調整する 116

## さ

再計算する

スキャン平均レベル (SAL) 164

削除する

お気に入り 41

画像

セレクトモード 56

ビューワモードにおいて 168

診断ファイル 56

注釈 166

サチュレーション

コントラストおよび輝度調整による 112

過度露光による 121

サムネイル

グループ化 33

表示する / 隠す

セレクトモード 31

ビューワモードにおいて 86

サムネイル グループ化 33

サムネイル フレーム

定義 12

表示する / 隠す 31

サムネイル表示項目 データ

表示する / 隠す

ビューワモードにおいて 86

サムネイル表示項目データ

設定する 194

表示する / 隠す

セレクトモード 32

参照

診断ファイル情報

セレクトモード 57

参照する

診断ファイル情報

ビューワモードにおいて 169

# し

- 視準 122
  - オン / オフにする 126
- 視準する
  - 自動 122
  - 手動
    - 手動視準 122
- 自動視準 122
- 自動選択 37
- シャッター 128
- 手動
  - 線 127
- 手動でアーカイブする 62
- 手動選択 48
- 修正する
  - ラベルを校正する 164
  - 関心領域 (ROI) 164
  - 距離の校正 164
  - 診断ファイル情報
    - セレクトモード 57
    - ビューワモードにおいて 169
- 順序
  - 変更する 55
- ショートカット フレーム 12
- ジョブをプリントする
  - リルート
    - セレクトモード 63
- ジョブを送信する
  - リルート
    - セレクトモード 63
- 処理する
  - インタラクティブ 116
  - 画像 106
  - 診断ファイルタイプ関連 114
- 照射線量 88
- 診断, オンスクリーン 83
- 診断ファイル
  - アーカイブ
    - ビューワモードにおいて 179
  - アーカイブする
    - セレクトモードにおいて 64
  - インポートする
    - セレクトモードにおいて 65

- ビューワモードにおいて 180
- エクスポートする
  - セクタモードにおいて 71
  - ビューワモードにおいて 187
- ポータブルメディアに保存
  - ビューワモードにおいて 187
- ポータブルメディアに保存する
  - セクタモードにおいて 71
  - ビューワモードにおいて 187
- 印刷する
  - セクタモード 59
  - ビューワモードにおいて 174
- 結合する 53
- 検索する 179
  - リモートデータベース 46
  - ローカルデータベース 36
- 削除する 56
- 識別する 20
- 選択する 48
- 送信する
  - ビューワモードにおいて 177
  - セクタモード 62
- 分割する 54
- 保護する
  - セクタモード 51
  - ビューワモードにおいて 105
- 診断ファイル オーバービュー フレーム
  - 定義 17
- 診断ファイルオーバービュー
  - 表示する / 隠す 86
- 診断ファイルサマリー 172
- 診断ファイルデータ
  - エクスポートする 78
- 診断ファイルレポート
  - 口述済みとしてマークする
    - ビューワモードにおいて 171
  - 口述済みとする
    - セクタモード 58
- 電子 170
- 診断ファイルを結合する 53
- 診断ファイルを口述済みとする
  - セクタモード 58
- 診断ファイルを識別する 20
- 診断ファイルを分割する 54

## 診断ファイルを保護する

セレクトモード 51

ビューワモードにおいて 105

## 診断ファイル情報

参照する

セレクトモード 57

ビューワモードにおいて 169

修正する

セレクトモード 57

ビューワモードにおいて 169

設定する 206

## す

### スキャン平均レベル (SAL)

関心領域の変更後再計算する 164

計算する 152

## 図形フォーム

追加する 160

編集する 164

## せ

### 設定する

サムネイル表示項目データ 194

画像表示項目データ 196

診断ファイル情報 206

### セレクトモード

アーカイブする 64

エクスポートする

画像データ 78

診断ファイル 71

診断ファイルデータ 78

リルト 63

印刷する 59

隠す

サムネイル 31

サムネイル表示項目データ 32

削除する 56

診断ファイルをインポートする 65

診断ファイルを選択する 51

切り換える 23

送信する 62

表示する

サムネイル 31

サムネイル表示項目データ 32

保存する 78

## 線

追加する 156

編集する 164

線量監視バー 88

## 選択する

画像 50

診断ファイル 48

自動 48

自動的に 37, 48

## そ

## 送信ジョブ

リルート

ビューワモードにおいて 178

## 送信する

画像 62

診断ファイル

セレクトモード 62

ビューワモードにおいて 177

## 測定する

角度 150

距離 144

## た

## 多角形

追加する 160

編集する 164

## 楕円

追加する 160

編集する 164

## ち

## 抽出する

関心領域 (ROI) 130

## 注釈 139

テキスト 162

移動する 164

矩形 160

削除する 166

線 156

多角形 160

楕円 160

追加する 139

表示する / 隠す 141

編集する 164

矢印 158



注釈ツールバー 16

注釈のサイズを変更する 164

調整する

    ウィンドウ / レベル 110

    詳細コントラスト 116

    全体のコントラスト 110

    全体の輝度 110

つ

ツールバー

    セレクトモード 11

    ツールバーを作成する 203

    デフォルトツールバーをカスタマイズする 198

    デフォルトに復帰する 201

    ビューワモード 16

て

データベース

    リモート 46

    ローカル 36

定義済テキスト 214

テキスト

    追加する 162

    定義済テキストを設定する 214

    編集する 164

デフォルトプリンタ

    印刷する

        セレクトモード 59

デフォルトプリンタに

    印刷する

        ビューワモードにおいて 174

デフォルトレイアウト

    印刷

        セレクトモード 59

デフォルトレイアウトで

    印刷する

        ビューワモードにおいて 174

と

特性曲線 108

な

ナビゲーション バー

    定義 14

    表示する / 隠す 93

名前の変更

お気に入り 40

グループ 44

## の

ノイズ削減 116

## は

バーン 112

パラメーター

MUSICA 116

診断ファイル 114

## ひ

ヒストグラム 108

非デフォルトレイアウト

印刷する

セクタモード 60

非デフォルトレイアウトで

印刷

ビューワモード 175

非稼動中

プリンタ 178

プリンター 63

ビューワモード 92

エクスポート

画像データ 191

エクスポートする

画像 187

診断ファイル 187

ブラウズする 100

リルート 178

移動する

お気に入り診断ファイル間 103

検索した診断ファイル間 101

診断ファイルの画像間 95

選択した診断ファイル間 95

隠す

サムネイル 86

画像表示項目 データ 87

画像データを保存 191

削除する

画像 168

診断ファイルをアーカイブする 179

診断ファイルをインポートする 180

診断ファイルを印刷する 174

診断ファイルを検索する 179

- 診断ファイルを保護する 105
- 切り換える 22
- 表示する
  - サムネイル 86
  - 画像表示項目データ 87
- ビューワモードにおいて
  - 診断ファイルを送信する 177
- ビューワモードにおいて移動する 92
  - お気に入り診断ファイル間 103
  - 検索した診断ファイル間 101
  - 診断ファイルの画像間 95
  - 選択した診断ファイル間 95
- 標準ツールバー
  - セレクトモード 11
  - ビューワモード 16
- 表示する
  - グレースケール分布 108
  - ヒストグラム 108
  - 特性曲線 108
- 表示項目データ
  - 設定する 194, 196
  - 表示する / 隠す
    - セレクトモード 32
    - ビューワモードにおいて 86, 87
- 描画する
  - 矩形 160
  - 線 156
  - 多角形 160
  - 楕円 160
  - 矢印 158
- ふ**
- フォーマット ツールバー
  - 定義 16
- フォーマットツールバー
  - 表示する / 隠す 89
- プリンタ
  - 非稼動中 178
- プリンター
  - 非稼動中 63
- フルスクリーンモード 91
- フレーム
  - セレクトモード 12
  - ビューワモード 17
  - 定義 12



## 変形ツールバー 16

### 変更する

- ウィンドウ / レベル 110

- 角度ラベル 164

- 角度測定 164

- 距離ラベル 164

- 距離測定 164

- 詳細コントラスト 116

- 全体のコントラスト 110

- 全体の輝度 110

### 編集する

- 画像 106, 131, 139

- 注釈 164

## ほ

### ポータブルメディア

#### インポートする

- セレクトモードにおいて 65

- ビューワモードにおいて 180

#### エクスポートする

- セレクトモードにおいて 71

- ビューワモードにおいて 187

### 保護を解除する

- ビューワモードにおいて 105

### 保護を削除する

- セレクトモード 52

### 保存

- Rislink ファイル

- ビューワモード 191

- ポータブルメディアに診断ファイルを

- ビューワモードにおいて 187

- 画像

- ポータブルメディアに 187

- 画像データ

- ビューワモード 191

- 診断ファイルをポータブルメディアに

- ビューワモードにおいて 187

### 保存する

- Rislink ファイルとして

- セレクトモードにおいて 78

- お気に入り検索 38

- ポータブルメディアに診断ファイルを

- セレクトモードにおいて 71

## 画像

ディスク上に 173

## 画像データ

セレクトモードにおいて 78

検索する 38

診断ファイルデータ 78

## み

密度プロフィール 154

## も

## モード

セレクトモード 10

ビューワモード 10

## や

## 矢印

追加する 158

編集する 164

## ゆ

## ユーザーインターフェイス

セレクトモード 11

ビューワモード 14

## ら

ライセンス 8

## り

## リストビュー フレーム

定義 12

表示する / 隠す 30

## リストビューフレーム

カスタマイズ 211

## リモートデータベース

検索する 46

## リルート

ジョブをプリントする

セレクトモード 63

ジョブを送信する

セレクトモード 63

印刷ジョブ

ビューワモードにおいて 178

送信ジョブ

ビューワモードにおいて 178

## れ

## レポート

口述済みとしてマークする  
ビューワモードにおいて 171

口述済みとする  
セクタモード 58

電子 170

## ろ

ローカルデータベース  
検索する 36

## わ

ワークリスト 14





ベルギーにて印刷

発行元 Agfa-Gevaert N.V., B-2640 Mortsel-Belgium

2254A J 20000821

